

2020（令和 2）年度事業報告書

学校法人 湘南ふれあい学園

目 次

I	学校法人の概要	1
II	主要な重点事業報告	6
III	各学校の事業報告	20
IV	大学部会、教育部会、保育部会 2020 年度 研修会プログラム	53
V	地域連携・交流活動	59
VI	湘南医療大学 研究業績	60
VII	生涯学習事業	73
VIII	施設の状況	74
IX	財務状況	75

I 学校法人湘南ふれあい学園の概要

■ 基本情報

名称	学校法人湘南ふれあい学園		
理事長	大屋敷 英志枝		
主たる事務所 住所	神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16 番 48 号		
電話番号	045-828-4322	FAX 番号	045-828-4323
ホームページ	http://www.fureai-g.ac.jp/		

■ 建学の理念

「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」

その考えのもとに保健・医療・福祉・教育を担当しそして、社会へ奉仕する事をめざすものです。
わたしたちは、すべての人々のしあわせに、今、役立ちたいと願っています。

1 やさしさと思いやりのある保健・医療・福祉・教育の実践

2 生命を全うしていただくための知識・技術の習得

3 その人らしさと個性を尊重し敬愛す

わたしたちは、理念の実践者になります。

■ 法人及び設置校の沿革

年 月		沿革
平成 6 年 (1994)	1 月	準学校法人 湘南ふれあい学園設置
	4 月	茅ヶ崎看護福祉専門学校創立
平成 10 年 (1998)	4 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校創立
平成 12 年 (2000)	4 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校社会福祉専攻科設置
平成 13 年 (2001)	1 月	学校法人横浜アカデミーより 2 幼稚園、2 専門学校、1 予備校を継承 湘南ふれあい学園を準学校法人から学校法人へ変更
平成 14 年 (2002)	4 月	専門学校横浜外語ビジネスアカデミー日本語研修科設置
平成 16 年 (2004)	4 月	下田看護専門学校創立 専門学校横浜外語ビジネスアカデミー美容学科・診療情報管理学科・臨床工学科設置
平成 17 年 (2005)	4 月	専門学校横浜外語ビジネスアカデミーをふれあい横浜専門学校に校名変更
平成 18 年 (2006)	4 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校社会福祉学科を精神社会福祉学科へ名称変更 ふれあい横浜専門学校美容学科入学定員変更、総合電子専門学校学科再編 (設置及び変更)
平成 20 年 (2008)	4 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法学科入学定員変更
平成 21 年 (2009)	4 月	総合電子専門学校 学科再編 (名称変更等)
平成 22 年 (2010)	4 月	茅ヶ崎看護福祉専門学校を茅ヶ崎看護専門学校に校名変更及び看護学科入学定員変更
平成 23 年 (2011)	4 月	ふれあい横浜専門学校 観光学科入学定員変更 総合電子専門学校 研究科設置
平成 24 年 (2012)	4 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 言語聴覚学科 (2 年制) 設置及び作業療法学科入学定員変更 総合電子専門学校 医療マネジメント科設置及び情報デザイン科入学定員変更
	6 月	湘南医療大学 (仮称) 大学設立準備室設置
平成 26 年 (2014)	3 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 南湖校舎移転 湘南医療大学 (仮称) 設置認可申請書提出
	4 月	学校法人湘南ふれあい学園本部事務所移転

		総合電子専門学校を医療ビジネス観光情報専門学校に校名変更及び学科再編
	10 月	湘南医療大学 設置認可 学校法人湘南ふれあい学園寄附行為変更認可
平成 27 年 (2015)	4 月	湘南医療大学開学 学校法人湘南ふれあい学園本部事務所移転
平成 28 年 (2016)	3 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校介護福祉士実務者研修設置
平成 29 年 (2017)	2 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校介護福祉士実務者研修 年間定員を 30 名→60 名に変更
	4 月	みどり幼稚園を幼保連携型認定こども園みどり幼稚園に改組
平成 30 年 (2018)	2 月	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校介護福祉士実務者研修 年間定員を 60 名→90 名に変更
	3 月	医療ビジネス観光情報専門学校 情報システム学科 廃科 医療ビジネス観光情報専門学校 工業専門課程 廃止
	4 月	湘南医療大学 臨床医学研究所
	7 月	医療ビジネス観光福祉専門学校 介護福祉学科設置及びこれに伴う校名変更認可
	11 月	湘南医療大学 大学院 (保健医療学研究科) 設置認可及びこれに伴う学校法人湘南ふれあい学園 寄附行為変更認可 医療ビジネス観光福祉専門学校 介護福祉学科新課程設置に伴う学校法人湘南ふれあい学園寄附 行為変更認可
	2 月	湘南医療大学薬学部新設のための寄附活動のための寄附行為変更認可
平成 31 年 令和元年 (2019)	4 月	湘南医療大学大学院保健医療学研究科設置 湘南医療大学認定看護研修センターを看護実践教育センターに改称 医療ビジネス観光福祉専門学校に校名変更 介護福祉学科、附帯教育事業 介護福祉士実務者研 修設置
	3 月	湘南医療大学薬学部医療薬学科設置申請 湘南医療大学薬学部設置に伴う学校法人湘南ふれあい学園寄附行為変更認可申請
令和 2 年 (2020)	4 月	下田看護専門学校を湘南医療大学附属下田看護専門学校に名称変更
	10 月	湘南医療大学薬学部医療薬学科設置認可 湘南医療大学薬学部設置に伴う学校法人湘南ふれあい学園寄附行為変更認可

■設置する学校等の概要

【設置する学校】(2020 年 5 月 1 日現在)

学校名	学部・学科・専攻等（入学定員）		開設年度
湘南医療大学 神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16 番 48 号 学長 大屋敷 英志枝	保 健 医 療学部	看護学科（80）	平成 27 年度 （2015）
		リハビリテーション学科 （理学療法学専攻）（40）	
		リハビリテーション学科 （作業療法学専攻）（40）	
	大学院	保健医療学研究科	平成 31 年度 （2019）
茅ヶ崎看護専門学校 神奈川県茅ヶ崎市今宿 390 番地 学校長 新海 哲	看護学科（80）		平成 6 年度 （1994）
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 神奈川県茅ヶ崎市南湖 1 丁目 6 番 11 号 学校長 村松 準	理学療法学科（70）		平成 10 年度 （1998）
	作業療法学科（30）		
	言語聴覚学科（35）		
	付 帯 教 育事業	社会福祉専攻科（80）	

湘南医療大学附属下田看護専門学校 静岡県下田市柿崎 289 番地 学校長 大石 實	看護学科 (40)	平成 16 年度 (2004) 2020 年度名称変更
医療ビジネス観光福祉専門学校 神奈川県相模原市南区上鶴間本町 3 丁目 18 番 27 号 学校長 井上 尚行	医療ビジネス学科 (40)	昭和 61 年度 (1986)
	観光学科 (40)	
	介護福祉学科 (35)	平成 31 年度 (2019)
	付 帯 教 育事業 介護福祉士実務者研修 (30×3)	
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園 神奈川県横浜市戸塚区汲沢 2 丁目 26 番 14 号 園長 入澤 登美子	認定こども園 (218)	平成 29 年度 (2017)

【設置する学校等の在籍者数】(2020 年 5 月 1 日現在)

[湘南医療大学]

		入学 定員	編入学 定員	収容 定員	入学者 数	2020 年度在籍者数				2020 年度 卒業生
						1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	
保健 医療 学部	看護学科	80	10	340	82	82	83	83	95	95
	リハビリテーション学科 (理学療法専攻)	40	0	160	40	40	43	42	44	43
	リハビリテーション学科 (作業療法専攻)	40	0	160	41	41	39	40	38	38
大学 院	保健医療学研究科	12	—	24	8	8	9			6

【湘南医療大学 収容定員の充足率】

	平成 27 年度 (2015) 開学年度	平成 28 年度 (2016)	平成 29 年度 (2017)	平成 30 年度 (2018) 完成年度	2019 年度 大学院設置	2020 年度
保健医療学部	1.16	1.08	1.08	1.05	1.05	1.01
看護学科	1.25	1.11	1.11	1.06	1.04	1.01
リハビリテーション学科	1.08	1.05	1.04	1.03	1.07	1.02
大学院					0.91	0.71

[茅ヶ崎看護専門学校]

	入学定員	収容 定員	入学者数	2020 年度在籍者数			2020 年度 卒業生
				1 年生	2 年生	3 年生	
看護学科	80	240	80	87	73	67	63

[茅ヶ崎リハビリテーション専門学校]

	入学定員	収容定員	入学者数	2020 年度在籍者数				2020 年度 卒業生
				1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	
理学療法学科	70	280	70	74	68	62	59	54
作業療法学科	30	120	30	30	18	20	17	15
言語聴覚学科	35	70	31	31	34			34
社会福祉専攻科 ^{※1}	80	160	41	41	55			46

※1 社会福祉専攻科は1年6ヶ月の通信課程

[湘南下田看護専門学校]

	入学定員	収容定員	入学者数	2020 年度在籍者数			2020 年度 卒業生
				1 年生	2 年生	3 年生	
看護学科	40	120	31	31	39	43	43

[医療ビジネス観光福祉専門学校]

	入学定員	収容定員	入学者数	2020 年度在籍者数		2020 年度 卒業生
				1 年生	2 年生	
医療ビジネス学科	40	80	15	16	20	20
観光学科	40	80	73	73	57	50
介護福祉学科	35	70	29	29	15	15
介護福祉士実務者研修 ^{※2}	30	30	14	14		
			15	15		

※2 介護福祉士実務者研修は6ヶ月の通信課程（年3回開講）

[幼保連携型認定こども園みどり幼稚園]

総定員	入園者数	2020 年度在籍者数					2020 年度 卒園生
		1 歳児	2 歳児	年少	年中	年長	
218	85	8	10	65	58	59	59

【法人役員・評議員及び理事会・評議員会の開催状況】

1. 役員・評議員の数（2021年3月31日現在）

役員、評議員	定数	現員
理事	6～8	6
監事	2	2
評議員	13～17	13

2. 役員の概要（理事6名、監事2名 2021年3月31日現在）

役職	氏名	主な現職	就任年月日（重任日）
理事長／常勤	大屋敷 芙志枝	湘南医療大学学長 医療法人社団康心会理事長	1994年3月8日
理事／非常勤	大屋敷 幸志	社会福祉法人麗寿会理事長	2006年6月24日（2020年6月24日）
理事／常勤	熊谷 幸男	湘南ふれあい学園事務局長	2001年6月24日（2020年6月24日）
理事／非常勤	小林 暢比古	神奈川県金属プレス工業会名誉会長	2021年1月1日
理事／常勤	寺本 明	湘南医療大学副学長兼保健医療学部長	2020年6月24日
理事／非常勤	有坂 健一	税理士	2016年6月24日（2020年6月24日）
監事／非常勤	金井 清吉	弁護士	2001年4月1日（2020年6月24日）
監事／非常勤	竹俣 耕一	税理士 公認会計士	2012年6月24日（2020年6月24日）

3. 評議員の概要（評議員13名 2021年3月31日現在）

	氏名	主な現職	就任年月日（重任日）
評議員／常勤	大屋敷 芙志枝	湘南医療大学学長 医療法人社団康心会理事長	2002年7月4日（2020年7月4日）
評議員／常勤	寺本 明	湘南医療大学副学長兼保健医療学部長	2018年4月1日（2020年7月4日）
評議員／常勤	加藤 尚美	湘南医療大学 大学院教授	2019年6月1日（2020年7月4日）
評議員／非常勤	新海 哲	茅ヶ崎看護専門学校 学校長	2015年10月21日（2020年7月4日）
評議員／常勤	入澤 登美子	幼保連携型認定こども園みどり幼稚園園長	2010年3月30日（2020年7月4日）
評議員／常勤	加藤 修一	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 副校長	2005年3月30日（2020年7月4日）
評議員／常勤	小野川 敏子	湘南医療大学附属下田看護専門学校 副校長	2011年3月23日（2020年7月4日）
評議員／常勤	小林 勝一郎	湘南ふれあい学園学園本部 次長	2013年3月22日（2020年7月4日）
評議員／常勤	山戸 真実	医療ビジネス観光福祉専門学校事務職員	2018年4月1日（2020年7月4日）
評議員／非常勤	有坂 健一	税理士	2016年6月24日（2020年7月4日）
評議員／非常勤	今田 敏夫	茅ヶ崎中央病院 院長	2019年8月1日（2020年7月4日）
評議員／常勤	熊谷 幸男	湘南ふれあい学園事務局長	2001年4月10日（2020年7月4日）
評議員／非常勤	大屋敷 幸志	社会福祉法人麗寿会理事長	2004年7月4日（2020年7月4日）

4. 2020年度 理事会・評議員会開催状況

	開催回数
理事会	9回
評議員会	8回

【設置する学校等の教職員数】

教職員数（2020年5月1日現在）

学校名	教員		職員※2
	専任※1	兼任	
湘南医療大学	66	131	19
茅ヶ崎看護専門学校	21	55	5
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	24	116	13

湘南医療大学附属下田看護専門学校	11	33	5
医療ビジネス観光福祉専門学校	12	24	6
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園	33	1	4
本部事務局（研修センター含む）	2		5

※1 専任には、非常勤契約者を含む ※2 非常勤職員含む

教員内訳

[湘南医療大学]

学部	学科・専攻		教授		准教授		講師		助教		助手		計	
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
保健 医療 学部	看護学科		8	6	0	6	2	4	1	14	0	2	11	32
	リハビリテーション学科	理学療法 学専攻	6	0	1	2	1	0	3	0	0	0	8	2
		作業療法 学専攻	4	1	0	0	4	1	0	1	0	0	8	3
	計		18	7	1	8	7	5	4	15	0	2	27	37

教職員の保有学位や業績については、以下のホームページ上に公開している。

https://sums.ac.jp/html/department/nursing_teacher.html

https://sums.ac.jp/html/department/pt_teacher.html

https://sums.ac.jp/html/department/ot_teacher.html

https://sums.ac.jp/html/graduate_school/teacher/

Ⅱ 主要な重点事業報告

1 重点報告の概要

1 学校法人湘南ふれあい学園の教育の方向性

ア 学園各校は、教育力を高め、学生の学修力や学力の質保証を達成させると同時に学力の到達度の確認・点検を行うための活動として、FD 活動を実践した。

イ 2 か月に 1 度開催する全体研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、会場を分散し、一部リモートで実施するなど、開催方法に工夫を重ね、各校とも当初の FD・SD プログラム（授業方法の改善、個別学習指導、国家試験対策、就職指導、学生募集、社会貢献活動など）の目的を概ね達成した（53～58ページ研修プログラム参照）。

なお、例年、グループ病院施設と連携して実施している「専門部会別研修」及び「医療・教育研究会」は、中止となり、発表予定の原稿を冊子にまとめて配布することになった。

ウ 例年開催しているふれあいグループ病院施設と連携した公開講座、学園広報活動及び地域貢献活動（クリスマスキャロリング等）、地域医療従事者へのスキルアップ研修事業（認定看護師、看護師実習指導者講習会等）についても、新型コロナウイルスの影響により、中止、またはオンライン・オンデマンドなどに変更して実施した。

2 全学 5 つの活動（PDC/全体朝礼/6 S/全体研修会/業務改善）

PDC 活動：教育の質の改善、向上させるためのマネジメント手法として、本学園

全体で取り組んでいる。各校園とも、毎月、①学生募集、②教務・学生支援、③国家試験対策、④6S活動、⑤業務改善事項の項目について、プラン(P)を作成し、アクション(D)計画をまとめ、当該月チェック(C)を行い、課題の克服に向けて、翌月のプランに反映させている。(30～38ページ PDC計画表参照)

3 地域連携推進及び研究推進活動

(1) 地域連携活動

公開講座の実施(59ページ参照)

自治体等との連携事業

①ヨコハマ大学まつり/専門学校進学②中高生職業体験・学校体験(大学/専門学校)

(2) 研究推進活動

個人研究の推進 個人研究計画の遂行(※教育・医療研究会での発表中止により、冊子での発表に変更)

公的研究の推進 全体研修会(8-9月)において、科研費応募のための学内説明会、研究不正防止研修の実施、研究倫理教育研修の実施

4 チーム医療教育の実践(継続)

湘南医療大学では、大学の設置の趣旨に基づき、チーム医療に貢献できる人材を養成するために、全学部統一(看護学科、リハビリテーション学科(理学療法学専攻・作業療法学専攻)の授業科目に「チーム医療」を設置しており、最終学年の後期にグループ演習形式により、臨床現場でのチーム医療を意識した症例研究を基に授業展開を進め、コミュニケーション能力の高い人材育成の養成に努めた。

5 コンプライアンスの徹底(継続)

ア 学園の規程に則り、理事会、評議員会を実施した。また、各校園において、会議、委員会も予定通り実施した。

イ 各校とも自己点検・評価を行い、ホームページに評価結果を公表した。

ウ 4月に教職員オリエンテーション、全体研修会において、教職員の行動指針や行動規範について教職員ハンドブックに基づき説明した。また、グループ職員手帳を配布し、コンプライアンス遵守の意識を高めている。

エ 学園本部職員による内部監査(湘南医療大学及び茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)の実施。監事による業務監査並びに会計監査を実施。及び公認会計士による理事長ディスカッション、監査事項に基づく業務・会計監査を実施し、改善点は監事及び公認会計士から理事長及び理事会に報告を行い、適正化を図っている。

オ 学園は、学生にSNSの注意事項について指導を行っている。在学生の他に、卒業生の書き込みによる被害や拡散の危険性も見受けられたことから、各校の教職員が、医療従事者養成校であることを再確認し、学生への注意喚起に加え、倫理教育の徹底を図った。

6 規程の整備(継続)

2020年度に施行又は改訂した本学園関係の規程は15～17ページ一覧である。2020年度は、薬学部設置に関わる規程の整備に取り組んだ。

7 連携同窓会の活動

2019年度に設置した、「湘南ふれあい学園連携同窓会」の2020年度の活動は、連携同窓会報(第2回)の発行・同窓生への送付を実施した。新型コロナウイルスの影響により、各種イベントは中止となったが、2021年度は、コロナ禍の状況にある

が、連携同窓会のホームページを開設や医療従事者向けの講習会や勉強会の実施を検討する。

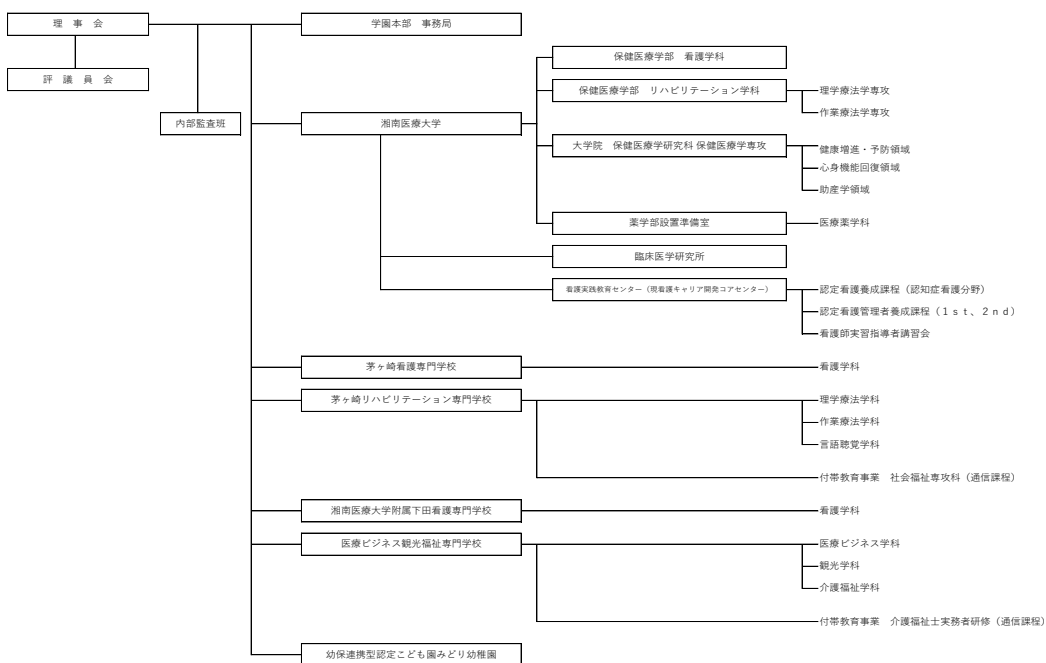
2 人事計画及び組織

(1) 人事計画

2020年度は、湘南医療大学は、薬学部設置申請に係り、文科省の専任教員予定者資格審査の結果を踏まえて、4名の教員の変更、大学全体教員数及び教授数の変更に対応した。また、認定こども園みどり幼稚園及び湘南医療大学附属下田看護専門学校は、慢性的に教員の確保が必要であるため、教員募集サイトの活用及び教員派遣会社への登録を行い、教員の確保に努めた。

(2) 組織

学校法人湘南ふれあい学園 組織図(2020年度)



3 募集・広報

1) 各校の定員確保の状況（2021年度入学生）

大学学部名・学校名	学科名・専攻名	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	入学定員充足率
湘南医療大学 保健医療学部	看護学科	80	378	361	88	81	1.01
	リハビリテーション学科						
	理学療法学専攻	40	192	183	49	43	1.08
	作業療法学専攻	40	110	103	50	41	1.03
薬学部	医療薬学科	130	111	91	58	34	0.26
大学院保健医療学研究科	保健医療学専攻	12	9	9	9	8	0.67
茅ヶ崎看護専門学校	看護学科	80	130	125	95	78	0.98
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	理学療法学専攻	70	122	115	79	75	1.07
	作業療法学専攻	30	37	29	29	25	0.83
	言語聴覚学科	35	36	36	32	28	0.80
湘南医療大学附属下田看護専門学校	看護学科	40	61	59	44	33	0.83
医療ビジネス観光福祉専門学校	医療ビジネス学科	40	15	15	15	15	0.38
	観光学科	60	105	105	66	50	0.83
	介護福祉学科	35	11	11	11	9	0.26
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園		—	—	—	—	59	—

2) 本学園の特色を生かした広報活動

ア ふれあいグループ奨学金制度の周知

イ 学園とグループ17病院・51施設との連携活動の紹介

ウ コロナ禍におけるオンライン説明会、相談会等の実施

4 就職状況

2020年度湘南医療大学卒業生の主な就職先は下表の通りとなった。

看護学科 卒業生 95 名 国家試験合格者 91 名		リハビリテーション学科 理学療法学専攻 卒業生 36 名 国家試験合格者 34 名		リハビリテーション学科 作業療法学専攻 卒業生 37 名 国家試験合格者 29 名	
ふれあいグループ	31	ふれあいグループ	17	ふれあいグループ	17
神奈川県内病院・クリニック	44	神奈川県内病院・クリニック	14	神奈川県内病院・クリニック	9
神奈川県外病院	14	神奈川県外病院	2	神奈川県外病院	3
大学院進学	3	その他	3	その他	8
その他	3				

5 国家試験の状況

学校名	学科名	年度	新卒				既卒			資格名	回
			受験者数	合格者数	合格率	全国平均 (新卒)	受験者数	合格者数	合格率		
湘南医療大学 保健医療学部	看護学科(看護師)	令和2年度	95	91	95.8%	95.4%	4	3	75.0%	看護師	110
	看護学科(保健師)		13	12	92.3%	97.4%	1	1	100.0%	保健師	107
	理学療法学専攻		36	34	94.4%	93.2%	4	2	50.0%	理学療法士	56
	作業療法学専攻		37	29	78.4%	81.3%	4	2	50.0%	作業療法士	56
茅ヶ崎看護専門学校	看護学科	令和2年度	63	61	96.8%	95.4%	12	6	50.0%	看護師	110
茅ヶ崎リハビリテーション 専門学校	理学療法学科	令和2年度	54	45	83.3%	93.2%	7	2	28.6%	理学療法士	56
	作業療法学科	令和2年度	15	10	66.7%	81.3%	2	0	0.0%	作業療法士	56
	言語聴覚学科 【2年制】	令和2年度	34	33	97.1%	69.4%	5	2	40.0%	言語聴覚士	23
	社会福祉専攻科 (通信課程)	令和2年度	35	22	62.9%	29.3%	62	10	16.1%	社会福祉士	33
湘南医療大学附属下田看護専門学校	看護学科	令和2年度	43	38	88.4%	95.4%	18	5	27.8%	看護師	110
医療ビジネス 観光福祉専門学校	介護福祉士学科	令和2年度	15	2	13.3%	71.0%				介護福祉士	33
	介護福祉士実務者研修 (通信課程)	令和2年度	15	13	86.7%	71.0%	0	0	-		33

5 退学者

2020年度の各校の退学者数の状況は、以下の通りである。

湘南医療大学	退学者 17 名 (大学院含む)
茅ヶ崎看護専門学校	退学者 11 名
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	退学者 34 名
湘南医療大学附属下田看護専門学校	退学者 3 名
医療ビジネス観光福祉専門学校	退学者 29 名 (除籍者含む)

Ⅲ 中長期計画における重点報告の概要

1 湘南医療大学看護実践教育センター（現看護キャリア開発コアセンター）認定看護師管理者部門ファーストレベル開講

2020年6月に日本看護協会の認定を受け、2020年10月開講した。入学定員50名のところ22名であった。多様なヘルスケアニーズを持つ個人、家族及び地域住民

に対して質の高い組織的看護サービスを提供することを目的とし、実務経験 5 年以上管理業務に興味がある看護師を対象に実施、地域医療に貢献した。

2 湘南医療大学看護実践教育センター（現看護キャリア開発コアセンター） 特定行為研修申請（変更）

2020 年 11 月に関東信越厚生局に特定行為研修を申請し、2021 年 2 月に認可を受けた。但し、本学園のグループ病院である湘南東部総合病院で実質的に行うため、検討の結果、医療法人社団康心会湘南東部総合病院で申請し、湘南医療大学は、教員等の派遣を行い、診療の補助、実践的な理解、思考力、判断力並びに高度かつ専門的な知識技能が必要な 38 行為のうち、「在宅・慢性期領域パッケージ」の 4 区分 4 行為に関する研修事業を 2021 年 4 月から実施することになった。

3 湘南医療大学薬学部医療薬学学科の設置認可

湘南医療大学は、2020 年 3 月に文科省に薬学部医療薬学学科の設置認可申請書を提出し、2020 年 10 月に同学部同学科の設置認可を受けた。

4 茅ヶ崎看護専門学校、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の改組（大学学部昇格）計画

グループ関連の資産管理会社が、茅ヶ崎第一駐車場土地活用事業の優先交渉権を得て、医療法人が病院を運営・湘南ふれあい学園が大学学部（看護学科、リハビリテーション学科）を運営する計画が採用され、令和 6 年度の設置開設（令和 5 年度申請）にむけて準備を進めることとなった。

5 その他

湘南医療大学大学院保健医療学研究科（修士課程）に新領域（医療経営管理学領域）の設置の計画、同大学院保健医療学研究科（博士課程）の設置の計画については、教育内容、教員確保などの課題事項について今後も継続して取り組み、設置準備を進展させる予定である。

IV 監事監査方針及び計画

2020 年度監査対象校である湘南医療大学、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の内部監査及び監事監査を以下の通り実施した。

【業務監査】

	内部監査	監事監査	結果
湘南医療大学	2020 年 9 月 9 日	2021 年 3 月 24 日	適性な運営であることが確認された。
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	2020 年 12 月 21 日	2021 年 3 月 24 日	適性な運営であることが確認された。

【会計監査】

2021 年 5 月 18 日 公認会計士より監事 2 名が 2020 年度の予算執行状況等の説明を受け、適切な運営であることが説明された。

第1期事業計画期間:2019年度～2022年度

学園中期事業方針:各学校は、地域社会に対して主体性、多様性及び協働性を有する「学者」を育成する。

重点課題	分類	中期計画	指標	2019-2022 事業計画	2019年度 事業計画の進捗・達成状況	2020年度 保健医療学部/大学院/薬学部設置準備室 事業計画の進捗・達成状況
		○学部教育 ①入学前教育の充実		(保健医療学部) 1.入学予定者に提供する課題を精査し、入学後にスムーズに授業を受けることができる学習力を身につける方法を検討する。	(保健医療学部) 1.看護学科・リハビリテーション学科ともに、入学に先立ち、AO入試入学者は11月後半から、推薦入試入学者に対しては1月より、入学前課題を出題した。パソコン・スマートフォン・タブレット等を使ってインターネット上で行うウェブ課題形式で、基礎学力・数学・物理・化学・生物等の課題を出題した。	(保健医療学部) 度重なるコロナの影響により、昨年より2か月遅い、1月から入学前教育の課題を出題した。例年であれば、3月に登校して、講義、開設を行う予定であったが、コロナ禍であるため、マナバを使用したオンデマンド形式の事前教育を実施した。 (薬学部準備室) 認可の遅れが、入試の遅れにつながり、入学前教育も2月に入り実施した。(5科目)保健医療学部と同様にマナバを使用したオンデマンド形式により実施した。
		②大学の理念を実現できる教育目標に沿って指導する		(看護学科・リハビリテーション学科) (2) ディプロマポリシー、カリキュラムポリシーに基づいた教育課程並びに開講科目の定期的検証する。 1.落伍者を輩出しない授業内容及び特色ある教育課程の設計	看護学科内の教育課程担当は、看護教育指定規則の改定により、ディプロマ・ポリシーとカリキュラムポリシーに則り、看護学科の新カリキュラムを施行した。 1. 本学のDP、CPに即した医療知識・技術そして医療マインドの集大成の一つとして、4年次配置の象徴科目である「チーム医療演習」において、看護学科・リハビリテーション学科の2学科の全学生の混成13班を編成し、提示されたペーパー事例を多面的に追究する中でチーム医療の有り様をグループワークした。	1 落伍者を出さない授業内容及び特色ある教育課程の設定 (看護学科) 看護学科では、3Pの見直しを行い、学生個人の履修計画が立案しやすくなるようにした。また、チューター制度を活用し個別の履修指導・相談をきめ細やかに行ってきた。 (リハビリテーション学科) リハビリテーション学科では、令和2年(2020年)の指定規則改定に伴う新カリキュラム(卒業要件127単位以上)による新1年生と2年生以上は旧カリキュラムの2本立ての教育展開を実施し、DP、CPとの連動性を高める理学療法士・作業療法士養成教育モデル・コア・カリキュラムに基づくカリキュラムマップを学生に提示して、落伍者を出さないよう段階的な教育を実施した。
		③多様化する学生への対応を充実させる		(保健医療学部) (5) 学習並びに学生生活支援の充実による休退学者の減少に取り組む。 1.オフィスアワーの環境を改善する。	(保健医療学部) 1.全体研修会で、休退学防止策について取り組んだが、結果的に、休学者9名、退学者24名となった。特に退学者は前年度に対して7名の増加となった。 2.オフィスアワーを活用できるように、オリエンテーションガイダンス、授業概要誌面上的周知、教員研究室前の掲示等を環境改善して、学生のオフィスアワーの活用を促す取り組みを促進した。	(保健医療学部) 1 2019年度に引き続き、全体研修会において、休退学者減少の方策について取り組んだ。年間の休学者20名、退学者15名となった。前年度7名の減となった。 2 2020年度のオフィスアワーの活用状況を調査 (保健医療学部) 学生がオフィスアワー以外の時間帯を含めて研究室を訪れた年間人数としては、1研究室あたり月々25名から60名程度で、その相談目的の多くは卒業研究手法で、次いで講義に関する質問や進路に関する内容であった。
		④アクティブラーニングの活用等特色のある教育(学生が主体的に問題を発見し金を見出していく教育への転換を進める)		(看護学科・リハビリテーション学科) 1.情報リテラシー教育を充実させる。 2.問題解決型授業の展開強化に向けて、ディプロマポリシーを保証する教育内容をカリキュラム・マップにより継続して評価し、改善につなげる。 3.ディプロマポリシー、各科目の到達度と自己学習評価を連動させ、学生が主体的に学習環境を推進する。	(保健医療学部) 1.情報リテラシー教育の授業を必修化し、充実を図っている。同時に初年次生には図書館職員からも1初年次生向けに研修を実施した。今後は、それらの数値効果の測定・評価を必要とする。 2.リハビリテーション学科では、問題解決型の教育科目として理学療法専攻では「クリニカルリズニング論」、作業療法専攻では「クリニカルリズニング」を3年次に必修、1単位30時間をを開講し、問題解決型授業を実施している。 3.未達成	(看護学科) 1.情報リテラシー教育 必修科目になるの、変更申請を行う。 2 DP達成のためのCPマップ作成 令和2年4月より、教育モデルコアカリキュラムに沿ったカリキュラムマップを作成した。 3 DPと各科目の達成度を連携し、学生の主体的な学習を推進 半年毎の担当チューターをおく、主体的な学習がすすむ、支援している。 (リハビリテーション学科) リハビリテーション学科では、令和2年(2020年)の指定規則改定に伴い、理学療法専攻では新たに1年前期に「理学療法教育基礎」(2単位30時間、必修)を、作業療法専攻では1年前期に「作業療法基礎ⅠA」と「作業療法基礎ⅠB」(各1単位15時間、必修)を設けており、これまでの1年選択科目である「情報リテラシー」と合わせて教養系の基盤能力の向上を図ってきた。 2.問題解決型教育として、理学療法専攻では「クリニカルリズニング論」、作業療法専攻では「クリニカルリズニング」を3年次に必修、1単位30時間を設け、事例を心理社会・医学モデルで追究分析し、カンファレンス方式で発表能力を培うよう実施した。
		⑤FD活動による教員の教育力向上を図る		(保健医療学部) 1.授業評価アンケートを実施し、授業改善内容を詳細に検討する。 2.教員相互授業参観と自己評価を実施し、授業運営を顧みる機会を設ける。 3.他大学の特色ある教育を学ぶ機会を設ける。 4.グループ病院と連携教育機能を充実させて、臨床実習指導方法及び実習評価を改善する。 5.外部評価を意識した自己点検・評価項目による評価を行う。	(保健医療学部) 1.学生による授業評価アンケート 「FDネットワークつばさ」の共通フォーマットによる授業評価アンケートを前後期に実施した。 アンケート結果は、授業科目ごとにデータ化するとともに授業科目群別のシグナチャートを作成、科目担当教員に達すと同時に、今後の授業改善内容を記す「リフレクションペーパー」の作成と提出を依頼した。なお、2019年度前期の授業評価アンケートから、授業科目の評価が著しく低い教員については、当該授業科目の今後の取組みについても明記し、提出を依頼している。	(保健医療学部) 1.学生による授業評価アンケート 昨年同様に、FDネットワークつばさの共通フォーマットによる授業評価アンケートを前後期に実施した。また、manabaの機能を活用したアンケート結果は、授業科目ごとにデータ化するとともに授業科目群別のシグナチャートを作成、科目担当教員に達すると同時に、今後の授業改善内容を記す「リフレクションペーパー」の作成と提出を依頼した。なお、授業評価アンケートから、授業科目の評価が著しく低い教員については、当該授業科目の今後の取組みについても明記し、提出を依頼している。 2.教員相互の授業参観と評価 看護学科は7回実施、参加者数は38名、リハビリテーション学科は、8回実施し、参加者は31名だった。参加者は、評価項目と自由記載からなる参観シートを提出し、授業担当者今後授業改善に活用してもらうためのフィードバックを行った。 3.大学の教育方法の伝達 コロナウィルス感染拡大防止のため、2020年度は未実施。但し、他大学から赴任した教員から、前任校における教育手法の紹介をしてもらう。 4.臨床実習指導方法に関する講習会 コロナウィルス感染拡大防止のため、2学科とも臨床実習指導方法会議を中止した。その代替として、施設別の報告を行った。 内容:「新型コロナウイルス感染症の発生に伴う医療関係職種等の各学校、養成所及び養成施設等の対応について」、「臨床実習指導者の養成等について」、「リハビリテーション学科実習について」他 5.ふれあいグループ全体研修会の大学部会において、認証評価及び自己点検・評価に関する研修を実施した。 (看護学科) 実習配置:実施時期を工夫し、コロナ対応マニュアルを作成し、臨地実習を行った。

教育	卒業率 2018年度 NS 82% PT 78.3% OT 63.4% 2019年度 NS 81.7% PT 81.4% OT 79.1% 2020年度 NS 87.3% PT 71.7% OT 71.4% 大学院 75.0% 国家試験合格率 2018年度 NS 96.3% PT 91.7% OT 76.9% 2019年度 NS 91.0% PT 92.1% OT 97.1% 2020年度 NS 95.8% PT 94.4% OT 78.4%	(看護学科・リハビリテーション学科) (1) 入学者全員卒業、全員資格試験合格、全員就職・進学 1.国家試験がイダグスの向上を図り、学生に試験対策情報を継続的に提供できるように充実させる。 2.学生を含めた国家試験対策委員会を中心として、主体的に模擬試験、解説、補講を実施する。 3.キャリア支援センター主導により成績低迷学生への個人面談、個別指導を実施する。 4.ゼミを活用した国家試験学習支援体制を強化する。	(看護学科) 1年生は昨年と同様に国家試験の重要性についてガイダンスを行った。2年生は学生が自身の知識レベルを知り国家試験の意識高揚と学習計画の基礎固めを目的に、模試業者による模試並びに過去問を活用した模試を実施した。3年生は2回(6月・9月)に業者模試試験を実施した。4年生は、業者模試8回、国家試験対策講座と解剖学担当教授による基礎講義8回(各2コマ)を実施した。なお、学科における国試対策委員を各領域から7名置くとともに、学科長が特に成績不良者の国試対策の随時指導を執り、プロジェクトメンバーによる指導を行った。さらに、キャリア支援センターに、学科より3名の教員が兼務し相談支援体制を敷き、フォローにあたった。 (リハビリテーション学科理学療法専攻) 1年生は成績不良者にフォーカスし生理学、解剖学の自己学習用のテキストを配布しフォローした。2年生は国試の過去問題に触れながら年度末に3年生と同様の専門基礎科目の模試(解剖学・生理学・運動学)を実施した。3年生はゼミ形式の学習と担任による過去問題の解答、2月末に業者の基礎模試(解剖学・生理学・運動学)を実施した。4年生は臨床実習終了後、9月に業者による対策講座(9/2～6)を受講し、業者による模試3回と過去問13回の計16回実施し、成績不良者に対しての指導を強化した。 (リハビリテーション学科作業療法専攻) 1年生は三科目模試を実施、毎週1回実施するホームルームにて、クラス担任を中心に学生の資質向上を図るため、自学自修の勉強会を実施した。2年生は専門基礎科目(解剖学・生理学・運動学)の過去模試を行い、結果のフィードバックと個別対応を行った。3年生はゼミ形式の学習と担任による過去問題の解答を行い、業者の専門基礎科目模試(解剖学・生理学・運動学)とオリジナルの業者模試を実施した。4年生は、臨床実習後に夏合宿を行い、皆で国試を乗り切る覚悟を共有し、業者模試、校内模試(過去問等)を8回(合宿での力試しを除く)実施し、ゼミ単位で学習フォローを行い、成績不良者には集中し対応した。	(看護学科) 1.1次は国家試験の重要性についてガイダンスを実施。2.2次は学生が自身の知識レベルを知り国家試験の意識高揚と学習計画の基礎固めを目的に、業者模試を2回実施し、正答率の低かった問題の振り返りをmanabaでレポート提出させ、チューターが指導した。3.3次は業者模試を2回実施し、更に2-3月の期間に国家試験に準じた問題を週に10問×6週間実施し、問題の振り返りをmanabaでレポート提出させ、チューターが指導した。4.4次は、国家試験がイダグスを2回、業者模試を7回、国家試験対策講座を16コマ、解剖学特別講義を12コマ、特別講義18コマ実施した。また、学習支援が必要な学生を中心に12-1月にかけて特別講義を企画・実施した。 (リハビリテーション学科理学療法専攻) 1.1次は成績不良者にフォーカスし生理学、解剖学の自己学習用のテキストを配布しフォローした。2.2次は国家試験の過去問題に触れ、年度末に専門基礎科目模試を実施。3.3次は、ゼミ形式の学習と過去問題の解答、業者の基礎模試を実施。4.4次は、業者による特別講義を受講し、業者模試と過去問試験を15回実施し、ゼミ単位で成績不良者のフォローを行った。 (リハビリテーション学科作業療法専攻) 1.2.2次は3科目模試を実施、また、毎週1回自学自修の勉強会を実施。3.3次はゼミ形式の学習と過去問題の解答を行い、業者の専門基礎科目模試と業者模試を実施。4.4次は、基礎科目及び臨床医学の学習強化を図り、個別担当制を導入し、学生のレベル別に指導を行い、国家試験担当教員で情報共有した。業者模試10回、全模試3回を実施し、学生に到達度の確認、フィードバック等を行った。	
	⑦医療教育のIR活動を充実させる	(保健医療学部・事務部) 1.IR担当部署を設置し、各種情報やデータに基づいて教育課程と学習効果を検証し、教学マネジメント体制の改善策を提案する。	(保健医療学部・事務部) 1.IRの担当者のみを置いて、教務・学生支援、総務、学生募集担当者がそれぞれ、学生の入学から卒業までのデータを有するものの、それらのデータを統合し、各種情報やデータに基づいて教育課程と学習効果を検証することは困難であった。さらに時間をかけて、教育改善策を提案する必要がある。	(保健医療学部) 1.試験、教務、研究支援を中心とする大学の各種情報については、IRの専門部署を設置せず、各委員会及び各部署(各学科、各事務部署、学校法人本部)、各教員にて継続的に蓄積し、保存している基礎データを基に、教育改善のために集計し、分析できる資料を有している。但し、現在、データが分散して保管されていることにより、部門ごとの単一データの経年比較などしか行えず、データの応用性に乏しく、また、各種のデータを組み合わせる問題を解決できるようにIR専門部署を置くことが課題である。	
	○学生支援教育 ①奨学金等による学生生活等支援の推進	F奨学金支給者 2015年度 62人 2016年度 111人 2017年度 167人 2018年度 206人 2019年度 204人 2020年度 169人	(保健医療学部) 1.「ふれあい奨学金」により、湘南ふれあい学園に在籍する学生の奨学・修学の奨励を行い、有為な人材の育成、教育研究の振興の進展を図る。 2.魅力と特色ある教育活動の実現化を推進するため、社会的価値向上に貢献できる活躍が期待される活動への奨励を積極的に行う。	(保健医療学部) 1.年度途中からも奨学金を受けることができ、経済的理由により修学に支障をきたすことなく、学生が意欲的に学業に専念できるよう環境を整備した。 2.ボランティア活動である「クリスマスキャロリング」をグループ病院で実施し、社会貢献活動を実践した。今後は全学的に実施したい。	(保健医療学部) 1.奨学金金は、原則、希望する学生には全員貸与される奨学金である。コロナ禍の影響により、希望する学生に迅速に対応した。今後も、国の奨学金、学習支援制度と併用し、学生が安心して、学業に専念できる環境を継続的に整える。 (薬学部) 1.ふれあい奨学金は、薬学部生も対象となることから決まった。(20名以内) 2.2018年度はコロナ禍であったため、例年全学的に病院施設で実施していた、「クリスマスキャロリング」は中止となった。 2.学部及び専門学校の学生の臨床・臨床実習は、コロナ禍にもかかわらず、グループ病院の協力のもとで、実施することができた。なお、学生がコロナの疑いがある場合や濃厚接触者の疑いがある場合には、グループ病院で積極的に行う検査を実施できる環境を病院と整備し、安全安心に授業を受けることができた。
	○キャリア支援教育 ①キャリア支援対策を整備・充実させる	就職率 2018年度 88.9% 2019年度 94.0% 2020年度 86.7%	(保健医療学部) 1.インターンシップ提携先施設とより良い関係構築し、学生の就職意識を高められるように充実させる。 1.学生一人ひとりにきめ細やかなキャリア支援教育を実現する。	(保健医療学部) 1.就職説明会を実施した。また、教員が希望する学生個別に就職対策支援を実施した。 2.グループ病院施設でのインターンシップにより、看護学科29名、理学療法専攻23名、作業療法専攻16名、計68名が、ふれあいグループに就職することができた。	(保健医療学部) 1.インターンシップ提携先と就職説明会を新型コロナウイルスの影響で実施できず、代わりにDVD等により視聴覚配償で行った。コロナ禍で学生の就職活動は困難を極めたが、就職率86.7%を維持した。 2.グループ病院施設でのインターンシップにより、看護学科31名、理学療法専攻17名、作業療法専攻17名、計65名が、ふれあいグループに就職することができた。
	○学校間連携教育 湘南ふれあい学園としての総合力を高める。	(保健医療学部) 1.「大専教員連携」において、相互出張授業、学生サークル活動や部活動連携活動を検討する。	(保健医療学部) 1.「大専教員連携」としては、下田看護専門学校看護学科の授業に大学看護学科教員が出張授業を行った。	(保健医療学部) 1.「大専教員連携」においては、湘南医療大学下田看護専門学校の在宅看護の授業を、茅ヶ崎看護専門学校の解剖生理学の授業をリハビリテーション学科の教授が授業を行い、連携を深めた。 (薬学部準備室) 1.「大専教員連携」においては、茅ヶ崎看護専門学校の薬理学の授業を薬学部設置準備の教員が授業を行い、連携を深めた。	
	①湘南ふれあい学園各校及びふれあいグループとの連携行事・活動の実施	2.連携同窓会組織を開始し、スケールメリットを活かした学校間連携を展開する。		2. 連携同窓会会報第2号を発行した。2021年度は、コロナ禍の状況を見極めつつ、講演会等のイベントを計画したい。	
研究	②大学とみどり幼稚園との「幼大連携」	(保健医療学部看護学科) 1.実習施設として、また、幼稚園のイベント等のサポートや、大学教員による幼児・園児の栄養、アレルギー教育に関する認定こども園教員・保護者対象の研修会の実施などにより緊密な連携を図る。	(保健医療学部看護学科) 1.小児看護学実習施設として、幼稚園園との交流を図った。但し、大学教員による研修会や講演会は実施することができなかった。	(保健医療学部) 1. 2020年度は、新型コロナウイルス蔓延の影響により、みどり幼稚園との連携活動は行うことができなかった。	
	○研究推進活動に関する目標 ①個人研究並びに個人研究費	(研究推進室) 1.個人研究計画に基づき、研究活動を推進する。 2.個人研究費規程を見直し、獲得型研究費の取得をめざし、優れた研究者や取り組みに対して、支援し、採択する。 3.研究費の使用について、経費の執行から研究成果までを社会的に説明できるようにする。	(研究推進室) 1.個人研究活動計画の評価を学長、副学長、学科長が行い、研究成果を把握し、推進する体制を取った。 2.個人研究費規程を改正し、特に特別研究費規程を策定し、科研費獲得に向けて個人研究費を増額して支援を行った結果、4件の科研費を獲得した。 3.研究費の使用項目を見直し、研究経費使用の適正化を図った。	(研究推進室) 1.個人研究活動計画及び報告の評価を学長、学部長、学科長が行い、研究成果を把握し、より推進する体制強化した。 2.個人研究費に加えて、特別研究費を規程した結果、2019年度は4件、2020年度は7件の科研費取得につながった。 3.個人研究費の適正な使用について改善されているものの、一部に個人の授業での使用と個人研究における使用が混在する事例もあり、2021年度個人研究計画に費用項目を設定し、より明確化する。	
	②公的研究の推進	(研究推進室) 1.研究倫理教育、科研費応募説明会、研究不正防止研究を行い、公的研究支援を行う。	(研究推進室) 1.2019年9月の学内全体研修会において、研究倫理教育、科研費応募説明会、研究不正防止研究に関する研修を実施した。	(研究推進室) 1.2020年8-9月の学内全体研修会において、研究倫理教育、科研費応募説明会、研究不正防止に関する研修を実施した。	
	③共同研究の推進	(研究推進室) (4) 地域連携による共同研究活動の推進に向けた、医療施設等との連携事業の強化 1.研究者とグループ病院施設との共同研究を活性化させて、地域医療に貢献する研究活動を行う。	(研究推進室) 1.ふれあいグループが地域医療環境に必要と考える研究ニーズ(認知症歩行訓練等)を明示した上で、病院施設と組織連携を実施している本学研究者への共同研究テーマを募集した。新分野を開拓する。独自の研究テーマで、長期的な視点でグループと共同研究できる研究を整理し、次年度に繋げる。	(研究推進室) 1.ふれあいグループ病院施設の職員と大学研究者の共同研究テーマにより、共同研究実施要項を策定し、応募する段階に達した。共同研究費予算400万円を計上し、2021年度から実施を予定する。	
①将来の医療従事者となるべく高い志を有する入学生の確保	④ブランディング研究の推進	(研究推進室) 1.大学独自色を出し打ち出せる特色ある研究を臨床医学研究所と連携を行いつつ、継続的に検討する。	(研究推進室) 1.臨床医学研究所に所属する2名の研究員が科研費を取得し研究を継続している。1名は「サルコペニアの病態」に関する研究。1名は「てんかん発点病院における薬剤師の実態調査」に関する研究。を行い成果をあげている。今後も本学特有の研究を推進できるように研究環境を強化する。	(研究推進室) 臨床医学研究所に所属する既存3名に加え、薬学部設置準備室の2名の教員が科研費を継続取得し、研究を継続している。5名の研究テーマは、2名は椎間板の研究、1名はてんかんの研究、1名は医療用麻薬に関する研究、1名は薬剤のユニバーサルデザインに関する研究である。今後も、地域医療に還元される研究を推進する。	

②教育及び研究の質の向上と地域貢献 ③学生の満足・理工工と学校(園)の付加価値の向上	地域連携	○地域連携推進活動に関する目標 ①地域連携推進活動を充実させる	公開講座参加者数 2015年度 開催無し 2016年度 355名 2017年度 253名 2018年度 432名 2019年度 214名 2020年度 オンラインのみ	(地域連携推進室) 1.多様な地域貢献活動の円滑かつ計画的な実施と実践の質を向上させる。 2.公共団体自治体等と連携し、地域にねざし、地域と共に歩む活動を推進する。 3.地域公開講座を実施する 1)大学まつり/専門学校進学相談会 2)中学校職業体験受入れ 3)中学生対象大学体験会 4)地区住民の環境をモデルとした研究または実習	(地域連携推進室) 1.「ヨコハマ大学まつり」は、企画メンバーとして参加。横浜の大学として他大学と共に市民に本学の活動をアピールした。 2.戸塚区と連携した健康イベント「わくわく健康フェスタ」への参加、瀬谷区との小中学生向け体験講座「せやこども大学」について区と共に企画し開催した。 3.市民公開講座を年間7回企画した。(コロナウイルス感染拡大防止の為、2回中止とした) 4.戸塚区内中学校の職業体験学習を2校受け入れた。本学のグループ病院と連携し、医療職業体験会を実施した。	(保健医療学部 地域連携推進室) 1.「ヨコハマ大学まつり」は、新型コロナウイルスの影響により、パネル展示の企画のみとなった。 2.戸塚区と連携した健康イベント「わくわく健康フェスタ」は、新型コロナウイルスの影響により、オンラインで「看護のおねえQ×タイム」で参加、瀬谷区の小中学生向け体験講座「せやこども大学」は、中止となった。 3.市民公開講座は、オンラインで年間6回企画した。(薬学部関係4テーマ、看護関係1テーマ、リハビリ関係1テーマ) 4.戸塚区内中学校の職業体験学習は、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。 (薬学部 地域連携推進室) 1.実績なし。 2.実績なし。 3.市民公開講座は、オンラインで年間6回企画した。(薬学部関係4テーマ、看護関係1テーマ、リハビリ関係1テーマ) 4.実績なし。
		②看護における臨床技術を向上させる研修を実施する	認定看護管理者(2ndレベル)受講者数 2019年度 9名 認知症13名1st22名	(看護実践教育センター) (8) 医療従事者並びに社会人向けの研修事業の拡大	(看護実践教育センター) 1.医療従事者に向けた認定看護師(認知症分野)、認定看護管理者セカンドレベル(日本看護協会に2019年10月に教育委員会として認定された)、また、看護実習指導者講習会は、ヒアリングを導入して実施し、地域医療に必要な看護人材の養成を行った。	(看護実践教育センター) 1 医療従事者向けの講習会として、認定看護師(認知症分野)、認定看護管理者(2レベル)に加えて、認定看護管理者(1レベル)を開講し、22名の受講生の教育を実施した。また、看護実習指導者講習会も実施した。(2021年度から県の委託事業として設定された。)また、特定行為研修(湘南東部総合病院と連携実施)の認可を受け、2021年度から実施することになった。
	募集広報	①学生募集活動を強化し、各学科の受験倍率及び入学率の確保に努める	看護学科志願者数 2015年度 393 2016年度 516 2017年度 429 2018年度 536 2019年度 482 2020年度 378	(募集・広報) 1.計画的な広報活動のもと、本学のアドミッション・ポリシーや特色を各種媒体や説明会を活用して広報活動し、多くの受験生かつ、本学が求める受験生を確保する。	(募集・広報) 1.年12回のオープンキャンパスと進路説明会を実施し、本学の特色や教育を理解いただき入学してもらえようイベントを実施した。計画的な広報活動のもと、看護学科については、482名の志願者に対して、アドミッション・ポリシーに基づき選考の結果、12名の入学者(定員超過1.03)であった。また、リハビリテーション学科は361名の志願者に対して、選考の結果、81名の入学者(定員超過率1.01)であった。	(保健医療学部 募集・広報) 1.コロナ禍の影響により、年14回のオープンキャンパス(WEB開催)と進路説明会を実施し、本学部の特色、教育内容をPRしたものの、新設学部であるが故の認知度の低さから、厳しい状況となった。また、入試についても、総合型選抜及び推薦入試の時期を逸したため、事実上、一般入試のみとなった。医療系学科は、111名の志願者に対して、APに基づく選考の結果、34名の入学者(倍率0.85倍)、入学定員充足率0.26となり、次年度に向けた対策を強化する。
		②学校法人の理念並びに3つのポリシーの実践により、地域から必要とされる魅力的な学校(園)になるための広報活動及び各関係機関(者)との連携活動の推進	理学療法専攻志願者数 2015年度 228 2016年度 323 2017年度 304 2018年度 266 2019年度 290 2020年度 192 作業療法専攻志願者数 2015年度 100 2016年度 120 2017年度 97 2018年度 147 2019年度 107 2020年度 110 薬学部医療薬学科志願者数 2020年度 111	(募集・広報) (7) ふれあいブランドを中心に据えた広報活動と次世代医療を担う低年齢層をターゲットとした職業体験会をふれあいグループ病院施設と連携して実施する。 1. 地域ニーズを反映できる質の高い高大連携(高専連携)、出前授業、公開講座等を実施する。 2. ふれあいグループ各病院施設と連携し、学園ブランド力を地域に発信する活動を行う。 3. 既受験者高校並びに高校教員との信頼関係を強め、教員向けの説明会の充実や幅やかな対応を行う。 4. 受験生が望むタイムリーな学園教育活動及び入試情報をいきよとする。 5. WEB、スマートフォン、ホームページ等の電子広報活動を行う。 6. 地域自治体、企業等団体との連携による、研究成果等の社会還元及び社会貢献活動を行う。	(募集・広報) 1.年間25校の出前授業の依頼を受けた(コロナウイルス感染拡大防止の為、5回中止とした) 2.卒業生取材はもたらぬ。卒業生を紹介する進学情報誌の雑誌取材等に看護部・リハビリテーション科として協力を要請し、実施した。グループ病院職員としての働き甲斐について発信を行った。 3.高校教員対象説明会や高校訪問を実施し、本学の教育体制や進路状況を報告し、受験生の確保につながる活動を実施した。 4.関東圏の進学フェアでの個別相談会だけでなく、DM郵送等も実施し、本学の最新情報を提供した。また、高校にむけて、メール・FAX通信を発信し、高校生向け、高校教員向けの情報を提供するよう努めた。 5.本学のホームページならびに受験生応援サイトの更新は月平均10回程度更新を実施している。その他受験生向けアプリ・SNSで最新情報を発信した。 6.年2回(コロナウイルス感染拡大防止の為、1回中止とした)のグループ病院職員全員対象の「医療研究会」では、大学教員と医療従事者が共に研究成果を発表、意見交換する場とした。	(保健医療学部・大学院 募集・広報) 1 年間10校の出前授業の依頼を受けた。 2 2019年度と同様、卒業生(OBOG)の協力を得て、卒業生紹介を各募集情報誌に掲載した。また、グループ病院職員にも協力を頂き、看護師、リハビリテーション従事者の魅力の発信を行った。 3 保健医療学部の高校教員向け説明会及び高校訪問は、既に認知度があるため、相応の成果をあげ、教育内容や、国家試験合格率、就職進路状況を報告し、学生確保に繋げた。 4 2020年度は、コロナ禍の影響により、進学フェアや会場ガイダンスは軒並み中止となった。そのため、個人向けDMの発信、大学HPの充実、高校教員に向けた資料の送付などを行った。 5 本学HP並びに受験生応援サイトの更新は、随時行っていたが、保健医療学部の各種情報量を増やすために、HPを刷新する予定である。その他、SNSの発信力が乏しいため、それを強化する予定である。 6 ふれあいグループとの連携の「医療・教育研究会」は、コロナ禍の影響で中止となったが、研究業績の抄録を冊子にして、研究成果を社会に還元している。また、地方公共団体との連携活動は、保健師教員員の地域のコロナ対策で協力するなど、一定の地域貢献を果たしている。 (薬学部 募集・広報) 1.実績なし。 2 グループ病院職員にも協力を得ても、薬剤師の発信力が少なかったことは反省点である。 3 薬学部の高校教員向け説明会及び高校訪問は、コロナ禍の影響や、本学の特色を伝えきれなかったこと、実績など、PRする材料が少ないこともあり、他校と競争することさえできなかった。原因を更に分析し、課題の克服が急務となった。 4 2020年度は、コロナ禍の影響により、進学フェアや会場ガイダンスは軒並み中止となった。そのため、個人向けDMの発信、大学HPの充実、高校教員に向けた資料の送付などを行った。 5 コロナ禍の影響により、薬学部の各種情報量を増やすために、HPを刷新する予定である。その他、SNSの発信力が乏しいため、それを強化する予定である。
		①入学試験方法を継続的に改善する		(入試) 1.高大接続を念頭に、多面的・総合的な評価がなされるように必要な改善を実施する。 2.アドミッション・ポリシーに基づく学生の入学を目的に、AO入試、推薦入試、面接試験の方法の検討を行う。	(入試) 1.年度毎にむけて、入試委員会にて検討を重ねた。次年度より、多面的・総合的な評価が明確になるよう入試制度を変更することにした。	(保健医療学部・大学院入試) 多面的、総合的な評価を取り入れた入試を実施した。そのため、総合型選抜入試、推薦入試の定員枠を増やし、一般入試の定員枠を減少させた。結果、本学が求める学生を確保することができた一方、一般入試の定員数が減少した影響により、総受験者数の減少となり、課題を残した。大学院の入試は、助産学領域は定員を確保したが、健康増進・予防領域、心身機能回復領域は定員を割ったため、8名の入学者にとどまった。定員を確保するために、教員の研究業績や研究内容をわかりやすく紹介するなどの対策を行う。 (薬学部入試) 総合型選抜入試、推薦入試(指定校推薦)が、認可の遅れにより事実上実施できなかった。また、改善点は、推薦入試を専断入試としていたため、受験生から敬遠されることにもつながった。今年度、指定校推薦を実施するにあたり、高大連携を密にすることが重要であるため、協定を結ぶ活動を行う。
		○人事計画		1.各校(園)の事業計画を達成するために資質の高い人材を登用し、全教職員が学生を共に育み育つ教育活動に専念できる組織を構築するため、各部署で選定と判断される人数の配置を進める。	1.大学事務職員の離職により、更に職員教育の重要性が高まった。資質の高い人材を登用し、長所を生かし、本学の理念や本学の事業方針の組織下で、個々の能力を活かすことができる組織での人員配置が次年度の課題である。看護学科、並びにリハビリテーション学科の教員は、欠員専任教員の補充はなされ、大学設置基準に求められる教職員数を越える教員を配置した。	(保健医療学部・大学院) 1.前年度より事務職員の離職者が増加した。歴史が深い大学であるが故、教員の処遇、業務の非固定化、組織への不満意識の低下、研修体制など、課題が山積している。但し、新入職員の増加により、旧職員の業務に、業務効率向上の変化の兆しがあり、期待もてる。また、大学院の教員2名の不足が文科系から指摘を受けたが、文科系教員審査に2名を追加申請し、教員数を確保できた。 (薬学部) 1.令和3年度担任予定の薬学部の教員23名の内、1名(助手)は入職辞退、1名(教授)は就任時期の変更となり、21名の教員が就任した。教授の入職時期の変更により、予定していた科目を担任するまでの間は、非常勤講師に依頼することになった。辞退した助手の後任は、2022年度に配置することになった。
		組織 ①学園行動規範		1.本学園の行動規範に従い教職員の自己規律や倫理徳を徹底する。また、朝礼の五訓を実践し、学生並びに教職員が常に成長していくことができる組織を目標とする。	1.2019年9月～10月の全体研修研究会において、本学園の行動規範について説明した。また、毎月の大学全体で義務付けている、(PDC活動、業務改善、全体研修会の参加、朝礼の五訓、6S活動)の5つの活動を通して各自が教育の質の向上に努力している。	ふれあいグループの職員手帳及び就業規則等により、本学の行動規範を周知している。また、4～5月の全体研修会において、学科長から教職員の心構えの講話があった。なお、本学の5つの活動(PDC活動、業務改善、全体研修会の参加、朝礼の五訓、6S活動)の実践を通して、各自が教育の質保証につながる活動を展開している。

運営	②会議・委員会を充実させる		1.運営管理会議、教授会、各校運営会議、各種委員会等の会議を充実させて、経営と教学が連動して「教育の質の向上」を目指す。そして国家試験100%、休退学者0を目標に教育指導体制を整備する。	1.2019年度は、運営管理会議21回、教授会16回、教務委員会12回、学生支援委員会8回、FD委員会2回、入試委員会5回、図書委員会4回、研究倫理委員会5回、研究推進室会議5回、地域連携推進室会議6回を実施し、教育の質の向上のための課題を検討した。併せて、私立大学等改革総合支援事業のタイプ1、特色ある教育の展開にある未達成事業に取り組みながら、採択に至らなかった。	(保健医療学部) 1. 2020年度は、運営管理会議26回、教授会11回、教務委員会11回、学生支援委員会13回、FD委員会7回、自己点検・評価委員会8回、入試委員会4回、図書委員会3回、研究倫理委員会4回、研究推進室会議6回、地域連携推進室会議5回を開催し、教育の質の向上、組織運営の向上を目指した。また、前年度から継続し協議を重ねた私立大学等改革総合支援事業のタイプ1、教育の質向上の未達事項の減少はできたものの、2020年度も採択には至らなかった。 (大学院) 1. 2020年度は、運営管理会議9回、研究科委員会11回を開催し、大学院学生の募集活動や院生の研究活動に関する検討を行った。 (薬学部) 1. 2020年度は、薬学部開設に向けて、薬学部設置準備室会議21回を開催し、文科省への申請した教育内容に沿った準備、学生募集活動、入試等について検討を重ねた。
	③ IR 担当の設置(継続)		1.大学、各専門学校が行っている教育内容・研究内容の開示、グループ関連病院施設等での実習施設情報等、教育・研究・経営全般の様々な情報収集・分析を反映した企画・立案するIR担当者を設置できる環境を整備する。今年度も引き続き、学生・保護者等学園を支援する方々に、教育活動及び経営情報を提供し、学園の目指す姿を提示し、理解を深めてもらえるよう計画的に実施する。	1.大学のホームページに本学の活動報告として、教育内容や研究内容など様々な情報を開示している。但し、それらの個々の開示情報についての分析作業や分析結果の公表は、IR担当の今後の課題である。また、教育活動や経営状況の情報は、大学学報などの広報誌を作成するなど、今後の努力目標である。また、保護者会などを組織を置き、大学への理解を深められる場を設けることを検討課題である。	1. 本学のIRは、入試、教育、研究支援を中心とする大学の各種情報については、各委員会及び各部署(各学科、各事務部署、法人为本部)、各教員にて継続的に蓄積し、保存している基礎データを基に、教育改善のために集計し、分析できる資料を有している。集計・分析結果は、部署又は、個人ベースで各委員会や全体研修会、FD研修会、SD研修会にて発表・共有し、入試、広報、教育、研究の改善に役立てている。但し、現在、データが分散して保存されていることにより、部門ごとの単一データの経年比較などが行えず、データの応用性に乏しく、各種のデータを組み合わせる様々な問題を解決できるようにIR専門部門を設置することが課題である。
	○人材育成 ①全体研修会(FD・SD活動)		1.事務職員は、SD研修を継続的に実施するとともに、次世代リーダーの育成を図る。また、自己啓発支援を実施し、特にPCスキル、文書作成、財務能力の向上に向けた研修に取り組む。 2.教職職員は、授業力・教育力・指導力等、資質向上に向けた体系的な階層別研修を実施し、個々の教育スキルの向上に取り組めるFD活動を行う。	1.大学職員として必要な知識を修得するために、2019年度のSD研修は5回実施した。但し、学生募集や学生支援に関する研究が多く、予定していた事務処理能力の向上や財務諸表に関する研修は次年度以降に実施する。 2.2019年度のFD研修は6回実施した。専門部会別研修会では、「教育内容・教育方法の構築及び学修成果の可視化への取り組み」「国家試験対策教育」「チーム医療」並びに「多職種協働」を実践できる人材教育「大学が抱える課題への取り組み」などの研修を実施した。	1. 2020年度のSD研修は5回実施した。学生募集に関する研修以外に、コロナ禍におけるマナバを使用したオンデマンド授業の学習支援、私立大学等改革総合支援事業の未達課題、自己点検・評価に向けた取り組み、業務改善、年間PDCの分析などの課題について研修を実施した。しかし、実施を予定していた事務処理能力の向上、財務諸表関係の研修は中止となった。 2. 2020年度のFD研修は5回実施した。授業研究、国家試験対策、就職支援、研究不正防止、教育の質向上の取り組み、実習指導方法、コロナ禍における講義などの研修を実施した。
	②全学PDC活動		1.全校対象で、PDC活動と称し、毎月、①学生募集 ②教務・学生支援 ③国家試験対策 ④6S(清掃、整理、清掃、清潔、整、作法)活動 ⑤業務改善(教育課程、シラバス、学生便覧、教授方法等)の項目について、Plan(計画)・Do(行動)・Check(確認)を実施し、問題点や課題点の対策を行う。	1.PDC活動は、1毎月行った。①学生募集は、資料請求者数や学校説明会参加者数の目標値の達成。②教務・学生支援は、学生サービスや事務作業の効率化の目標値を達成。③国家試験対策は、毎月の成績低迷者への指導方法の目標に達せず次期の課題がある。④6S(清掃、整理、清掃、清潔、整、作法)活動は、毎月の役割を決めて、行動する項目の目標を達成。⑤業務改善(教育課程、シラバス、学生便覧、教授方法等)の項目については、全体研修会でのFDと運動させて目標を達成した。	学園の教職員が取り組む5つの活動にあるPDC活動は、前年に引き続き毎月実施した。1年間の目標に対し、毎月の目標、行動計画、検証を行い、次の目標を定めている。大項目の、①学生募集では、資料請求やガイダンス参加者のアンケート調査による課題の発見。②教務・学生支援では、コロナ禍におけるオンデマンド授業に対する支援、③国家試験対策においても、コロナ禍における教員の指導とデータ分析、④6S活動は、学生のSNS問題、コロナ感染者を出さないための衛生環境の整備、⑤業務改善は、教員は教育方法の改善、シラバスや学生便覧の改善、職員は時間外業務の削減を目標にPDC活動を実施した。
	コンプライアンス教育		1. 寄附行為及び各種規程規則に基づいて、理事会、評議員会及び各会議委員会を運営する。 2. 各校毎に理念・目標に照らして教育研究活動の状況を自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、覆れている点や改善を要する点など自己点検評価を行う。 3. 教職員ハンドブックの配布を通じて、行動指針や行動規範の周知徹底を図る。 4. 学生指導記録や USB メモリの取扱方法等、学内研修会を通じて教職員に啓発を行う。 5. 個人情報を含む職務上知り得た情報の管理・運用やSNSの適切な利用について徹底した注意喚起を行い、一層の職員の規律を高める。	1.2019年度は、計画された会議は全て実施した。 2.2019年度は、大学をはじめとする各々は、自己点検・評価を実施し、その結果を各校のホームページに掲載している。但し、その結果内容の分析は公表していないため、次年度の課題である。 3.職員手帳により、大学を含めた本グループの理念や行動指針、行動計画は周知した。但し、学園のみの行動指針、行動計画は各校の事務室保管であるため、ホームページに掲載するなど、更なる周知徹底が必要である。 4-5.個人情報保護、守秘義務は、学園の行動計画において啓発活動を常に行い、徹底されている。	1. 寄附行為及び各種規程等に基づき、理事会、評議員会及び大学各会議、委員会を開催した。 2. 2020年度も大学、各専門学校、認定こども園は、自己点検・評価を実施し、その結果をHPに掲載し、周知している。また、専門学校は学校関係者評価を受け、公表している。大学は、2021年度の認証評価の受審の準備を開始した。2020年度から専門学校も、自己点検・評価の分析結果の公表を行った。 3. 前年同様、職員手帳や職員ハンドブックにより、行動指針、行動規範を周知した。また、ホームページにも掲載し、社会に周知することにした。 4-5. 教員の学習指導記録の作成には至っていない。個人情報の保護、守秘義務、SNSの適切な利用は、医療従事者教育に必要な重要事項として、全体研修会や会議等において課題とし、問題があった場合には、教職員や学生への指導を徹底した。(2020年度は卒業生のSNS問題が大学に影響を及ぼしたため、学生への倫理教育を行った。
施設	キャンパスの整備		(薬学部設置準備室) 1.2021年度開設構想の薬学部キャンパス計画の立案	(薬学部設置準備室) 1.2020年3月文科省に薬学部設置申請書に記載した。保健医療学部棟の隣接地に、薬学部棟を建設し、本学は20年以上の賃貸借契約により、使用する計画である。2020年度に地下2階から地上3階部分の完成、2022年1月竣工予定(地上7階)である。	(共通) 1. 学生の福利厚生の一環として、駐輪場の一部を改築し、学生サロンを設置した。 (薬学部) 1. コロナ禍の影響により、予定していた薬学部校舎建設工期は大幅に遅延したため、計画を変更して、初年度は、保健医療学部の校舎を使用することになった。
	教育設備の充実		(保健医療学部) 1.学生同士の知的交流を生み出すグループワーク室を充実させる。 2.学内無線LANやプロジェクター等を積極的に活用した効果的な授業を実施する	(保健医療学部) 1.図書館内のグループワーク室にビデオ教材を設置し、視聴覚学習環境を整備した。 2.図書館以外に、学生食堂内に学内無線LANを配置し、インターネット環境を整備した。また、プロジェクター等の機器を有して、パワーポイントや動画教材を用いた授業を多数の教員が積極的に活用し、アクティブな授業を展開した。	(保健医療学部) 1.コロナ対策により、飛沫感染防止バーションの設置(食堂、図書館、会議室、その他) 2. コロナ対策による、オンデマンドやオンライン授業に関連する学習支援ソフト(manaba)の導入、タブレット等の機器備品の整備(国庫補助金を活用) 3. 学内通信環境の強化整備
大学院教育	①社会人入学生の推進を図る。		(修士課程) 1. 保健医療学研究科の広報を充実させる。	(修士課程) 1. 保健医療学研究科を志願する社会人入学生が求める研究内容に対応するために、3領域の特別研究指導者を増員すべく、文科省に教員審査を提出し1名がWQ合審査に合格した。	(修士課程) 社会人学生を獲得するために、オンライン授業の充実を含めて、現業医療従事者が大学の教員の研究業績や研究内容を分かりやすく広報周知する計画であったが、未達成となった。しかし、大学院の研究指導教員を充実させて、社会人学生の研究課題に広く応えられるようにするため、2020年度は、大学院教員審査に2名申請し、研究指導教員は、計15名となった。また、2022年度生の学生募集に向けて、大学院パンフレットを大幅に見直し、HPも改善する予定である。
	②AC期間中の保健医療学の大学院における教育研究を計画的に実施する。		(修士課程) 1. 保健医療学研究科において、高度な専門職業人教育及び研究を行う。	(修士課程) 1. 保健医療学研究科1期生11名を受け入れた。文科省に提出したシラバスの内容に沿って各教科目の学修を実施した。	(修士課程) 1. 2020年度2期生7名が入学した。コロナ禍において、シラバスの内容に沿って各教科をオンライン授業を中心に学修し、第1期生6名が修士号を取得した。

学校法人湘南ふれあい学園 規程一覧

○共通

2021年3月31日現在

No.	規程名	制定日	直近改正日
1	就業規則	H3.4.1、実施	R3.1.1一部改正
2	就業規則（非常勤職員）	H16.12.16、実施	R3.1.1一部改正
3	慶弔金規程	H4.1.4、実施	H25.1.1、一部改正
4	非常勤講師に関する規程	H27.4.1、制定	H31.4.1、一部改正
5	教職員給与規程	H6.1.1、実施	H31.4.16、一部改正
6	退職金規程	H3.3.4、実施	H26.4.1、一部改正
7	役員報酬規程	H27.4.1、制定	R3.1.1 一部改正
8	役員退職金支給規程	H27.4.1、制定	
9	育児休業規程	H4.4.1、適用	H29.10.1、一部改訂
10	介護休業規程	H15.9.1、適用	H29.1.1、一部改訂
11	事務組織及び事務分掌に関する規程	H26.4.1、制定	H27.4.1、一部改正
12	顧問規程	H26.4.1、制定	
13	稟議規程	H26.4.1、制定	
14	監事監査規程	H6.4.1、制定	R2.4.1 一部改正
15	内部監査規程	H27.4.1、制定	
16	経理規程	H16.4.1、施行	2019.10.1一部改正
17	寄附金等取扱規程	H25.10.10、制定	H25.10.10、一部改正
18	資産運用規程	H22.4.1、制定	
19	国内出張旅費規程	H17.10.1、施行	H29.4.1、一部改正
20	赴任旅費支給規程	H17.5.1、制定	
21	学会・研修会等参加規程	H27.4.1、制定	H29.11.1、一部改正
22	固定資産及び物品管理規程	H26.4.1、制定	
23	公印取扱規程	H26.4.1、制定	H31.4.1、一部改正
24	文書管理規程	H22.4.1、施行	H26.4.1、一部改正
25	文書取扱規程	H24.4.1、施行	H26.4.1、一部改正
26	図書管理規程	H27.4.1、制定	
27	個人情報管理規程	H17.4.1、施行	H29.7.19、一部改正
28	情報公開規程	H17.4.1、施行	H27.4.1、一部改正
29	公益通報に関する規程	H27.4.1、制定	
30	学生寮規程（旧室田寮規程）	H27.4.1、制定	H30.4.1、室田寮規程改正
31	セクシャルハラスメントに関する規程	H21.2.1、制定	
32	講演、寄稿等の職員外部活動規程	H20.8.1、制定	
33	看護師養成所専任教員養成講習会受講資金貸与規則	H24.4.1、施行	H26.4.1、一部改正
34	看護教員研修貸付金制度規程	H20.12.1、制定	
35	転校等に伴う入学検定料・入学金免除規程	H20.3.28、制定	
36	湘南ふれあい学園 学生慶弔見舞規程	H17.8.31、制定	H27.11.25、一部改正
37	名刺管理規程	H28.7.1、施行	
38	貸室利用規程	H29.1.1、制定	
39	実習謝礼金支払規程	H29.1.1、制定	H30.10.1一部改正
40	非常勤講師報酬等規程	H29.1.1、制定	H31.04.01 改正
42	特定個人情報取扱規程	H30.4.1、制定	
43	服装に関する規程	H31.4.1施行	
44	学校法人理事会の決定権限の委任に関する規程	H31.4.1施行	
45	固定資産及び物品購入規程	2019.10.1施行	
46	職員懲戒規程	2019.11.22、施行	
47	湘南ふれあい学園専修学校評価実施規程	2019.4.1施行	
48	大学等における修学の支援に関する法律に規定する授業料等の減免に関する規程	2020.4.1施行	

湘南医療大学 規程一覧

○湘南医療大学

2021年3月31日現在

No.	規程名	制定・施行日	最新改正施行日
1	湘南医療大学 学則	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
2	湘南医療大学 常勤教育職員勤務規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
3	湘南医療大学 学長任用規程	平成27. 4. 1	
4	湘南医療大学 副学長に関する規程	平成27. 4. 1	
5	湘南医療大学 学部長等選考規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
6	湘南医療大学 常勤教育職員の採用及び昇任に関する規程（旧 教育職員任免規程）	平成27. 4. 1	令和2. 12. 23
7	湘南医療大学 教育職員定年規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
8	湘南医療大学における教員の任期に関する規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
9	湘南医療大学 教授会規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
10	湘南医療大学 入学者選考規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
11	湘南医療大学 編入学規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
12	湘南医療大学 聴講生規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
13	湘南医療大学 科目等履修生規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
14	湘南医療大学 学部運営管理会議規程（旧 運営管理会議規程）	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
15	湘南医療大学 研究倫理規程	平成27. 4. 1	平成27. 11. 18
16	湘南医療大学 特待生規程	平成27. 4. 1	
17	湘南医療大学 研究倫理委員会規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
18	湘南医療大学 研究推進室規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
19	湘南医療大学 地域連携推進室規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
20	湘南医療大学 図書館規程	平成27. 4. 1	
21	湘南医療大学 図書委員会規程	平成27. 4. 1	
22	（欠番）		
23	湘南医療大学 図書館利用規程	平成27. 4. 1	平成31. 4. 1
24	湘南医療大学 入学、転学、留学、休学、退学等に関する規則	平成26. 11. 1（平成27. 4. 1）	令和3. 4. 1
25	湘南医療大学 入学検定料及び学生納付金並びにその他費用に関する規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
26	湘南医療大学 ファカルティ・ディベロップメント委員会規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
27	湘南医療大学 学生支援委員会規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
28	湘南医療大学 教務委員会規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
29	湘南医療大学 自己点検・評価委員会規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
30	湘南医療大学 ハラスメント防止規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
31	湘南医療大学 ハラスメント防止等のための指針	平成27. 4. 1	
32	湘南医療大学 紀要委員会規程	平成27. 4. 1	
33	湘南医療大学 防災規程	平成27. 4. 1	
34	（平成27. 11. 18廃止）湘南医療大学における公的研究費の適正な取扱い等に関する規則	平成27. 4. 1	
35	湘南医療大学 授業科目履修規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
36	湘南医療大学 学生規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
37	湘南医療大学 学生懲戒規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
38	湘南医療大学 学生表彰規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
39	湘南医療大学 学納金滞納による除籍の手続きに関する規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
40	（平成27. 11. 18廃止）湘南医療大学 研究活動の不正行為に関する取扱指針	平成27. 4. 1	
41	湘南医療大学 転学科に関する規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
42	湘南医療大学 共同研究規則	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
43	湘南医療大学 個人研究費規程	平成27. 4. 1	平成31. 4. 1
44	湘南医療大学 学会・研修会等参加規程	平成27. 5. 18	平成29. 11. 1
45	湘南医療大学 健康管理規程	平成27. 4. 6	
46	湘南医療大学における公的研究費の不正使用及び研究活動における不正行為の防止等に関する規則	平成27. 11. 18	令和3. 4. 1
47	湘南医療大学における公的研究費の不正使用及び研究活動における不正行為の調査等に関する規則	平成27. 11. 18	令和3. 4. 1
48	湘南医療大学 人を対象とする研究倫理審査要項	平成27. 11. 18	令和3. 4. 1
49	湘南医療大学における公的研究費の不正使用及び研究活動における不正行為の防止に関する基本方針	平成27. 11. 18	
50	湘南医療大学における研究不正防止計画	平成27. 11. 18	

湘南医療大学 規程一覧

○湘南医療大学

2021年3月31日現在

No.	規程名	制定・施行日	最新改正施行日
51	公的研究費等に係る適切な運営管理について	平成27. 11. 18	
52	湘南医療大学 常勤教育職員採用基準に関する規程（旧 教員採用基準に関する規程）	平成29. 4. 1	令和2. 12. 23
53	湘南医療大学 常勤教育職員昇任基準に関する規程（旧 教員昇任基準に関する規程）	平成29. 4. 1	令和2. 12. 23
54	湘南医療大学 特別任用教員に関する規程	平成29. 2. 1	令和3. 4. 1
55	湘南医療大学 臨床教授等の称号の付与に関する規程	平成29. 2. 15	令和3. 4. 1
56	湘南医療大学 衛生委員会規程	平成29. 7. 5	令和3. 4. 1
57	湘南医療大学 学生懲戒に関する細則（旧 湘南医療大学 学生懲戒に関する内規）	平成29. 9. 20（内規策定）	令和3. 2. 10（細則制定）
58	湘南医療大学 学生寮規程	平成27. 4. 1	令和3. 4. 1
59	湘南医療大学 リポジトリ規程	平成30. 4. 1	
60	（令和元. 7. 30 No84湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護師部門運営規程へ改正） 湘南医療大学 認定看護師研修センター運営規程	平成30. 4. 1	令和元. 7. 30 No84へ改正
61	（令和元. 7. 30 No85湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護師部門教員会規程へ改正） 湘南医療大学 認定看護師研修センター教員会規程	平成30. 4. 1	令和元. 7. 30 No85へ改正
62	（令和元. 7. 30 No86湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護師部門入試委員会規程へ改正） 湘南医療大学 認定看護師研修センター入試委員会規程	平成29. 11. 1	令和元. 7. 30 No86へ改正
63	湘南医療大学 職業紹介業務運営規程	平成30. 4. 1	
64	湘南医療大学 職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程	平成30. 4. 1	令和3. 4. 1
65	湘南医療大学 ハラスメント防止委員会規程	平成30. 8. 8	令和3. 4. 1
66	湘南医療大学 臨床医学研究所規程	平成30. 4. 1	
67	湘南医療大学 学長補佐に関する規程	平成30. 4. 1	
68	湘南医療大学 キャリア支援センター規程	平成30. 9. 1	令和3. 4. 1
69	湘南医療大学 大学院研究生規程	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
70	湘南医療大学 特別研究費規程	平成31. 4. 17	
71	湘南医療大学 客員研究員受入規程	令和元. 5. 8	令和3. 4. 1
72	湘南医療大学 大学院運営管理会議規程	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
73	湘南医療大学 看護実践教育センター規程	令和元. 7. 30	
74	湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護管理者部門運営規程	令和元. 7. 30	令和2. 6. 25
75	湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護管理者部門教育運営委員会規程	令和元. 7. 30	
76	湘南医療大学 大学院学則	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
77	湘南医療大学 保健医療学研究科委員会規程	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
78	大学院にかかる講義等を行った場合の手当に関する定め	平成31. 4. 1	
79	湘南医療大学 大学院保健医療学研究科履修規程	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
80	湘南医療大学 大学院学位規則	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
81	湘南医療大学 大学院入学金免除規程	令和2. 1. 22	
82	湘南医療大学 大学院長期履修規程	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
83	湘南医療大学 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）発生時における危機管理規程	令和2. 9. 15	
84	（令和元. 7. 30 No60を改正） 湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護師部門運営規程	（No60制定） 平成30. 4. 1	令和元. 7. 30
85	（令和元. 7. 30 No61を改正） 湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護師部門教員会規程	（No61制定） 平成30. 4. 1	令和元. 7. 30
86	（令和元. 7. 30 No62を改正） 湘南医療大学 看護実践教育センター認定看護師部門入試委員会規程	（No62制定） 平成30. 4. 1	令和元. 7. 30
87	湘南医療大学 利益相反管理規程	令和2. 10. 14	
88	湘南医療大学 研究データの保存等に関する規程	令和2. 10. 14	
89	湘南医療大学 保健医療学部看護学科保健師課程履修者選考規程	令和2. 12. 9	
90	湘南医療大学 大学院院生研究費規程	平成31. 4. 1	令和3. 4. 1
91	湘南医療大学 研究室における秘密情報管理規程	令和3. 4. 1	
92	湘南医療大学における動物実験等に関する規程	令和3. 4. 1	

監 査 報 告 書

2021 年 3 月 24 日

学校法人 湘南ふれあい学園
理事長 大屋敷 芙志枝 様

監事 金井 清吉



監事 竹俣 耕一



学校法人湘南ふれあい学園監事監査規程第 4 条に基づき、下記のとおり監査結果を報告
します。

記

- | | |
|---------|-------------------------|
| 1 監査種別 | 業務監査 |
| 2 対 象 | 湘南医療大学、茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 |
| 3 実 施 日 | 2021 年 3 月 24 日 |
| 4 実 施 者 | 金井 清吉、竹俣 耕一 |
| 5 監査意見 | 監査の結果、適性と認められた。 |

以上

監 査 報 告 書

2021 年 3 月 24 日

学校法人 湘南ふれあい学園
理事長 大屋敷 美志枝 様

監事 金井 清吉



監事 竹俣 耕一



学校法人湘南ふれあい学園監事監査規程第4条に基づき、下記のとおり監査結果を報告します。

記

- 1 監査種別 業務監査
- 2 対 象 2020年度 湘南ふれあい学園理事
- 3 監査項目

	チェック内容	適／否
1	理事会の運営における事実認識の重要かつ不注意な誤りがないか	適
2	意思決定過程の合理性、法令、寄附行為等を遵守しているか	適
3	理事会の意思決定に際し、善管注意義務が果たされているか	適
4	理事会の意思決定内容が本学校法人の利益を第一として検討されているか（理事本人または第3者の利益となっていないか）	適
5	理事会における内部統制が構築されているか	適

- 3 実 施 者 金井 清吉、竹俣 耕一
- 4 監査意見 上記の通り、適性と認められた。

以上

Ⅲ 各学校の事業報告

1) 湘南医療大学

(1) 理念の実践

全体研修、教授会、その他委員会等各種会議をととして、全教職員、学生に対して「人を尊び、命を尊び、個を敬愛す」の理念を礎とする、思いやりのある教育活動を実践することを確認し、行動した。

(2) 教育活動の実践

令和元年に起った新型コロナウイルスの感染拡大を受け、これまでにない授業形態、学習支援、大学の活動を展開せねばならず、授業の新たな方法としてインターネットの活用や課題による授業時間の読み替え、分散授業、実習時間を確保するため、学内演習による技術取得など専門職業人の育成のため、教育活動に努力した。令和2年2月より新型コロナウイルス感染が拡大したことから、令和2年度早々入学式中止、緊急事態宣言の発出に伴い、6月までの登校禁止、感染防止のため自宅学習を余儀なくされ、入学オリエンテーションも簡易的に行うなど新1年生向けに十分な支援ができないままスタートを迎える形となった。

その中、看護学科82名、リハビリテーション学科81名の第6期生、大学院保健医療学研究科（修士課程）に8名の第2期生を迎えた。

ア) 学修指導

オリエンテーションガイダンスを通じて、看護学科及びリハビリテーション学科の設置趣旨の理解促進、及び学生便覧、シラバス等により4年間にわたる系統的な学習計画の指導・説明を実施した。

イ) 入学前教育の実施

看護学科、リハビリテーション学科ともに、入学に先立ち、AO入試入学者は11月後半から、推薦入試入学者に対しては1月より、入学前課題を出題した。パソコン・スマートフォン・タブレット等を使ってインターネット上で行うウェブ課題形式で、基礎学力・数学・物理・化学・生物等の課題を出題した。

ウ) オフィスアワーの実施

学生が主体性を持って自主的に学習計画を進めるにあたり、オフィスアワーを活用できる環境を整備し、オリエンテーションガイダンス、授業概要誌面上の周知、教員研究室前の掲示等を活用して、学生のオフィスアワーの活用を促す取り組みを促進した。

エ) 国家試験結果と実施した対策

国家試験結果は看護師については、新卒者の合格率95.4%(91/95名)【全国平均95.4%】、既卒者を含む合格率94.9%(94/99名)【全国平均90.4%】、保健師については、新卒者の合格率92.3%(12/13名)【全国平均97.4%】、既卒者を含む合格率92.8%(13/14名)【全国平均94.3%】となった。

また、理学療法士については、新卒者の合格率94.4%(34/36名)【全国平均86.4%】、既卒者を含む合格率90.0%(36/40名)【全国平均79.0%】、作業療法士については、新卒者の合格率78.4%(29/37名)【全国平均88.8%】、既卒者を含む合格率75.6%(31/41名)【全国平均81.3%】となった。

看護学科は、①新型コロナ感染拡大に伴い、登校を禁止していた4月～5月の期間は、無料の国家試験問題のアプリケーションを活用したり、manabaを使って過去問題から厳選した小テストを実施した。②6月からは、昨年の国家試験問題を含む業者模試を計画し、1か月に1回の間隔で1月末まで計8回計画・実施した。③学生が苦手としている「人体の機能と構造（解剖・生理学）」については、学内外の講師に特別講座を依頼し、早期に基礎固めをする目的で、7月～9月の間に11回（22コマ）実施した。④看護学専門領域別特別講座は、各領域の先生方に依頼し、10月～12月の期間に計12回（18コマ）実施した。⑤10月20日から翌年2月10日までの期間、自己学習室を設置し学習環境を整えた。特に、もう二踏ん張りグループ（要支援学生）は、原則毎日登校するように指導し、特別学習支援企画を11月2日から1月25日まで計17回（24コマ）実施した。

リハビリテーション学科理学療法専攻では、1年生の成績不良者にフォーカスし

生理学、解剖学の自己学習用のテキストを配布しフォローした。2年生は国試の過去問題に触れながら年度末に3年生と同様の専門基礎科目の模試(解剖学・生理学・運動学)を実施した。3年生はゼミ形式の学習と担任による過去問題の解答、2月末に業者の基礎模試(解剖学・生理学・運動学)を実施した。4年生は臨床実習終了後、9月に業者による対策講座を受講し、業者による模試3回と過去問13回の計16回実施し、成績不良者に対しての指導を強化した。

リハビリテーション学科作業療法学専攻では、1年生の三科目模試を実施、毎週1回実施するホームルームにて、クラス担任を中心に学生の資質向上を図るため、自学自修の勉強会を実施した。2年生は専門基礎科目(解剖学・生理学・運動学)の過去模試を行い、結果のフィードバックと個別対応を行った。3年生はゼミ形式の学習と担任による過去問題の解答を行い、業者の専門基礎科目模試(解剖学・生理学・運動学)とオリジナルの業者模試を実施した。4学年は、臨床実習後に夏合宿を行い、皆で国試を乗り切る覚悟を共有し、業者模試、校内模試(過去問等)を8回(合宿での力試しを除く)実施し、ゼミ単位で学習フォローを行い、成績不良者には集中し対応した。

オ) 就職支援

グループの就職説明会を看護学科、リハビリテーション学科ともに実施し、学内で8月に選考試験を実施した。グループ内定は看護学科33名(うち2名国試不合格)、理学療法学専攻18名(うち1名国試不合格)、作業療法学専攻23名(うち6名国試不合格)の計74名(うち9名不合格)となった。

(3) F D 活動

教員の教育力向上を目的としたファカルティ・ディベロップメント(FD)の取り組みの一環として、FD委員会を実施し、学生による授業評価アンケート、教員相互の授業参観、新任教員を対象とした教育方法・学生指導に関する研修会を企画実施した。

ア) 学生による授業評価アンケート

「FDネットワークつばさ」の共通フォーマットによる授業評価アンケートを前後期に実施した。

アンケート結果は、授業科目ごとにデータ化するとともに授業科目群別のレダーチャートを作成、科目担当教員に渡すと同時に、今後の授業改善内容を記す「リフレクション・ペーパー」の作成と提出を依頼した。

なお、授業評価アンケートから、授業科目の評価が著しく低い教員については、当該授業科目の今後の取組みについても明記し、提出を依頼している。

イ) 教員相互授業参観と自己評価

効果的な授業の進め方、目的に沿った授業運営方法等について、各学科前後期に分かれて各2科目を対象として授業参観を実施した。(2020年秋に実施)実施後、参観した教員にはワークシートを提出してもらい、教員個々の授業運営への活用や、今後の授業参観の運営方法に関する改善点等について意見交換と情報収集を行った。

ウ) 他大学の教育方法の伝達研修

両学科のFD委員から他大学で展開している研修に参加し、発表形式の研修を実施した。

エ) 教育方法改善検討会

他大学の教育方法の伝達研修にあわせて、本学の両学科専攻へ導入できないかグループワークを行い、検討した。

オ) 臨床実習指導方法に関する講習会

両学科ともに実習指導者及び学内教員に対して臨床実習指導法について研修を実施した。

カ) 実習評価に関する研修

両学科ともに学内教員に対して実習評価について研修を実施した。

キ) 教育方法改善検討会

学生のモチベーション向上について、1学科2専攻ごとに事例発表を行い両学科混成でグループワークを行った。

(4) 私立大学等改革総合支援事業

2019年度より補助金の申請が可能となった事業として、令和元年度申請583校中選定178校(選定率31%)89点満点中採択選定基準48点以上という結果の中本学は

38点と10点不足し、採択とはならなかった。そのため、2020年度は効果的な取り組みを行い、52点にまで上昇することができた。しかしながら、2020年の結果としては、採択点数が68点となり、昨年に引き続き不採択となった。2020年度の取組みを更に効果的な取り組みとなるように行っていく。

(5) 学生募集活動

2020年度最大の目標である「薬学部医療薬学科の設置」に伴い、精力的に学生募集をおこなった。新型コロナウイルスの影響により、2020年度前半は高校内ガイダンス、会場ガイダンスが軒並み中止となり、その後オンラインガイダンスを始めるなど非接触型ガイダンスが主流となった。このような逆風の中、設置認可が10月末となり、入試方法の告知が11月からとなった影響もあり、薬学部は34名の入学者という結果に終わった。

また、2020年度は入試改革として大学共通テストの実施が行われた。それに伴い、本学の入試方法も変更することとなり、総合型選抜試験、一般選抜試験、学校推薦型選抜試験の大きく3つの選抜試験に大学共通テスト利用者選抜を加えた入試選抜方法をとることとなった。

計画的広報活動のもと、看護学科は、378名の志願者に対して、アドミッションポリシーに基づく選考の結果、81名の入学者(定員超過率1.01)であった。リハビリテーション学科は202名の志願者に対して、選考の結果、84名の入学者(定員超過率1.05)であった。

(6) 地域交流活動

新型コロナウイルスの影響でヨコハマ大学まつりはパネルのみの参加となった。また、横浜市の主催である大学・都市パートナーシップ協議会には昨年に引き続き参加した。

(7) 大学院教育の充実

2020年度は18名(1年8名、2年10名)で開始となり、最終的に6名の学生に学位記を授与した。コロナウイルスの影響により、遠隔授業等で授業を運営し、課題やレポートなどを通して研究支援を行った。また、2021年度の3期生として、新たに8名を迎え、1年8名、2年9名(長期履修者3名含む)の合計17名で開始することとなった。

(8) 認定看護師養成課程(認知症看護分野)

第3期生13名を受け入れたが新型コロナウイルスに伴い、これまでの授業方法と違い、manabaシステムを活用した授業を展開した。本科生との接触を避けるなど十分に配慮した上で、通学に戻し、無事12名が修了することができた。

(9) 認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)

2020年10月15日に認定看護管理者教育課程(ファーストレベル)の開講式を行い、第1期22名を受け入れ、11月に22名全員が修了式を迎えた。

(10) 実習指導者講習会

2020年7月17日開講し、20名定員のところ19名受講で開始した。コロナウイルス感染対策を講じた上実施し、11月26日に19名修了した。

(11) 特定行為研修制度

湘南東部総合病院にて2021年4月より実施する特定行為研修制度に申請を行い、承認された。看護実践教育センター(2021年度以降看護キャリア開発コアセンター)が協力運営し、本学の教員が講師として参加する予定である。

2) 茅ヶ崎看護専門学校

2020年度最重要課題としては①看護師国家試験合格率100%②休退学者ゼロ③学生募集における定員80名確保を掲げていた。学内の学生状況を安定させ、「資格が

取れる学校」をPRし、地域医療に貢献できる人材の育成を行う学校として認知を広めるよう努力した。

① 国家試験結果

昨年度は全国平均を上回る国家試験合格率、全員国家試験合格を目指して、知識の定着と技術の習得、朝学習の徹底(毎朝 5 分間テスト)、長期休暇時の補講などを行い、看護師としての態度を修得することを目指して授業を行った。

今年度も引き続き、国家試験全員合格を目指し取り組んできたのだが、結果としては、2020 年度看護師国家試験合格率 96.7% 必修問題学内平均 46 点、一般状況学内平均 182 点(全国平均 90.4%(新卒 94.7%。必修 40 点/50 点満点、一般状況 155 点/250 点)と全国平均を上回る結果とはなったが 100%達成はならなかった。

② 休退学防止

昨年度は退学 28 名(1 年 14 名、2 年 13 名、3 年 1 名)、休学 2 名(1 年 2 名)合計 30 名の学生が進退に関する決断をすることとなった。卒業学年の退学者の傾向として、実習不合格に伴う実習不安であり、また、そのほかの学生についても原級留置き者を中心に学習不安、学力低迷が起因していた。そのため、本試験での合格が難しく、再試験による合格が多くなり、次に向かうための準備を含め学習時間、実習対応時間が削られたことが要因であった。

今年度は原級留置き者を出さないことを目標に取り組んだ。結果として退学者 11 名(1 年 6 名、2 年 3 名、3 年 2 名)、と昨年よりも少なくなったが未だ二桁の休退学となった。以下の点が退学の理由である。

○ 1、2 年の課題

(1) 進路変更 (1 年生)

1 年生の 6 名のうち、3 名が進路変更での退学であった。入学前とのイメージの違い、他分野への進路変更が主な理由であるが、職業理解と学習に対する理解に乏しく、適応できないとの理由で進路変更した。

(2) 基礎学力の不足 (2 年生)

2 年生の 3 名のうち、1 名を除き基礎学力に不安を持ち、再試験や再実習を多く重ねた学生であった。そのため、学習についていけず、実習欠席・遅刻、記録未完成などが発生し、教員や指導者から指導を受けるものの意欲が低下し、最終的に進路変更を選択するという流れになった。

(3) 家庭の事情

コロナ禍の影響もあってか、学業を継続するための金銭的・人的なサポートを受けられず退学する事例も見受けられた。

上記の通り、従来のような看護師になるという強い職業意識を持った学生ではない退学者は減少傾向にあると考えられる。今後も、入試での見極めの甘さ、更には学校説明会での動機づけの弱さを減らしていくような取り組みを継続していくことで、休退学者を減らしていけると考えられる。学生本人に視点を移した場合、一つの躓きがあつという間に大きくなり、更に自分だけで解決しようとする傾向は依然として強い部分もあり、面談を行った際にはすでに結論が出ていることもあるため、事前に気付けるような関わり方も徹底していく。

③ 志願者・入学者の確保

2020 年度の募集活動の課題としては、出願者を確保し、選考する人材を数多くそろえ、国家試験合格できる基礎能力を持つ人材を 80 名確保する、を目指した。

今年度は昨年度から引き続き社会人の出願が減少することを予測していた。資料請求者が昨年から減少していたことが一因である。この理由として社会人出願者は社会情勢に左右され、景気の動向により出願者数が増減する。そのため、景気回復が見込まれ、社会人出願者が減少することは予想されていた。また、社会人の比率を減少させ、高校卒(新卒者)の割合を増やす方向を考えていたことから、出願がしやすく、学科試験の割合が低い入試ということで AO 入試を代替として実施し PR を行った。

しかし、コロナ禍の影響により、4 月からの募集活動の停止、社会人入試の撤廃、最終的に AO 入試は昨年の 82 から 55 と大幅に減少し、それ以降の入試も減少傾向となった。最終的に 130 名の出願があったが、合格辞退者も例年以上に多く(17 名)、2 名の欠員となり、志願者の確保および入学生の定員確保もできなかった。

① 既卒者の減少

社会人入試を撤廃し、昨年度からの傾向としての社会人出願者の減少を見込んでいたが、総出願数 130 名中 44 名が既卒者であり、昨年 161 名中既卒者 55 名出願から 11 名が減少している。

② 指定校推薦入試減少

指定校推薦入試出願者数が昨年 23 名から今年は 11 名に減少。進路決定早期化に加え、新年度当初の接触機会減少の影響が多大であったと考えられる。

3) 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校

2020 年度は、新型コロナウイルスが様々な学校運営に影響を与え続けた 1 年であった。4 月、5 月は登校禁止となったため自宅課題でのカリキュラム消化、病院実習の中止には学内実習にて対応することとなった。幸いにも後期は感染対策をとりながら、予定通りにカリキュラムを実施することが出来た。そのような状況の中、本校の「目指す教育」に示されている理念、基本方針に沿った教育の実践に向けて可能な限りの対応を行った。

以下に、事業計画の達成状況を報告する。

① 学生募集の強化

資料請求者数が昨年比で 3% 減、説明会来校者数は新型コロナの影響もあり同 18% 減で目標を下回った。これに伴い受験者数も 3 学科全てで減少し、入学者数は作業療法学科と言語聴覚学科で定員割れとなった。一方、理学療法学科は 70 名定員になって以来最多の 75 名を入学させることが出来た。作業療法学科の募集に関しては、全国の養成校が同じ悩みを抱えている状況にある。現役高校生が自らリハビリを体験する場合は圧倒的に理学療法であり、作業療法の知名度は低い。高校生に作業療法士の仕事の必要性や奥深さ、楽しさをアピールできる説明会や高校訪問を実施する必要がある。

② 就職指導（グループへの就職希望者の増大、グループとの連携強化）

PT、OT、ST 合わせて 73 名（卒業生の約 71%）という過去最多の学生がふれあいグループへの就職を希望（内定）し、結果的に 60 名の国試合格者を就職させることで、グループとの連携を高めることに貢献出来たと考える。今後、国家試験不合格すなわち内定取り消しを減らすことで、貢献度をさらに上げることが出来る。一方、言語聴覚学科のグループ就職率は 21% で、ここ数年で比較しても低い数値となっており、多くのグループ希望者が出る為の方略を練る必要がある。

③カリキュラム運営計画（新カリキュラムへのスムーズな移行）

厚生労働省指定規則変更に伴う理学・作業療法学科カリキュラム変更の初年度に当たするため、新カリが実施されたのは1年生のみであった。そのため、新規科目の実施は数科目に止まり、掲げた3つのポリシー（①卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー：DP）、②教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー：CP）、③入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー：AP）のうち、AP以外は計画の一部（1年生該当部分）が動き始めたばかりである。今後数年の状況の評価しながら達成度を上げていく必要がある。また、APについては、以前からAO入試において受験生に提示し続けており、今年度もそれに沿って入試は実施されたものとする。

④国家試験結果

言語聴覚学科は34名中33名の合格（合格率97.1%）で、全員合格は逃したものの全国平均を大きく上回る好成績を残した。1年次からの強化対策が実ったものとする。

理学療法学科は過去7年連続で全国平均を上回ってきたが、今年度は83.3%（54名受験し9名不合格）で僅か数パーセント全国より低い数値となった。

作業療法学科はここ5年間3勝2敗と浮き沈みであったが、今年度は66.7%と全国平均を大きく下回った。受験者15名人中5名の不合格者を出したことから、次年度の国試対策は危機感を持って取り組んでいかねばならない。

大卒経験のある言語聴覚学科の学生に比べ、理学・作業の学生は国試直前の個別対応が重要だが、新型コロナウイルス感染予防策のために、最後の1か月が自宅学習になったことが大きく影響したことは否めない。新型コロナウイルスの影響がなくなる可能性は低いことから、データ分析に加え、国試直前期の迫込み学習の方法を考え実行していく。

⑤退学・休学防止

3学科合計の退学率は8.2%であった。過去5年間は6.3%～10.5%であり平均的な退学率と言えるが、目標の5%には届かなかった。退学の原因は相変わらず成績不良が最多だが、職業理解の不足による離脱も少なくない。今後さらに退学率を減少させるには、特に推薦入試の出願の際、高校側で受験生の職業意識の確認を徹底してもらえるよう働きかけをする必要がある。

⑥成績不振者への対応強化

通常授業外での勉強会の実施、定期試験成績不良者に対しては再試験前に面談および学習指導で対応した。一方、4年生の国試直前においては、例年行っている「毎日登校による迫込み学習」が新型コロナウイルスの影響により実施できなかったため、不十分な対策のもとに受験を向かえることとなった。

⑦学習環境の整備（施設、物品、学生サービス）

新カリキュラムへの移行に伴う新規物品購入については、今年度は1年次のみが対象となっており、必要な物品は全て購入できた。次年度以降も順次購入していく予定である。

一方、新型コロナウイルスの影響により2か月間の休校を余儀なくされたが、大学の通信システムは不十分であり、自宅学習において動画配信やそれに準ずるリモート授業を実施することが出来なかった。学生や保護者からの要望も多く、早急にシステムの構築が必要である。

4) 湘南医療大学附属下田看護専門学校

① 実習施設との連携

臨地実習指導者会議を活用し、学生のレジネスを共有化し、実習目標の確認・指導要領の確認ができた。同時に、前年度の実習評価から発生した課題への指導方法の確認をすることで、連続性と統一性をもって実習の指導が実施できた。

また、実際の実習においては、学習目標達成に向けた資料提供を通し、学生の学習に寄与し、双方からの確認で、学習状況を把握し、不足事項の指導内容の共有化がはかれた。さらに、学生の健康状態の確認と学習への影響の有無についての情報提供により、適切な指導に結びついたと考える。学生自身にも実習の中で、個人情報の保護に意識を持たせ、情報の保全と漏えい防止の指導を実施できた。

ただ、数名の学生については、及第点の当落に係る指導について、実習施設との連携の上、実施した。

今年度は、コロナ禍に伴う、患者・利用者の健康をおよび学生への感染防止も鑑みて、実習実施のため、各施設との密な連携を図った。

これにより、施設の状況によっては学内実習に切り替えつつ実施し、当校の学生から罹患者を出すことなく実習を終えることができた。

② 国家試験の合格率向上(90%以上)を目指す

先の結果報告通り、目標達成は未達となった。

例年同様に教材の十分な活用と学内模試試験を活用したが、合格に至らない学生が5名となった。当校の学生は、学習の集積が不得意で、学習の時間軸と成果が比例しない。その結果、模擬試験の度に点数が乱高下する。

③ 休退学の防止

休退学を未然に防ぎ、全員卒業を目指す。

特に学力低迷による休退学を減らすことは、達成できたと考える。令和2年度の退学者3名中2名は、4月の早い段階で登校しなくなり、その後のもう1名も集団生活に馴染めない状況であり退学に至ったと考えている。

④ ふれあいグループへの就職の促進

今年度は、過去最高の88%がふれあいグループへの入職となった。

ふれあいグループへの就職率80%は達成できた。

⑤ 医療人としての道徳、マナー教育の充実

医療人としての社会常識を身に付け、モラルの高い人材となるよう指導した。

(各行事等外来者対応時、実習施設)

⑥ 研究活動の実施

全体会研修会において、課題への取り組み状況や解決方法を発表するべく、学内で研究と分析を行った。その中で、より良い教育の一助となるような提案を行えた。

5) 医療ビジネス観光福祉専門学校

① ふれあいグループに有益な人材の供給

すべての学科からグループへ人材を供給することができた。留学生クラスを除く

61名のうち26名がグループに入職しており、就職希望者に対して46.4%に達した。

2020年度 ふれあいグループへの就職

介護福祉学科 15名中 12名

医療ビジネス学科 医療経営専攻 12名中 11名

医療情報管理 8名中 2名

観光学科 ホテル・ブライダル専攻 19名中 1名

介護福祉学科では介護福祉士として12名、医療ビジネス学科では13名（医事課9名、総務課2名、診療支援課1名、株式会社FMC1名）、観光学科から1名（介護職）合計12名の学生がふれあいグループ入職を果たした。

次年度も引き続き、各学科とも以下の通りグループへの人材供給を目指す。介護福祉学科では技術力と実践力を現場実習で磨き、患者・利用者に信頼される介護福祉士の養成を目指す。医療ビジネス学科では必備資格と検定の保有数を増やし、即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。観光学科では福祉科目の充実を図り、グループの関連企業に応えられる人材の育成を目指す。

② 休学者・退学者の撲滅

休退学者を出さないために入学前から卒業まで「進学相談」「生活指導」「学習指導」「キャリア指導」を継続的かつタイムリーに実施したが、撲滅には至らなかった。

2020年度 休退学者

2年生 年度当初92名 退学除籍7名 退学除籍率7.6%

1年生 年度当初118名 退学除籍22名 退学除籍率18.6%

全退学除籍者(1,2年合計)29名のうち留学生の退学除籍者が27名に上る(93%)ことから、次年度は留学生に対して徹底した対策を実施する。

③ 定員確保とグループ就職につなげる広報活動～魅力ある学校づくり～

2019年度から引き続き、合格率向上を目標として、ゼミ授業や検定対策及び日々の補習授業や資格直前対策期間を設け、集中的に授業を実施した。その結果、各学科・専攻の一人あたりの平均資格取得数と介護福祉試験結果は以下の通りとなった。

学科別平均資格取得数

医療ビジネス学科

医療経営専攻 2年 10.8個（前年12.0個）/1年 5.5個（前年6.1個）

医療情報管理専攻 2年 3.6個（前年4.7個）/1年 3.2個（前年2.0個）

観光学科

トラベル/交通専攻 2年 7.4個（前年7.1個）/1年 5.5個（前年5.9個）

ホテル/ブライダル専攻 2年 11.6個（前年9.4個）/1年 8.5個（前年8.6個）

国際総合専攻 2年 日本語能力試験N3取得者66.7%（前年64.3%）

日本語能力試験N2取得者25.0%（前年42.9%）

介護福祉学科 介護福祉士試験（国） 15名中 2名合格（合格率13.3%）

（うち日本人3名中2名合格、留学生12名合格者0名）

医療ビジネス学科では、診療報酬請求事務能力認定試験の合格者が3名（合格率25%）で昨年の12.5%を上回った。観光学科ホテルブライダル専攻では一人当たりの取得資格数が11.6個（昨年9.4個）と大幅に増加した。介護福祉学科では、国家試験の結果は別として、15名全員が介護福祉士としての登録が完了した。

④ 実習施設との連携

広報活動における施設見学は、進路を決める高校生にとってのイメージアップ

と将来像につながる好企画であるため、継続して実施する予定であったが、新型コロナの影響で施設見学を実施することはできなかった。ただし、介護福祉学科の施設実習、医療ビジネス学科の病院実習では、多くの施設と連携を取ることができ、それがグループ施設への入職にも結び付いたと思料される。

介護福祉学科 連携施設 19 施設

特別養護老人ホーム	ふれあいの森、ふれあいの麗寿、ふれあいの泉（3 施設）
介護老人保健施設	ヒルズ東戸塚、ふれあいの桜、ふれあいの渚、ふれあいの町田、湘南シルバーガーデン（5 施設）
訪問介護	ふれあい東戸塚 HP、ふれあい横浜 HP、ふれあい鶴見 HP、ケアセンター茅ヶ崎元町（4 施設）
通所リハビリ	ふれあいの桜、成和ナーシング、ヒルズ東戸塚、ふれあいの渚（4 施設）
通所介護	ふれあいの泉、ふれあいの森（2 施設）
グループホーム	ふれあいのみのり

医療ビジネス学科 連携施設 10 施設

湘南東部総合病院、茅ヶ崎中央病院、ふれあい東戸塚ホスピタル、ふれあい横浜ホスピタル、ふれあい鶴見ホスピタル、ふれあい平塚ホスピタル、ふれあい鎌倉ホスピタル、さがみ野中央病院、ふれあい町田ホスピタル、湘南さくら病院

⑤ カリキュラム再編と指導力向上

全員就職を目標に、エンプロイアビリティを学生に身につけるために全教職員が学生指導に関わり、授業～就職活動～卒業まで一貫した指導内容の充実を図った。

- ・自立した社会人に必要とされる専門スキルと社会人基礎力向上を図り、グループ理念の実践者になるための教育指導を展開した。
- ・学生各人の能力に応じた指導目標を設定し、個別にキャリアカウンセリングを行った上で、就職に活かせる専門技術を身につけさせた。
- ・医療従事者をはじめとする各学科における専門性を身につけるためのカリキュラムと指導を展開し、資格取得対策に力を注いだ。
- ・技術及び能力の顕在化を図った（資格取得、就職先内定など）。

上記 4 項目を学生が実感できる力を養うべく、各種行事や授業などを実践的に取組んだ。その結果として、コロナ禍にもかかわらず、全学科（日本人）の就職率は就職希望者 45 名に対し、内定者 44 名で 97.8%（2019 年度 95.1%、2018 年度 96.1%、2017 年度 94.5%）となった。

6）幼保連携型認定こども園みどり幼稚園

○健康

（健康で安全な生活を作り出す視点から捉え、いろいろな状況に思い巡らせ心や体を働かせる）の目標は達成した。いろいろな遊びを行い、十分に体を動かす。身の回りを清潔にして衣類の着脱、食事、排泄など、生活に必要なことを年齢や成長に合わせて自分で行う。

食育を考え、食育活動を行い、保育者やともだちと一緒に食べることを楽しむ。丈夫な体づくりを目標に乾布摩擦の励行、体育講師による運動全般の指導を受ける。など取り組むことができた。年齢に合わせた活動を次に繋げることも今後の課題である。

○人間関係

（自立心を育て、人と関わる視点から捉え、他の人々と親しみ思いを巡らせ支えあって生活する）年齢に合わせた取り組みを行った。自分で出来ることは自分です。自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。友だちと楽しく活動する中で共通の目的を見だし、工夫や協力をするなど経験、体験を通して養っていった。

○環境

（周囲の環境に好奇心や探究心を持って関わり、生活に取り入れていこうとする視点から捉え、考えたり扱ったりする）身近な物や遊具に興味を持ってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。日常生活の中で数量や図形などに関心を持つ。身近な物を大切にする。

自然に触れて生活し、その大きさや美しさ、不思議さなどに気付く。など毎日の保育活動で保育者や友だちの影響を受けて習得することができた。

○言葉

（言葉に対する感覚や言葉で表現する視点から捉え、経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現する）保育者やともだちの言葉、話に興味や関心をもち、親しみを持って聞いたり、話したりする。生活の中で必要な言葉が分かり、使うことができる。親しみを持って日常の挨拶をする。絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう。などは日々の園生活の中で培われていった。今後も年齢にあった関わりを行っていく。

○表現

（豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする視点から捉え、感じたことや考えたことを自分なりに表現する）生活の中で様々な音・色・形・手触り・動きなどに気付いたり、感じたりして楽しむ。いろいろな素材に親しみ、工夫して遊ぶ。音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使い、楽しさを味わう。描く、作ることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする。自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなど楽しさを味わう。発表会、作品展などを通して、成果を見ることが出来た。一人ひとりの個性が発揮できて成長を感じた。

（乳児）

・乳児一人ひとりの発育及び発達の状態や健康状態について適切に判断し対応した。保護者と連絡帳や保育活動の状況を伝え、安心して園生活が送れるよう配慮した。基本的生活習慣の自立を目指し、毎日取り組んだ。一人ひとりの能力にあわせて目標達成に繋げた。安全で安心して様々な遊びができるよう配慮し、活動しやすい環境を整えてきた。

（幼児）

・合同保育や異年齢の交流など、学年を超えた保育に取り組むことが出来なかった。当番活動を通して、責任をもって行う、協力する、手伝うなど経験する。外遊びや運動を多く取り入れ、健康でのびのびとした活動を行っていく。一日の保育活動の中に絵本読み聞かせを取り入れる。誕生児を祝い、成長を共に喜ぶ。（月一回の誕生会を開催する）

（教職員）

・湘南医療大学の学生を受け入れ、幼児理解の学習に役立てた。コロナ禍により短時間での対応となった。教職員・保護者と連携・協力をして園児の安全確保に努めた。園内の整理・整頓・清潔・清掃を心がける。特に新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し手洗い、うがい、手指消毒を励行し、習慣づけた。2ヶ月に一回、避難訓練を行う（地震・不審者・火災など）非常時に対応できるよう日頃から危機管理を意識し、日々話し合い、研修などで確認した。

施設長	部門長

[illegible]

组别	姓名	性别	年龄	身高	体重	肺活量	50米	100米	200米	400米	800米	1500米	5000米	10000米	20000米	30000米	40000米	50000米	60000米	70000米	80000米	90000米	100000米	110000米	120000米	130000米	140000米	150000米	160000米	170000米	180000米	190000米	200000米	210000米	220000米	230000米	240000米	250000米	260000米	270000米	280000米	290000米	300000米	310000米	320000米	330000米	340000米	350000米	360000米	370000米	380000米	390000米	400000米	410000米	420000米	430000米	440000米	450000米	460000米	470000米	480000米	490000米	500000米	510000米	520000米	530000米	540000米	550000米	560000米	570000米	580000米	590000米	600000米	610000米	620000米	630000米	640000米	650000米	660000米	670000米	680000米	690000米	700000米	710000米	720000米	730000米	740000米	750000米	760000米	770000米	780000米	790000米	800000米	810000米	820000米	830000米	840000米	850000米	860000米	870000米	880000米	890000米	900000米	910000米	920000米	930000米	940000米	950000米	960000米	970000米	980000米	990000米	1000000米	1010000米	1020000米	1030000米	1040000米	1050000米	1060000米	1070000米	1080000米	1090000米	1100000米	1110000米	1120000米	1130000米	1140000米	1150000米	1160000米	1170000米	1180000米	1190000米	1200000米	1210000米	1220000米	1230000米	1240000米	1250000米	1260000米	1270000米	1280000米	1290000米	1300000米	1310000米	1320000米	1330000米	1340000米	1350000米	1360000米	1370000米	1380000米	1390000米	1400000米	1410000米	1420000米	1430000米	1440000米	1450000米	1460000米	1470000米	1480000米	1490000米	1500000米	1510000米	1520000米	1530000米	1540000米	1550000米	1560000米	1570000米	1580000米	1590000米	1600000米	1610000米	1620000米	1630000米	1640000米	1650000米	1660000米	1670000米	1680000米	1690000米	1700000米	1710000米	1720000米	1730000米	1740000米	1750000米	1760000米	1770000米	1780000米	1790000米	1800000米	1810000米	1820000米	1830000米	1840000米	1850000米	1860000米	1870000米	1880000米	1890000米	1900000米	1910000米	1920000米	1930000米	1940000米	1950000米	1960000米	1970000米	1980000米	1990000米	2000000米	2010000米	2020000米	2030000米	2040000米	2050000米	2060000米	2070000米	2080000米	2090000米	2100000米	2110000米	2120000米	2130000米	2140000米	2150000米	2160000米	2170000米	2180000米	2190000米	2200000米	2210000米	2220000米	2230000米	2240000米	2250000米	2260000米	2270000米	2280000米	2290000米	2300000米	2310000米	2320000米	2330000米	2340000米	2350000米	2360000米	2370000米	2380000米	2390000米	2400000米	2410000米	2420000米	2430000米	2440000米	2450000米	2460000米	2470000米	2480000米	2490000米	2500000米	2510000米	2520000米	2530000米	2540000米	2550000米	2560000米	2570000米	2580000米	2590000米	2600000米	2610000米	2620000米	2630000米	2640000米	2650000米	2660000米	2670000米	2680000米	2690000米	2700000米	2710000米	2720000米	2730000米	2740000米	2750000米	2760000米	2770000米	2780000米	2790000米	2800000米	2810000米	2820000米	2830000米	2840000米	2850000米	2860000米	2870000米	2880000米	2890000米	2900000米	2910000
----	----	----	----	----	----	-----	-----	------	------	------	------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	---------

[illegible]

2021年3月度進捗状況確認表

施設名	茅ヶ崎看護専門学校	部門名	事務課
-----	-----------	-----	-----

施設長	部門長

●重点数値指標(月間目標数値)

年間目標値

- 看護学科 80名定員確保
- 国家試験合格率 100%(昨年度97.1%)

- 出願率 50%(昨年度34.1%)
- 就職率 100%
- 退学率 0%(昨年度10.1%)

募集データ

	応募者数				入学者数(2年度は入学予定数)			
	1年度実績	2年度目標	2年度実績	達成率	1年度実績	2年度目標	2年度実績	達成率
AO	61	61	55	90%	37	25	33	132%
指定校	23	30	12	40%	21	30	11	37%
推薦	7	18	7	39%	5	15	6	40%
推薦2回	3	-	-	-	1	-	-	-
社会人	15	-	-	-	0	-	-	-
社会人2回	10	-	-	-	4	-	-	-
AO2回	21	-	-	-	9	-	-	-
一般1回	21	30	16	53%	3	8	8	100%
一般2回	-	15	17	113%	-	1	8	800%
一般3回	-	15	8	53%	-	1	4	400%
一般4回	-	10	12	120%	-	1	6	600%
一般5回	-	5	3	60%	-	1	2	200%
合計	161	169	130	77%	80	82	78	95%

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今月までの合計	総合計
資料請求者数	目標	210	315	357	354	215	148	129	126	138	171	161	149	2474	2474
	実績	151	203	290	339	307	165	151	132	150	115	119	208	2330	2330
	目標達成率	71.9%	64.4%	81.2%	95.8%	142.6%	111.6%	117.5%	104.4%	108.9%	67.1%	73.8%	139.7%	94.2%	94.2%
	2019年度	206	309	350	347	211	145	126	124	135	168	158	146	2425	2425
来校者数	目標	2	52	114	115	137	18	20	15	12	6	17	1	510	510
	実績	0	7	103	53	130	13	6	10	33	1	5	36	397	397
	目標達成率	0.0%	13.5%	90.4%	46.1%	94.9%	72.2%	29.4%	66.7%	269.6%	16.3%	28.8%	3529.4%	77.8%	77.8%
	2019年度	0	51	113	114	136	18	20	15	12	6	17	1	503	503
	昨年達成率	---	13.7%	91.2%	46.5%	95.6%	72.2%	30.0%	66.7%	275.0%	16.7%	29.4%	##	78.9%	78.9%

●PDCサイクル

NO.	目標	具体的アクション計画	結果検証
1	【学生募集】 1. 一般入試4回目での出願者確保 目標: 12名 2. 説明会来校促進(3/27) 目標: 30名 3. 高校訪問目標: 20校 近年入学実績校への重点訪問 入試情報提供訪問 高校新2・3年生確保 4. 社会人獲得	2021年度入試において、現在の入学確定者67名に定員までの不足を確保するため、一般入試第4回を特別に実施、定員80名を必ず確保する。 そのために、①資料請求者への入試案内チラシの送付、②高校宛案内チラシ送付、③オンライン個別相談への誘致をHPより配信 ①一般入試第4回⇒出願者12名目標 ②2021年度学生募集検証、総括 ③2021年度入学の実績高校へ御礼状送付⇒次年度への仕掛け開始 ④3/26実施のチガフフェスタの告知(DM、HP) ⇒資料請求者300件予定(町田・山田) 【次年度募集計画】 ⑤2022年度募集 学校パンフレット・募集要項作成(町田) ⑥オープンキャンパス内容確認(秋田副校長・町田・山田) ⑦地域連携対象学校へのアプローチ(町田・山田: 8校) ⑧高校・予備校等訪問リスト作成(秋田副校長・宮内・町田・山田)	一般入試第4回結果 出願者12名のうち11名受験(新卒4名・既卒7名) 合格者10名を選抜、4名の辞退者、入学確定者66名となる。そのため、定員80名の確保に向け一般入試第5回を計画および実施した。 一般入試第5回結果 出願者3名のうち3名受験(新卒1名・既卒2名) 合格者2名を選抜、2021年度の入学者78名が確定となった。 近年加速する進路決定早期化に加え県立高校の統廃合でターゲット校の減少、新型コロナウイルス感染症による休校など、来校者イベント・高校ガイダンスの中止⇒出願者との接触機会が減少、専願意欲を高められず。一般入試による併願での入学辞退者も多く合格辞退者は17名、結果定員充足とならなかった。次年度に向けて学生募集への体制強化を早急に図っていく。 ①②③入学者78名の結果より、出願者分析中(町田 4/20までに) ④直近資料請求者200件に告知 3/26チガフフェスタ開催 → 37名参加(+保護者14名) 2022年度入学者確保に向けたイベントの開始 ⑤2022年度募集要項・過去問題集の制作開始⇒入試内容の精査および記載内容の校正完了 ⑥2022年度学生募集 来校イベントの改定 学校説明会の廃止 → 学生支援によるオープンキャンパスの設定 (4月より計8回、1年生+2年生 合計約150名) オープンキャンパスチラシの作成、ホームページの更新、進路情報サイトへの情報公開と更新の実施(山田・町田) ⑦藤沢西高校との教育連携開始 出前授業実施(3/18 秋田副校長) ⑧高校訪問計画計画(秋田副校長、山田、町田 4/20までに) 入学前教育から入学後の継続した基礎学力向上の講座実施に向けて計画案作成(国語・数学・解剖)
2	【学生支援】 国試対策並びに学習環境の整備 国試合格100%目標!! 2019年度⇒68名受験66名合格(97%)	【1年生】 ①足浴技術演習(技術チェック=3/10:B組、3/11:A組) ②メディックメディア模試(3/4) ③2学年準備(課題学習) ④朝学習6回(解剖生理)、振り返りノートづくり 【2年生】 ①学内模試(110回国試)(3/1) ②デコム模試(3/10) ③学年振り返り(倫理) ④3年次実習に向けたOSCE演習(試験=3/22:A組、3/23:B組) 【3年生】 ①国試結果分析に基づく学年全体の弱点抽出(紺谷、山田) ②個人成績(得点率・成績変化)の分析、達成度合いを検証 ③国家試験対策アンケートを国試終了後取得、次年度計画に結果を反映	【1年生】 ①足浴の技術演習を行い、82名中68名(82.9%)が合格点(平均25.3点/30点) ②メディックメディア模試を行った(疾病の成り立ち回復の促進、人体の構造と機能) ⇒平均点: 疾病の成り立ち回復の促進 20.37点/人体の構造と機能 23.93点 (50点満点) ③2年生の準備として基礎・小児・母性・老年看護学について調べ学習をさせ、レポートを作成。 110回国試模試と東ア、メディックメディア必修模試の振り返りを実施。 ④朝学習(解剖生理)を6回実施し、それぞれ振り返りノートを作成。 【2年生】 ①110回国家試験模試を実施(3/1)、平均点: 必修36.57点、一般状況143.91点 ②必修対策模試2回実施(3/4) 102問⇒平均点: 57.8点/102点 48問⇒平均点: 22.04点/48点 ③学年の振り返りとして、倫理の問題をテーマにディベートをさせて、それぞれが最終学年に進む前に、今一度看護倫理について考えさせた。 ④3年次実習に向けてOSCE演習を実施した(68名参加) 【3年生】 ①厚労省より各人に正式点数が送られてきたので報告をさせた。昨年の反省を踏まえ、模試を通しての自己採点の練習により、正式な結果と大きく乖離している学生はいなかった。成績下位者は上位者に比べ平均1時間程度勉強時間が足りていないため、次年度の指導に活かしていきたい。 ②③弱点別補講(解剖生理は特に好評)、模擬問題の豊富さをあげていた。 その他、1、2年生に国家試験対策に関する講評を直接行い、卒業までの道のりや勉強方法をじっくり説明した。
3	【コスト削減】 ・エコ活動 学内外への節電活動PR	①感染拡大防止により下校時間17時、閉館時間18時半の徹底 ②超勤時間の抑制(1人15時間以内/月) ③ごまめな換気と空調利用の徹底 ④不在教室の照明・エアコンのスイッチを切る	①下校時刻前に全館放送を実施。速やかな下校を促した。 ②年度末業務に加え新年度の準備もあり業務量の増大が予想されること欠員1により超勤時間が増大(1人あたり26.75H)。負担が掛り過ぎないようメリハリをつけて業務分担をしていく。 ③空調工事も終わり、より効率的な空調管理が可能となった。定期的なラウンドで不使用教室の照明・エアコンの調整を実施した。
4	【6S活動】 ・3月の6S活動「しつけ・作法」	①手洗い・消毒・除菌徹底 ②あいさつ励行(新入生を迎えるにあたり職員・学生全員対象) ③図書貸出しルール、蔵書点検(司書・図書委員) ④自転車・バイクの正しい駐輪・駐車位置の指導	①校内各教室・トイレでも手指のアルコール消毒が行われている。 ②学生の自発的なあいさつを促す指導をし、教職員もあいさつをしっかりと実践していく全体に周知した。 ③蔵書点検実施(3/8)、不要本の整理を行った。また、図書委員より図書室の利用の仕方、貸出ルールの徹底を指導した。 ④駐輪・駐車スペースからはみ出しに対し、厳重注意を行った。

●備考 (次月に向けた課題他)

添付資料 (有・無)	31
------------	----

■2021 年 3 月度進捗状況確認表

施設名	茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	部門名	事務課
-----	------------------	-----	-----

重点数値指標（年間目標値）定員 135 名の確保(PT70 OT30 ST35)

◆学生募集目標

施設長	部門長

■コンタクト者数（受験対象・純増分）

月次	PT OT ST	年度		～3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		2012年度生	実績	632	131	135	142	130	128	120	102	64	72	53	57	46	1812
		2013年度生		738	193	164	156	128	112	110	90	73	46	67	96	48	2021
		2014年度生		1029	175	207	166	170	86	76	91	67	64	81	75	48	2335
		2015年度生		1490	203	223	219	181	159	96	72	61	57	64	51	33	2909
		2016年度生		1522	142	166	158	141	90	72	64	61	53	53	59	30	2611
		2017年度生		1370	127	164	128	104	84	73	47	44	54	63	51	35	2344
		2018年度生		1249	128	216	159	142	78	52	64	42	40	50	68	35	2323
		2019年度生		1194	153	170	145	114	72	65	46	54	52	59	52	34	2210
		2020年度生		1356	129	165	212	118	83	67	55	48	38	48	48	30	2397
		2021年度生	目標	1271	142	189	214	130	83	68	60	53	48	57	61	38	2414
			実績	1308	65	106	174	145	118	80	70	63	62	59	33	0	2283
			前年比	(48)	(64)	(59)	(38)	27	35	13	15	15	24	11	(15)	(30)	(114)
			目標比	37	(77)	(83)	(40)	15	35	12	10	10	14	2	(28)	(38)	(131)
目標達成率	102.9%		45.9%	56.2%	81.3%	111.8%	142.7%	117.6%	116.7%	118.9%	128.3%	102.9%	54.1%	0.0%	94.6%		

■出願者数（受験対象・純増分）

		年度		8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次	PT	2018年度生	実績	41	25	3	5	7	5	3	89
		2019年度生	実績	56	24	4	3	9	5	7	108
		2020年度生	実績	58	26	0	8	6	7	5	110
		2021年度生	目標	54	27	4	7	9	8	7	116
			実績	52	28	1	9	7	9	6	112
			前年比	(6)	2	1	1	1	2	1	2
			目標比	(2)	1	(3)	2	(2)	1	(1)	(4)
			目標達成率	96.9%	103.7%	23.1%	122.7%	75.0%	117.4%	85.7%	96.3%

		年度		8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次	OT	2018年度生	実績	17	3	0	2	3	1	0	26
		2019年度生	実績	6	8	0	2	3	1	1	21
		2020年度生	実績	20	14	0	1	1	0	0	36
		2021年度生	目標	15	9	1	3	3	2	1	35
			実績	8	11	0	2	0	2	1	24
			前年比	(12)	(3)	0	1	(1)	2	1	(12)
			目標比	(7)	2	(1)	(1)	(3)	0	(0)	(11)
			目標達成率	52.2%	117.9%	0.0%	75.0%	0.0%	120.0%	75.0%	69.2%

		年度		8月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月次	ST	2018年度生	実績	20	4	4	9	1	4	1	43
		2019年度生	実績	27	3	5	3	6	4	3	51
		2020年度生	実績	14	2	5	4	6	4	5	40
		2021年度生	目標	22	5	7	7	6	6	5	59
			実績	9	3	7	4	5	2	2	32
			前年比	(5)	1	2	0	(1)	(2)	(3)	(8)
			目標比	(13)	(2)	0	(3)	(1)	(4)	(3)	(27)
			目標達成率	40.3%	60.0%	105.0%	54.5%	78.9%	33.3%	40.0%	54.5%

PDCサイクル		P	D	C
No.	目標	具体的アクション計画		検証結果
1	◎2020 年度学生募集 ◇年間目標 ◆定員 135 名の確保 (全科応募倍率 2 倍) ◆学生のレベルアップ ◇3 月の月間目標 ◆十分なコロナ対応をアピールする。 ◆説明会や入試が濃厚接触にならない態勢 ◆2019 年度の反省を生かし、手厚いフォロー体制 ◆ふれあいグループの一員であることを強調した学生募集 ◆言語聴覚学科の営業強化 ◆学生の CS 向上 2021 年度の基本方針を表す言葉決定！ 『地方にあっては広告を出さなくても行列のできるラーメン屋になる』 「大手チェーン店には負けない！」 良い素材を使って、丁寧な調理と心のこもった接客をすれば、どんなに不便な場所にあっても足を運び、広告に掲載しなくても顧客は広まり、その味に満足し高い評価を得られるのではないか。 そのためにすることとして学校を充実させるために、働く事務員、教員、非常勤講師、清掃担当者に至るまで全員が、提供するサービスの授業、施設、教育と学校生活を安心して送れる毎日の供与ができるように情熱を持って業務に邁進する。そうすれば、いずれその情熱が伝わり、活気にあふれる学校ができるのではないか。	◆2020年度の定例アクション ①HP の随時更新 説明会の開催日、コンテンツ、SNS の更新 久保田、藤田/事象のたび随時遂行 ②説明会の円滑な実施 2019年OTの成功事例をSTに応用久保田中心に全員 ③『効果的なプレゼンのためのパワポ作成講座2020』 藤田/新人職員と3年目までの教員対象（研修会日程の午前中） ④病院見学の実施と対応（希望日、アポ、随行して補足説明） 久保田、藤田/ 希望者に随行 アクセス、打率の良い病院に推薦 ⑤定期的な高校訪問による進路指導への理解の浸透 久保田、加藤、藤田/有力校・入学のお礼・指定校の案内・合否連絡 ◆第3クォーター(1月～3月)のアクション ⑥正規の学生募集ルーチンに戻し、それぞれに最大のチカラを注ぐ (1)学校説明会(2)個別説明会(3)校内・会場ガイダンス(4)資料請求対応 (5)病院見学(6)個別見学(7)土・日・夜間対応(8)高校訪問ほか基本的な営業活動に戻す。※相手の希望を受け入れる。求めたことに回答する。 ⑦パワポクオリティ向上と説明会パフォーマーの訴求力向上の実践講座 ◆3月のアクション ⑧3/3の入試、3/29の説明会はコロナ感染防止対策と受験促進に向けて全員全力で協力すること。(全教職員) 全力で感染しない！ ⑨『相手の希望を受け入れる。断らない』を継続する為に勤務予定が柔軟に変更できるような態勢が公休残と超過勤務にならないようにする。 LINE、ZOOM、病院見学会、個別見学に加え、平日夜間と休日の保護者同伴対応をHP、SNS、DMで告知。※人員不足に配慮する（久保田、藤田） ⑩広報向けテクニック向上【サルでもわかるPPTのセオリー『見ていて飽きない眠らせないパワポ』教員メイン広報担当者向け（藤田）3/13 ⑪左記にある2021年度の基本方針をさらに具現化するために、広報、教務、学生支援、総務担当者と話し合い3/13 感染予防委員会の再編と確認。 ◇2020年度基本戦略===== ※ふれあいグループの一員であることを強調した学生募集の戦略 ・入学導線の目標戦略 ①資料請求の向上、②個別のパフォーマンス向上、③高校訪問の置き土産、④タブレットの導入でプレゼン力向上 ・プランニング戦略(実施対効果、費用対効果測定からのアクション) ・ブランド戦略(基本デザインの活用、売り、強みの表現の統一) ・印刷物、Web、ツールの一貫化(ビジュアルコピー表現の統一) ・オープンキャンパス戦略(特別感、限定感の演出) ・高校訪問戦略(コミュニケーションを高める情報伝達手法) ・Web戦略(募集対象者を惹きつける「見せ方」手法の構築 ・SEO(検索エンジン)戦略(ターゲットキーワードとSEO対策) ・モバイル戦略(モバイルサイトの構築手法とメルマガ、LINE等の活用)		募集の総括 ・諸々の事項について、遅滞なく遂行したが、結果としては作業療法学科、言語聴覚学科が定員に満たなかった。一番の原因はコロナによるイベントの中止に伴うコンタクト者数の減員がそのまま響いたことと思われる。しかしながら、それでも理学療法学科の定員は充足したことを考えれば努力不足の排りは免れない。特に作業療法学科の教員は全員が大きな反省とともに次につながるプランを立て、自覚してもらわなければならない。募集の定員が満たなくても、国試の結果が過去最低でも言及されることも無くメシが食えるのは、そのほかの教職員に対してモチベーションの維持が難しい。能力・実力主義の観点で評価をするなら雇用の継続すら難しいはず。 そうしたことを本人たちが理解されないでいるのはこままでにしたい。
2	◎教務関係 ◇年間目標 ◆PT 科、OT 科、ST 科、専攻科の健全な運営 ◇3 月の月間目標 ◆通常対面授業の運営の継続 ◆消毒、マスク、換気！ コロナを出さない ◆事務機器、備品類の補修 ◆事務スキルの向上 ◆2 年目社員の社会人教育	①2021 年度前期授業の円滑な遂行のための準備 ・年間スケジュールコロナ対応。土曜日授業開講、5 限目開講、祝日開講。(全教職員) ・教室環境の消毒、換気の整備、備品のチェック、消耗品の補充（教務） ・非常勤講師の講義アンケートの情報整理（府川、山口） ・休学・退学の手続きの円滑な遂行（情報共有） ・公的申請書、報告書等の厳密な作業の遂行の為に D チェック体制 ②施設設備点検。クリーンアップ ・排水溝（グレーチング部分）の汚泥の撤去、台風、大雨後（藤田） ・バイク駐車場、自転車駐輪場の整備 ※放置自転車の警告、撤去の準備 ・公用車の点検整備（山口） ・校門横の花壇の完成 プランターの手入れ（藤田） ・黒板消しクリーナーの清掃		3 月から 4 月の超繁忙期を少ない人員で通り越そうとしている。それでも通常運行ができていいるのは個人の努力のおかげ。多くの努力による超過勤務は仕方がないと考える。皆、疲弊している。
4	◎イベント管理 ◆イベント業務の円滑な遂行 ◎施設、設備管理 ◆学内外の施設設備の監視 ◎事務管理 ◆業務改善の遂行	①下記のイベントに向けての準備と整理（前日迄に事務課） 3/29 学校説明会、3/3 入試 ②不審者侵入対策等防犯グッズはサスマタに決定した ③防災用品の整理と管理 ④ウイルス対策の強化と徹底		イベントはウイルス対策に気を遣いながら遂行した。
5	◎コスト削減 ・超過勤務時間の削減 課員ひとり 30 時間以内 課員合計 200 時間以内 ◎エコ活動の推進 ・電気代の節約	①超過勤務の抑制 担当業務の進捗状況、業務量の個別確認。週間、月間の主な予定を事務課グループウェアで確認し、業務量、進行手順について協力を促す。 超過勤務の申請時には、厳密に『工夫』、『協力』、『問題解決』、『創意』を意識させる。事務スキルの向上が必要。スキル研修のプログラムを検討。 ②電気代の節約・日直の見回り確認強化（朝礼時に呼びかけ） ・解放教室の使用法の学生への徹底（HR にて指導を依頼）		超過勤務ひとり 30 時間以内を目標としたが、2 週間ほどであっさりを超えてしまう。しかしながらそれでも早出勤や昼休みの短縮など自主的に努力した。人員が 2 名減少したため仕方が無いことである。
6	◎6S 活動推進 ・テーマ「清掃・清潔」	『清掃』校内や個人のデスク回りを常にきれいにし机上に残さない。 『清潔』整理・整頓・清掃の 3S を維持し、不潔を予防し集団感染を防ぐ		3 月末日に教職員室のレイアウト変更を行い、同時に大量断捨離。

2021年3月度部門進捗状況確認表

施設名	下田看護専門学校	部門名	事務
-----	----------	-----	----

施設長	部門長
	

重点数値指標（年間目標値）

- 2021年度学生募集
 - 定員確保（40名）
- 15期生看護師国家試験
 - 全員合格を目指す
- 学生生活指導の支援
 - 休退学者の減少

募集データ	応募者数					入学者				
	2017	2018	2019	2020	2021	2017	2018	2019	2020	2021
AO①	29	29	14	7	14	14	16	8	6	12
AO②	17	11	18	8	8	8	5	12	5	5
推薦①	18	3	4	3	3	14	2	3	3	2
AO③		16	16	8	6		9	7	5	2
推薦②			5	4	7		0	5	4	6
一般1回	25	27	22	17	19	3	8	5	4	5
一般2回	15	9	12	8		1	0	1	4	
AO④				2	3				0	
AO⑤									0	
合計	111	95	91	57	57	40	40	40	31	33

※西暦年は、入学年度

学校案内・募集要項配布数

	2019年度資料請求発送	目標	2020年度資料請求発送
12月	38	40	32
1月	24	30	20
2月	15	20	
合計	77	90	52

	2017	2018	2019	目標	2020
5月	22	18	7	10	10
6月	21	13	9	10	23
7月	24	18	13	15	14
8月	16	18	6	10	5
9月	12	14	13	15	9
10月	-	-	-	-	6
11月	18	16	8	10	6
12月	9	13	13	15	13
合計	122	110	69	85	86

No.	目標	具体的アクション計画	検証結果
1	学生募集 40名定員確保 一般入試 受験者（3月） 8人	○資料請求者への募集要項案内送付 随時 ○学校HP情報更新 3/1以降 江口・柳 （新年度入試情報、新年度学校説明会） ○各業者HPへの情報更新 3/1以降 江口 入試情報、 ○外部ガイダンスへの参加 ○高校訪問2校3月 ○DM送付準備 ○来年度準備	3月の受験者は、1名にとどまった。大学等の補欠繰上の影響が大きかったと考える。一般入試も15人の合格で3人しか入学しない点からも、第1志望でない状況は大きい。 来年度は、さらに厳しくなると考える。 立地や学費のディスアドバンテージを、雰囲気などでこまめに取り戻せるかがポイントとなる。 主体となる新2年生に不安が残る。
2	在校生の学習満足度アップと国家試験対策強化 ○積極的に学習支援を行う。 ○国試対策で教務の支援を行う。 ○国試全員合格への挑戦 全員参加。全員努力。全員合格。を目指す	<2年生向け> 国試対策講座（外部講師） <1年生> 確認テスト 外部模試	3月18日2年生向け国家試験対策講座を実施。 講師の評価は順調とのこと 1年生の外部模試は、最高点が66%であり、今後のフォローが必要。
3	学生生活支援強化と対策 ○退学者の防止 ○学生へ教職員一丸となって「かかわり」をもっていく。	①登校時の身だしなみの確認 事務 ②SNSの使用法のチェック補助 ③日常生活指導 ④新型コロナウイルス感染防止対策	滞りなく実施できた
4	学習環境整備 ○学内整備と学生サービスの検討と実践を日々行う。 ○教務事務の迅速な対応	①時間割、成績処理。 ②終講試験にかかる手続き ③入学予定者手続き業務対応 ④卒業式実施・入学式準備 ⑤学生寮の入寮準備・運営 ⑥新型コロナウイルス感染防止対策	滞りなく実施できた
5	6S活動の推進 ○3月「しつけ・作法」 ○業務改善作成 ○リサイクル推進	①超過勤務の昨年度実績 45時間を超過しないように事務を行う。	長か時間は、かなり下回った。この傾向を保ちたい。

●備考（次月に向けた課題他）

入学者数が定員を下回った。2年連続となり、募集が大変厳しい状況となっている。昨年より、筆記の点数は大幅に緩和したが、合格に至らない受験生もあり、質、量ともに低下している。また、国家試験の結果も昨年よりは改善したが、全国平均を下回った。

■2021年3月度進捗状況確認表

施設名		医療ビジネス観光福祉専門学校												九		地				
●部門重点数値指標(年間目標数値)																				
◎2021年度入学生定員確保																				
		～3月												1月		2月		3月		合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
医療ビジネス	資料請求者数	目標	—	15	30	30	30	20	15	5	3	4	6	6	6	170				
		実績	147	11	19	20	20	10	2	4	3	1	2	4	111					
		達成率	—	73.3%	63.3%	66.7%	66.7%	75.0%	66.7%	40.0%	133.3%	75.0%	16.7%	33.3%	66.7%	65.3%				
		前年比	—	55.0%	76.0%	64.5%	55.6%	136.4%	200.0%	100.0%	133.3%	100.0%	28.6%	133.3%	75.5%					
	未校者数	2020年度	—	20	25	31	36	11	5	2	3	3	1	7	3	147				
		目標	—	3	6	15	20	20	5	4	1	2	2	1	5	84				
		実績	14	0	1	3	4	10	0	2	3	0	1	4	0	28				
		達成率	—	0.0%	16.7%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%	50.0%	300.0%	0.0%	50.0%	400.0%	0.0%	33.3%				
	出願者数	2020年度	—	0.0%	20.0%	100.0%	44.4%	200.0%	0.0%	200.0%	150.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	77.8%				
		目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
		実績	—	—	—	—	—	1	1	4	1	0	3	2	3	15				
		達成率	—	—	—	—	—	50.0%	20.0%	33.3%	33.3%	0.0%	42.9%	50.0%	150.0%	37.5%				
観光	資料請求者数	2020年度	—	30	40	45	60	30	15	10	4	3	10	8	8	263				
		目標	135	7	14	13	7	7	0	3	2	0	0	1	61					
		達成率	—	23.3%	17.5%	31.1%	21.7%	23.3%	46.7%	0.0%	75.0%	66.7%	0.0%	0.0%	12.5%	23.2%				
		前年比	—	35.0%	31.8%	70.0%	86.7%	28.0%	77.8%	0.0%	42.9%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	45.2%				
	未校者数	2020年度	—	20	22	20	15	25	9	3	7	4	1	3	6	135				
		目標	—	5	8	60	75	55	8	4	2	2	1	2	10	232				
		実績	26	0	2	29	142	54	4	3	1	0	0	1	0	236				
		達成率	—	0.0%	25.0%	48.3%	189.3%	98.2%	50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	101.7%				
	出願者数	2020年度	—	6	10	121	177	83	30	7	10	3	5	2	60	403				
		目標	—	—	—	—	—	3	30	7	10	3	5	2	60	403				
		実績	—	—	—	—	—	11	83	7	10	2	0	0	1	105				
		達成率	—	—	—	—	—	33.3%	276.7%	100.0%	110.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	175.0%				
介護福祉	資料請求者数	2020年度	—	15	30	35	30	20	10	5	3	3	4	6	6	167				
		目標	34	2	7	5	9	6	2	0	1	1	0	2	0	35				
		達成率	—	13.3%	23.3%	14.3%	30.0%	30.0%	20.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	21.0%				
		前年比	—	66.7%	100.0%	83.3%	75.0%	600.0%	200.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	102.9%				
	未校者数	2020年度	—	3	7	6	12	1	1	0	0	0	2	2	1	34				
		目標	—	2	6	20	15	20	7	2	2	1	2	2	5	84				
		実績	5	0	2	5	14	7	4	5	1	4	0	0	0	32				
		達成率	—	0.0%	33.3%	25.0%	26.7%	35.0%	57.1%	250.0%	50.0%	400.0%	0.0%	0.0%	0.0%	38.1%				
	出願者数	2020年度	—	0	2	14	15	2	2	0	0	0	0	0	0	35				
		目標	—	—	—	—	—	2	4	10	3	5	6	3	2	35				
		実績	—	—	—	—	—	1	1	4	1	1	2	0	1	11				
		達成率	—	—	—	—	—	50.0%	25.0%	40.0%	33.3%	20.0%	33.3%	0.0%	50.0%	31.4%				
合計	資料請求者数	2020年度	—	60	100	110	120	70	40	20	10	10	20	20	600					
		目標	316	20	33	39	42	28	19	2	8	6	1	4	5	207				
		達成率	—	33.3%	33.0%	35.5%	35.0%	40.0%	47.5%	10.0%	80.0%	60.0%	5.0%	20.0%	25.0%	34.5%				
		前年比	—	46.5%	61.1%	68.4%	66.7%	75.7%	126.7%	33.3%	80.0%	85.7%	50.0%	33.3%	50.0%	65.5%				
	未校者数	2020年度	—	43	54	57	63	37	15	6	10	7	2	12	10	316				
		目標	—	10	20	95	110	95	20	10	5	5	5	5	20	400				
		実績	45	0	5	37	150	71	8	10	5	4	1	5	0	296				
		達成率	—	0.0%	25.0%	38.9%	136.4%	74.7%	40.0%	100.0%	100.0%	80.0%	20.0%	100.0%	0.0%	74.0%				
	出願者数	2020年度	—	0.0%	29.4%	26.8%	74.6%	78.9%	114.3%	250.0%	250.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	62.4%				
		目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
		実績	—	—	—	—	—	7	39	29	16	13	18	9	1	474				
		達成率	—	—	—	—	—	3	85	15	13	3	5	2	5	131				
出願者数	2020年度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	目標	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	実績	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
	達成率	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					

●PDCサイクル		P	D	C	
NO.	目標	具体的アクション計画	結果検証		
1	【学生募集】 ●2021年度入学定員135名の確保 (日本人70名、留学生65名) ・医療ビジネス学科40名 ・観光学科60名(うち留学生40名) ・介護福祉学科35名 ●資料送付者の来校率を上げる ●学校訪問 ●来校者の出願率を上げる	【学生募集】 ●2021・2022年度募集(担当:菊地・柴田・今村) ・3～4月のイベント実施案内を、LINE(対象:232件)・メール・DM(対象:557件)にて告知 →神奈川・東京・静岡・山梨在住の高校1・2年生をメインとする ・未出願の3年・既卒者の状況をDM・メール・電話・高校訪問等で確認し出願を促す(対象:5名) ・直近3ヶ月のOC来校者(高校1・2年)に向けてサンクスレターを送付(7名) ・第10回AO入試の実施(3/13)→エントリー目標:M2名、CW1名、HB2名 ・学校パンフレット、募集要項の制作 →学校パンフレットは4月下旬・募集要項は3月中旬完成を目指す ・高校ガイダンスの積極的参加(オンライン・対面) ●3月イベント運営(担当:柴田・今村) ・対面式オープンキャンパスの実施(3/6、3/13、3/31)→来校目標30名 【来校目標(日本人):医療ビジネス10名、観光10名、介護福祉10名】 ・オンライン個別相談(平日夕方)、SNSを使用した相談(随時)を実施→月間目標:2名以上 ●ホームページ、Web関連の内容更新(担当:柴田・今村・坂田) ・本校HPの大幅リニューアル(学生が集まる学校のデザインを参考とする) ・2021年4月入学来校誘導企画の実施(来校者によるメール配信企画・キーワード上位表示対策) ・次年度契約広報業者6社のWeb内容更新、新規媒体誌の原稿作成等を行う ・Instagram・Twitter・LINEの更新(週1～2回) ・新規チラシの作成と配布(2021年4月～9月のOC日程及び各学科・専攻の紹介チラシ) ●高校・日本語学校との関係強化(担当:柴田・今村、訪問は全教職員) ・高校訪問(ガイダンス含む)目標20校 (内訳:神奈川県全域【相模原・綾瀬・厚木・大和・川崎等】及び東京【町田・八王子】を予定) →OC来校と資料請求実績・出願実績校を再訪 →新3年生(現2年生)の動向を確認 →在校生の就職内定状況の報告、合格通知渡しもあわせて行う ・高専連携授業実施に向けての準備(KTC町田校、介護福祉分野にて)	●2021年・2022年度募集 ・3～4月のイベント実施案内を、LINEにて告知(対象:232件) ・3月OC来校者へ、メール・サンクスレターを送付(対象10名) ・第10回AO入試の実施(3/13)→MM1名、M2名、CW1名、HB1名 ・募集要項は3月末に校了・納品待ち、学校案内は4月より制作開始 ・教員も高校ガイダンスに積極的に参加し、職業の魅力を伝えた ●3月イベント運営 ・対面式オープンキャンパスの実施(3/6、3/31)→来校10名 ●Web関連の内容更新 ・本校HPの内容更新(TOPページの配置、見せ方等) ・さんぽう、昭栄広報、キッズ、ベスト進学ネットの媒体原稿作成 ・LINEによる情報配信(月2回配信) ・Instagram及びTwitterの配信(週1～2回更新) ・介護、IT、観光のコース紹介となるチラシを作成中 ●高校・日本語学校との関係強化 ・高校訪問(7校)→相模原・八王子・横浜・川崎・厚木エリアへ合格通知渡し、現2年・3年の進路状況確認等 ・KTC町田との高専連携はスケジュールと授業内容を確定し伝える、先方より人数等の詳細情報確り		
	2	【教室運営・資格取得】 ・MOS試験は100%合格を目標 ・その他の試験は、全国平均合格率+10%目標	・MOS試験(Word)に向けて放課後の補習等を実施(本間)	・診療報酬請求事務能力認定試験は12名受験3名合格。 ・MOS Wordは2名受験2名合格、MOS Excelは3名受験2名合格。 ・WBWウェディングスペシャリストは14名受験14名認定。 ・サービス介助士は24名受験16名認定。 ・介護福祉士国家試験は15名受験2名合格。	
	3	【休退学防止】 退学率8%以下への抑制対策 ・2019年度 13.0% ・2018年度 14.2%	・教職員会議(3月11日)で学生状況を確認(各学科担任) ・カウンセリングは相談者がいれば実施(自時は調整中:教務主任坂田・外部カウンセラー) ・日本人学生対象の入学前オリエンテーション(3月15日)を実施(全教員) ・後期の成績不良者に対して補講や追再試の実施(全教員) ・新2年生に於いてエントリー先に応じた個別指導を実施(各学科教務主任及び担任) ・卒業する留学生在に於いて説明会を実施(3月3・4・5日、事務課高橋)	・予定通り3月11日の教職員会議で各担任から学生状況が報告された。 ・カウンセリング(3月8日と22日)に実施した。(対象者は1名) ・後期は1MMから2名、2THから2名、1THから10名が退学/除籍となった。 ・3月11日現在、61名が内定、内定率71.8%。 ・ビザ説明会には卒業する留学生の全員が参加した。 ・3月1日～3月5日の一日あたりの退学者は0.4名、欠席者は0名だった(10Wのみ)。	
4	【教室の外部貸し出し】 ・3月度目標:50万円	・塾、予備校の貸教室のキャンセルと入れ替えに、他業者や新規業者からの問い合わせに柔軟に対応し、空いた日程を確保するよう努める ・貸教室を行う際は、マスク着用・手指消毒・アルコール除菌、利用者の検温、3密を防ぐ(座席は間隔を空けて使用する)等の対策を徹底してもらう ・次年度の貸教室スケジュールを業者から募り、2021年度のスケジュールを完成させる	・3月度収益:98万円 ・各業者からの借用希望日をまとめ、2021年度教室借用スケジュールを完成させた。まだ連絡のない業者もあるため、空き日程を埋めるべく積極的に対応する。		
5	【6S活動】 ・3月度(つけ・作法)	・1年生の就職活動が本格化するため、ビジネスマナーをより一層強化させる(担任及び就職指導担当) ・自転車・バイク通学者に対して正しく駐輪させるよう指導し、ステッカーのないものに貼り紙をする(事務課)	・新2年生の就職指導を個別に実施した。 ・駐輪場は定期的な確認を行った。		
6	【業務改善・超過勤務削減】 ・課員一人当たり10時間以内 ・ノー残業デー実施 ・電気代の節約	●業務の効率化・平均化 ・課表および個人PDCを振り返り、優先業務を整理したうえで、時間超過する業務と短縮できる業務のバランスを各自が把握し、無駄な排擠に努める(全員)→目標:月10時間以内 ・特定の職員の業務に偏りが出ないよう業務フロー、率先垂範の要請→業務分担表の見直しと整理 ・週に一度(水曜日)のノー残業を設定し、業務の効率化を要請する ●電気代の節約 ・教室、トイレの照明、不要の空調、給湯器等の電源を切る	・超過勤務は定期職員1名あたり10時間、事務職員によって超過勤がほとんどない者から目標の10時間以内を接近中オーバーしている者まで、大きく幅があるため、業務のバランス等を見直しが必要がある。 ・学生が専攻のため、先月より照明や空調の節約をすることができた。		

■ 2021年3月度部門進捗状況確認表

施設名	湘南ふれあい学園	部門名	認定こども園みどり幼稚園
-----	----------	-----	--------------

重点数値指標（月間目標数値） 2021年度入園、二号認定・三号認定の定員確保を行う。

施設長	部門長

3月の目標 認定こども園二・三号認定 の乳幼児受け入れと新年度 の準備を確実に行う	認定こども園二・三号認定園児確保100% 新入園児受け入れの準備の為、行事確認、保育活動の 見直し、検討を行う。
--	--

No.	目標	P	具体的アクション計画	D	検証結果	C
1	【園児獲得】 認定こども園二・三号認定の園児定員数を確保する。		横浜市の二次審査終了後、入園園児数が確定する、認定こども園二・三号認定の保護者に対しての説明会を行い、入園に関して理解を深めていただく。また提出物などの連絡、確認を行う。		横浜市の二次審査が終わり、二号認定・三号認定が決定した。1歳児8名2歳児10名、3・4・5歳児各12名計54名の定員に達した。説明会も無事に終わった。	
2	【業務改善】 認定こども園保育部門入園準備を整える。		業務を分担して行い、時間を意識する。 保育士採用に向けて募集、面接を行う。優先順位を考え、時間内に勤務終了とする。		業務は分担して行うことが出来た。時間内に勤務終了できた。	
3	【エコ活動】 新年度に向けて、在庫整理、教材確認をする。		三学期は年中担任3名が教材管理・在庫整理の担当である。週一回は確認する。 保育活動に支障が生じないように早めに物品購入、あるいは三枚つづりで購入できるように準備する。		在庫管理、新年度の準備はスムーズに行った。	
4	(6S活動) しつけ・作法		(挨拶)園児達の見本となるように自ら進んで行う。保護者に対しても目を見て挨拶する。 (電話対応) 受け答えをはっきりし、相手に不快な思いをさせないようにする。 (身だしなみ)保育者として清潔感のある服装を心がける		(挨拶) 実行できた。今後も継続して行う。(電話対応) 言葉使いに気を付け、対応できた。引き続き行っていく。(身だしなみ) 実行した。	
5						

●備考（次月に向けた課題他）

新入園児が安心して入園できるように準備を行う。 新年度の行事確認、教材準備を進めていく。

2021年3月度進捗状況確認表

施設名	湘南ふれあい学園	部門名	学園本部
-----	----------	-----	------

施設長	部門長
	小林

●重点数値指標(月間目標数値)

時間外勤務時間数												
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	3月
52:50	13:20	48:00	50:20	68:20	47:30	41:00	45:30	41:00	31:10	38:50	33:00	
52:00	11:10	41:40	48:10	54:00	29:30	33:40	28:50	23:50	16:20	15:20	14:30	
		3:20	6:50	9:10	16:30	6:50	3:40	9:20	0:50	7:30	4:30	
合計	104:50	24:30	93:00	105:20	131:30	95:30	81:30	79:00	74:10	48:20	61:40	52:00

●PDCサイクル

NO.	目標	具体的アクション計画	結果検証
1	1 法人系会議の遺漏の無い運営 ①理事会評議員会の運営 ②学園本部運営会議の運営 ③事務会議(学園)の運営 ④薬学部設置準備会議の運営	①理事会・評議員会の3週間前までに議案の決定・事業計画、予算書の作成・理事長への確認 出欠の早期把握、開催通知の発送(1週間前)、当日の準備、議事録 ②議案作成・秘書課提出(会議前日)、会議後各校等への報告・依頼・宿題の解決 ③議案作成(会議前日)、会議前の日程等の調整 ④会議資料作成し、秘書課に提出(会議前週金曜日)、当日の準備、議事録	3/11に開催通知を発送し3/19に出席者の把握ができた。3/22に資料確認を行い、3/24の開催となった。現在、議事録案確認中である。 会議後議事録を共有し、宿題や各校への伝達事項の確認を行った。 当日になったが、資料送付し、問題なく実施できた。 週初めの資料確認に間に合わせ、資料作成を行った。
2	①ふれあい奨学金返済者に対し、迅速に請求を行う。 ②決裁書類の誤送をゼロにする。 ③薬学部設置準備 ④寄附行為登記準備補佐 ⑤経常費補助金および改革総合支援事業の根拠資料の作成 ⑥お役立ち新聞 ⑦大学学位記授与式、専門学校合同卒業式準備 ⑧横浜山手保健医療学部(仮称)、助産師専攻科、保健師専攻科の設置準備	①各校より、一括返済に該当する案件が発生したら、即日中に財務に返済金額を査定してもらい、すみやかに返済依頼書を本人に送付する。(原則1週間以内) 毎月15日に経理へ入金確認を行い、入金が遅れている者には、3日以内に督促状を発行する。 ②各校からの決裁書類は、届いたその日に開封し、入力作業を行い、原則3日以内に、関係部署へ送付する。その際、送付先一覧を確認し、誤送が無いように努める。 ③入学決定者への入学前教育の案内を行う。4月の学生受け入れ準備を行う。次年度の学生募集に向けて、検討を行う。 ④2021年4月の薬学部設置の寄附行為登記に必要な書類を法務課上先生に確認し、準備する。 ⑤一般補助等の必要書類を作成し、提出する。 ⑥毎月のお役立ち新聞の記事掲載締切に遅れないよう各校・園の記事確認を行う。 ⑦新型コロナウイルスの感染リスクを下げるような運営方法を検討し、文化会館とも調整を行う。 ⑧令和4年4月開設にむけて、令和3年4月提出の事前相談書類準備を進める。	返済請求書の発行10通を行った。返済の滞っていた1名より返済計画書を提出させた。 誤送はなかった。 4月生受け入れ準備を行った。 寄附行為の登記が完了し、登記完了届を提出した。 対応した。 キャンセル及び返金に対応した。 アンケート依頼の実施をした。
3	①業務改善(時間外の削減) 一人20時間以内	①業務の効率化を図り、時間外勤務を削減する。	時間外勤務が発生した。
4	・6S活動の推進(しつけ・作法)	忙しくても基本的な礼儀を見失わないように職員同士で気を配る。	席を外しているとき以外は2コール以内に電話を取ることはできた。

●備考 (次月に向けた課題他)

--

添付資料 (有 ・ 無)

■ 2021年3月度部門進捗状況確認表

施設名	湘南ふれあい学園	部門名	ふれあい医療福祉 研修センター
-----	----------	-----	--------------------

施設長	部門長

重点数値指標（月間目標数値）

超過勤務時間												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目標	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	47:30	27:00	65:00	65:30	40:00	28:30	15:00	10:00	35:50	13:00	19:20	20:10
			0:30	0:00	0:00	0:45	0:00	0:00	2:50	0	0	0
	56:10	24:40	45:50	54:50	35:30	36:10	27:50	22:00	24:20	26:00	41:10	30:20
時間数	104:20	51:40	111:20	120:20	75:30	65:25	42:50	32:00	63:00	39:00	60:30	50:30

No.	目標	P 具体的アクション計画	D 検証結果	C
1	研修受講生募集 ○次回開催研修準備 ・実務者研修5月開講 ・初任者研修6月開講 研修開講準備 ○初任者研修・町田会場の開講準備 ○看護師実習指導者講習会	実務者研修5月開講、初任者研修6月開講の受講生募集を行う（HP掲載、グループ内チラシ配布、DM送付、社協あてチラシ送付など） 町田会場での実施のための準備（日程調整、講師候補者検討など） 神奈川県からの委託を受託するための書類作成準備（大学担当者との協働）	実務者研修5月開講 HP掲載、グループ内施設案内送付、医学講座案内送付、事務会議での周知、近隣介護施設DM送付（175件）、近隣社協案内送付（8件）などを実施。 初任者研修6月開講 事務会議での周知、お役立ち新聞記事掲載準備 初任者町田校開催は、4月以降に具体的内容を調整することとした。 看護師実習指導者講習会は神奈川県からの委託事業となり、神奈川県HPへ掲載され、複数件の問い合わせを受けた。	
2	受講生支援 ○介護職員初任者研修 11月生へのフォロー 研修支援 ○リハ校社会福祉専攻科の業務支援	就職希望者3名に対し、引き続き就職のサポートを行う。 問題を抱えた受講生対応で担当教職員が体調不良のため、専攻科業務の支援を行う。	初任者研修就職希望者にサポートを行ったが、グループ内の就職には繋がらなかった。 電話対応、来校者対応など職員間で協力して対応することができた。	
3	研修環境整備 ○研修の円滑運営のための備品確認	新年度研修開講にあたり、消耗品等不足がないか確認を行い、必要なものは購入する。	年度当初に行う研修の不足物品を順次購入し、円滑な運営を	
4	6S活動の推進 ○3月「しつけ・作法」	研修問合せに丁寧な対応をする。	実務者研修5月開講のほか各種研修の問い合わせなどに丁寧に対応した。	
5	時間外の削減 ○超過勤務0時間	業務の優先順位付け（報告、連絡、相談）	前月より減少したものの、超過勤務が発生した。	
●備考（次月に向けた課題他）				

2020 年度前期授業評価アンケートについて

1. 対象学生 学生 692 名（うち休学者 12 名は対象外）
2. 対象科目 実習科目を除く 135 科目
3. 使用アンケート FD ネットワークつばさ 授業評価アンケート
4. 設問内容

設問 1～14 マークシート対応

問 1

① この授業に関心があったから ②シラバスを読んで
 ② 教員に魅力があったから ④ 自分の専門に関係が深い分野だから
 ⑤ 幅広い教養を身につけるため ⑥必修だから ⑦ 単位が取り易そうだから
 ⑧ その他

問 2 この授業を意欲的に受講しましたか
 問 3 この授業の内容を理解できましたか
 問 4 考え方、能力、知識、技術などは向上しましたか
 問 5 自ら学ぶ意欲は湧きましたか
 問 6 自ら進んで課題を発見し探求する力が身につきましたか
 問 7 教員に熱意は感じられましたか
 問 8 教え方(教授法)はわかりやすかったですか
 問 9 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションはとれていましたか
 問 10 この授業に対する 1 週間あたりの平均の勉強時間(授業時間を除く)は。
 ⑤3 時間以上 ④2～3 時間 ③1～2 時間 ②30 分～1 時間 ①30 分未満
 問 11 板書や配布物、提示資料は読みやすかったですか
 問 12 教員は教室内の勉学の環境を良好に保つよう、配慮していましたか
 問 13 オプション
 看護学科:あなたはこの授業の事前学習・事後学習に熱心にとりくみましたか
 リハ学科:この授業で使用した教室の大きさ・設備等の学習環境は適切でしたか
 問 14 この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか

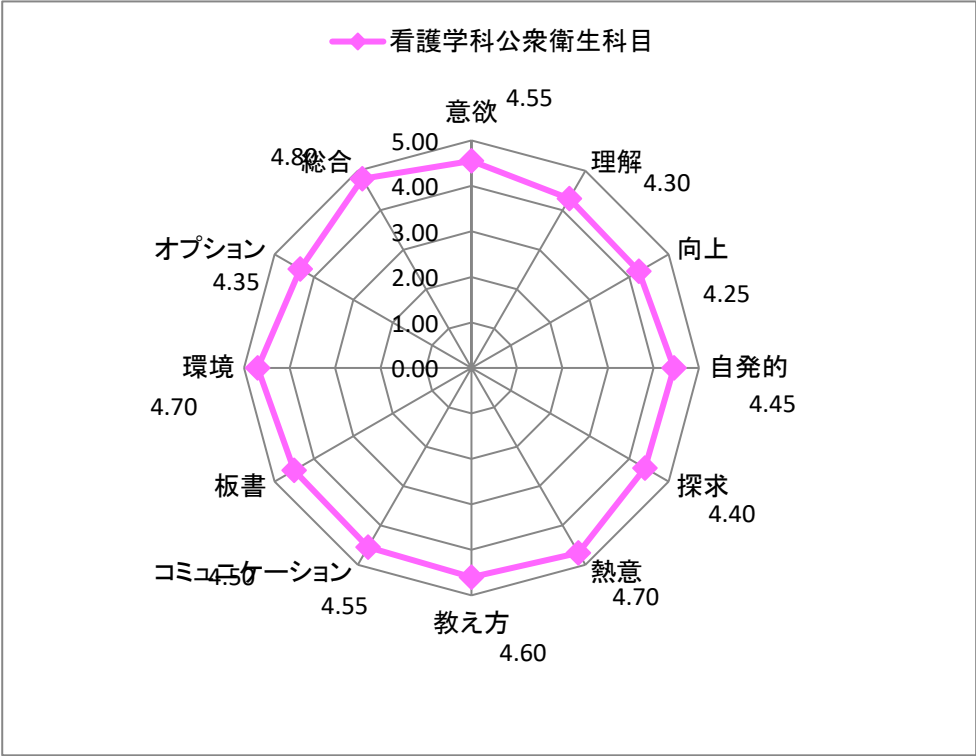
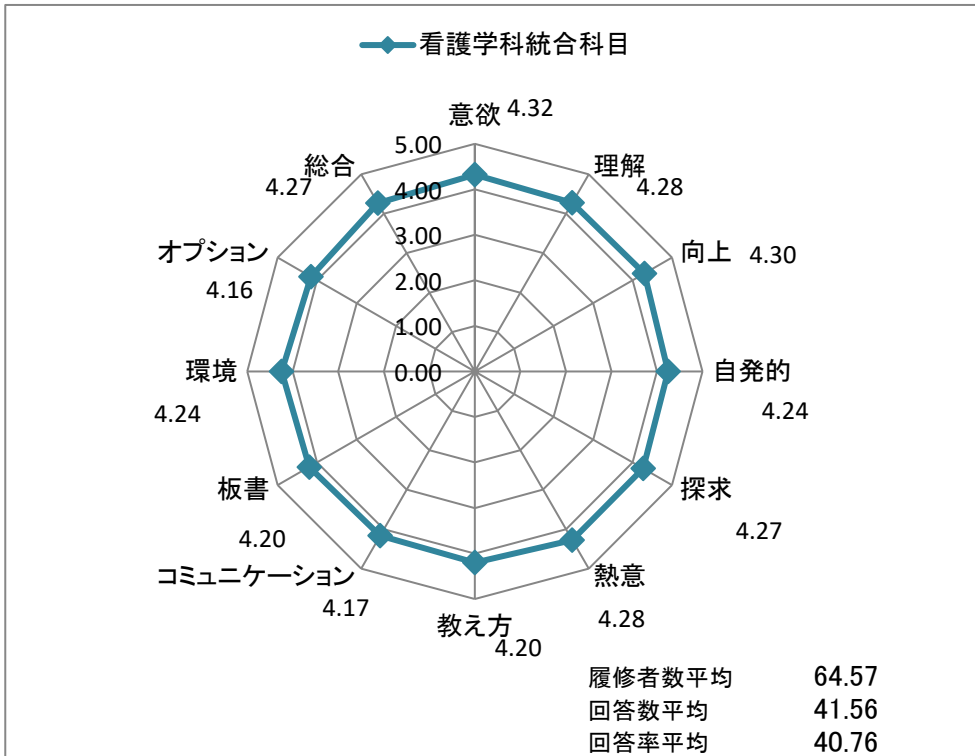
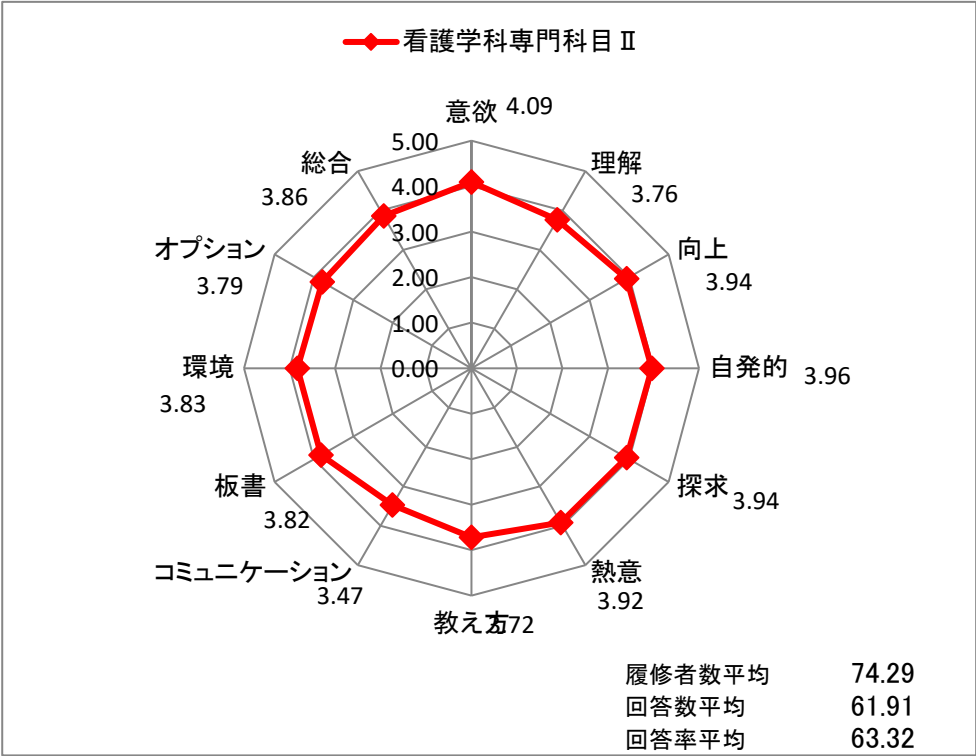
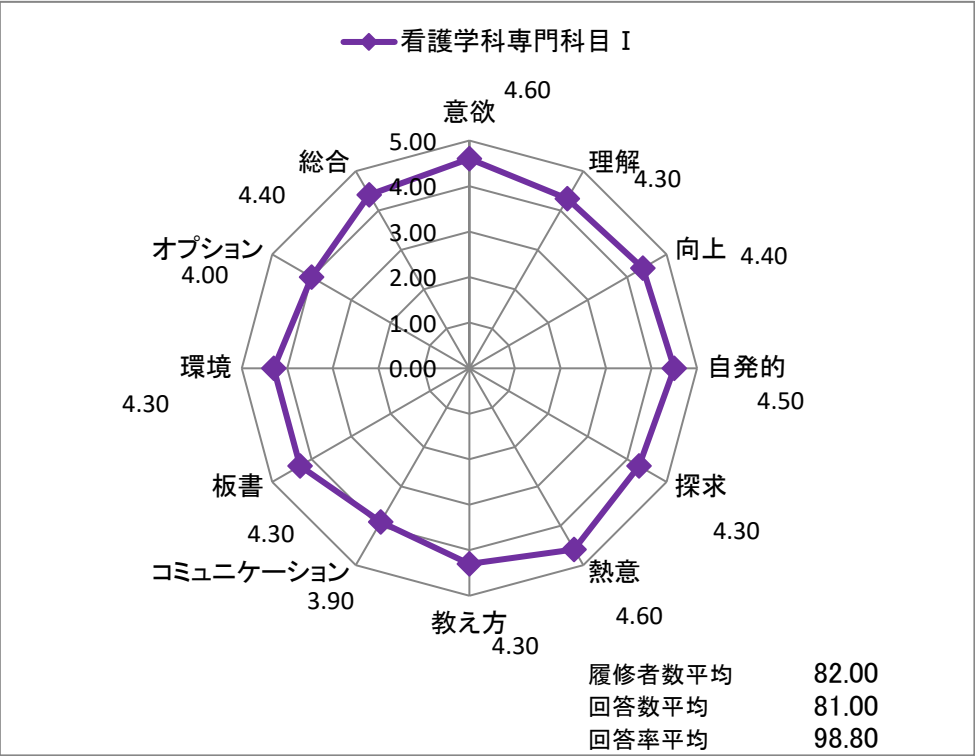
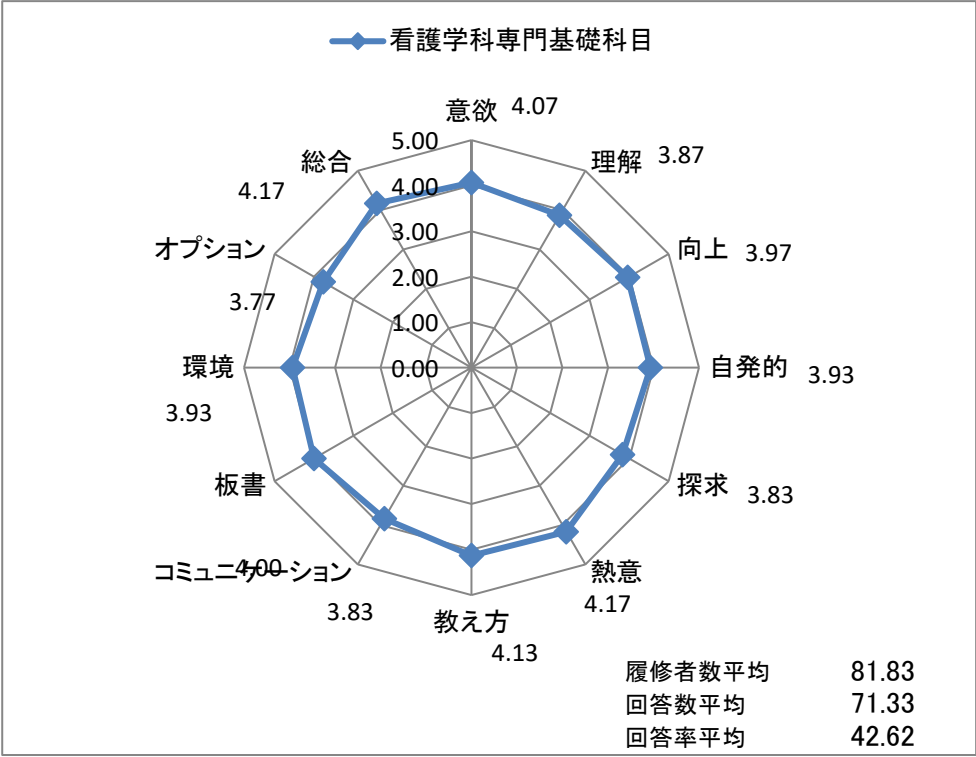
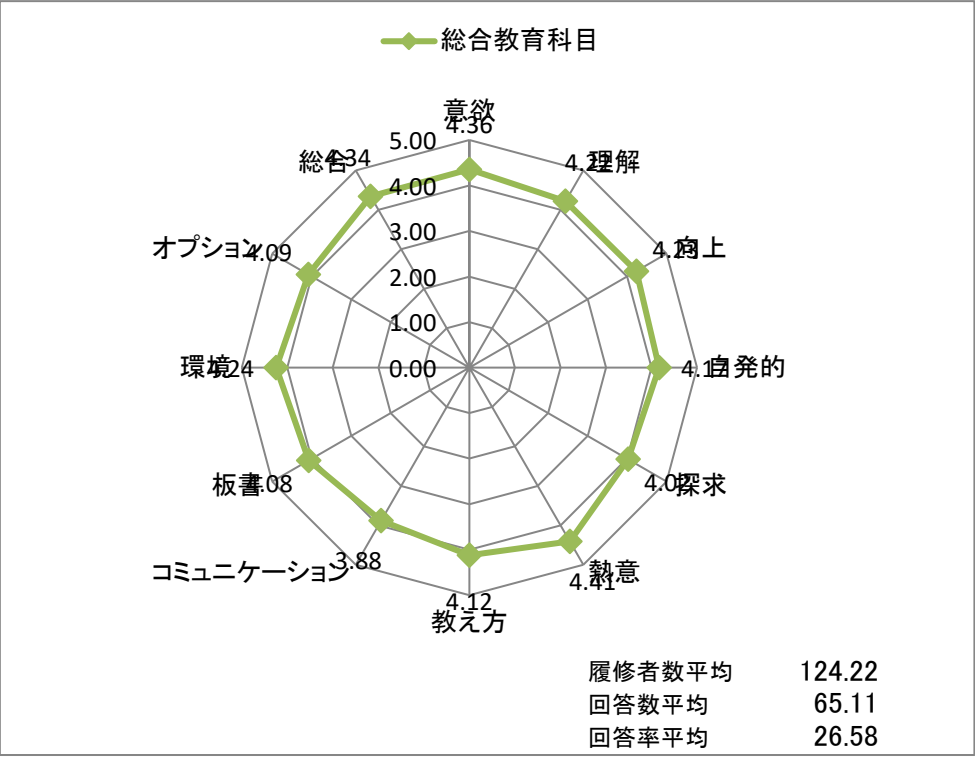
設問 15～17 自由記載

問 15 この授業で良かったと思う点を書いてください(自由記載)
 問 16 この授業で良くなかったと思う点、改善すべきと思う点を詳しく書いてください
 問 17 オプション(担当教員からの自由設問)
5. レーダーチャートについて
 1. 『学生が講義を受けて、学生自身が変化や影響を受けたと感じる項目』
を元に作成した三角形のレーダーチャート(設問 4～6)
 2. 『授業そのものの評価』(設問 2～3, 7～14)
を元に作成した九角形のレーダーチャート
6. 勉強時間

実習科目は本アンケートの対象外になっているため、臨床実習の実施時期によって、学年・学科専攻ごとに実習以外の勉強時間(＝本アンケートの調査結果)に差が現れているものと推測される。

2020年度 授業改善アンケート結果(前期)

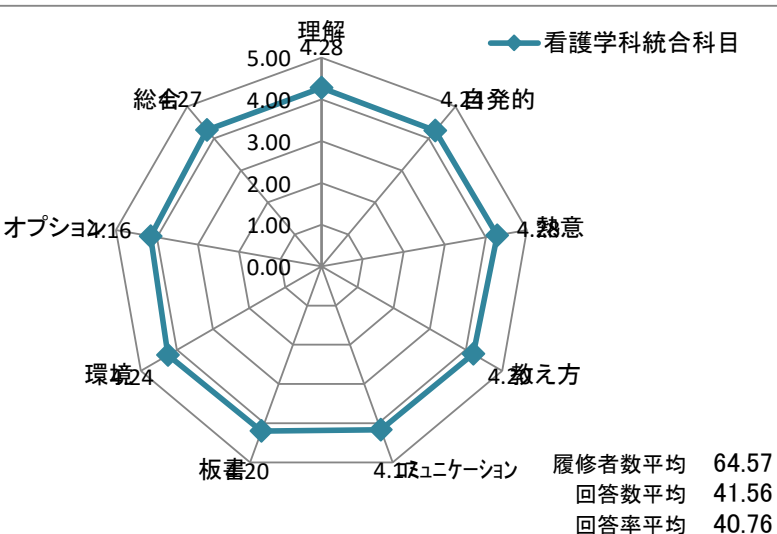
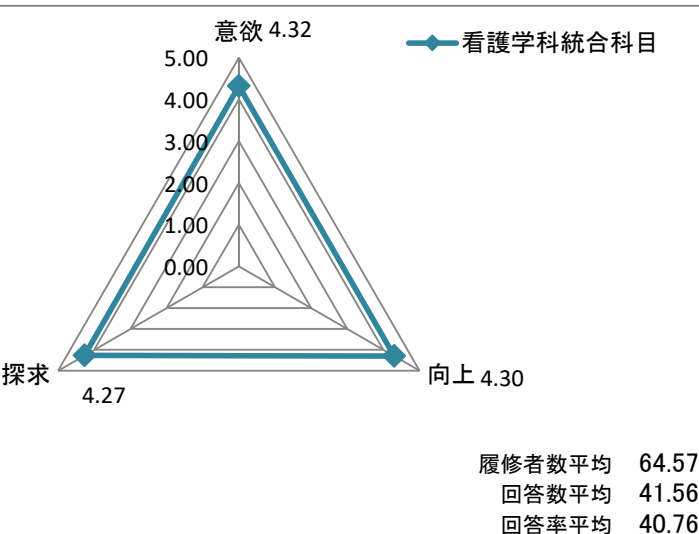
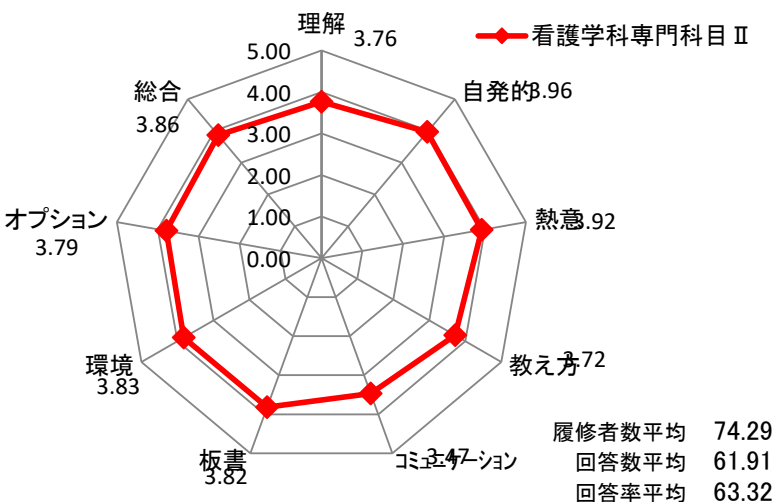
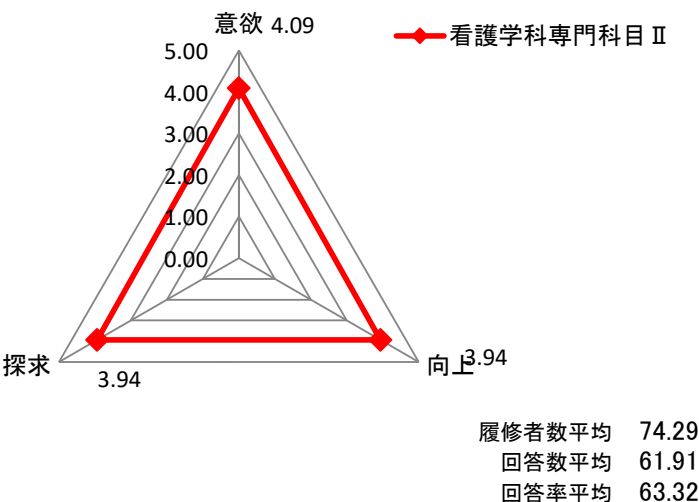
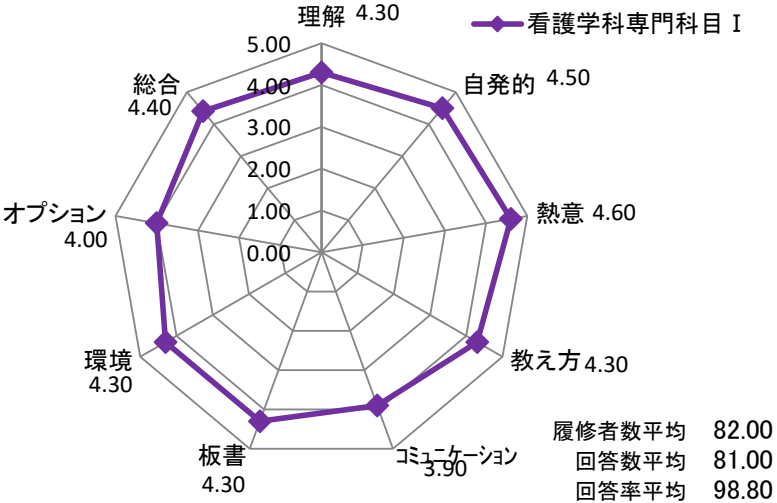
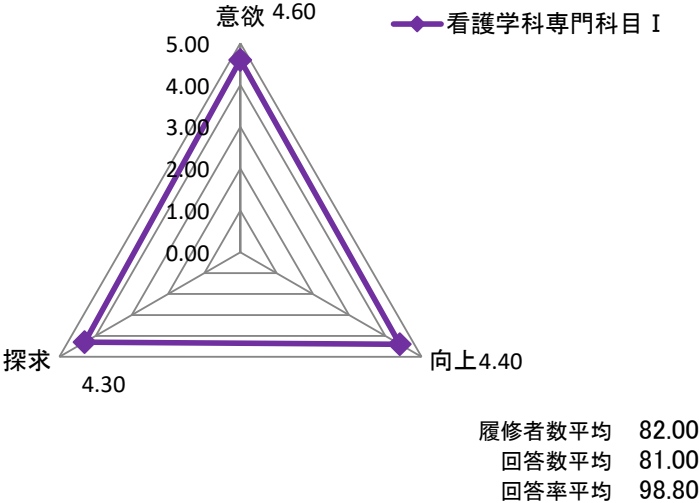
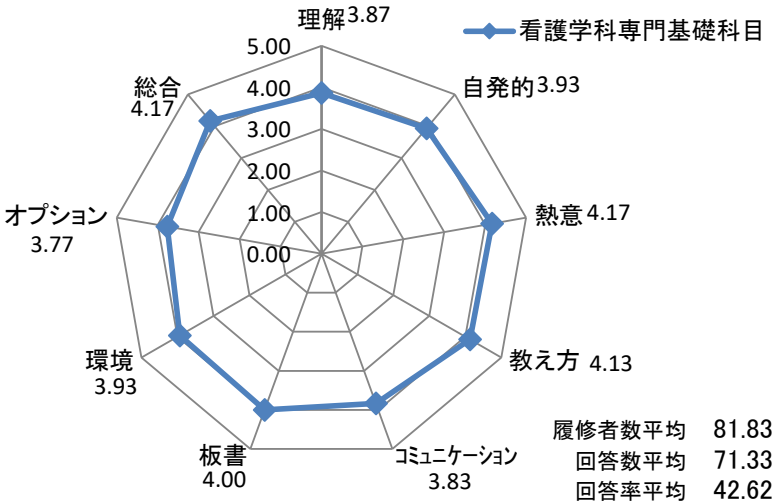
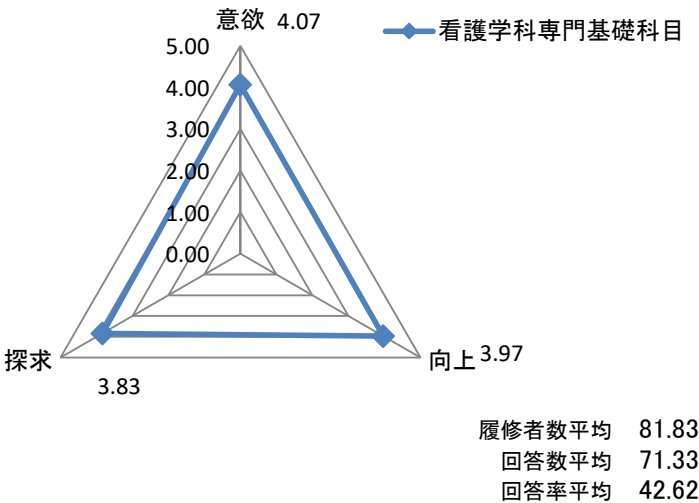
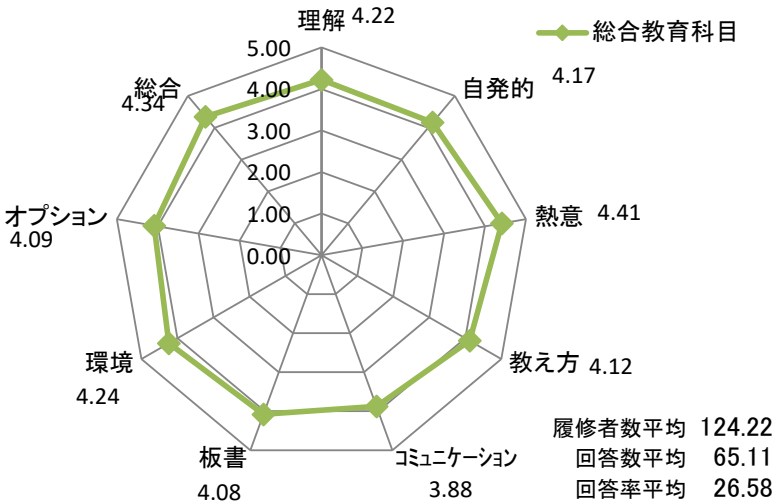
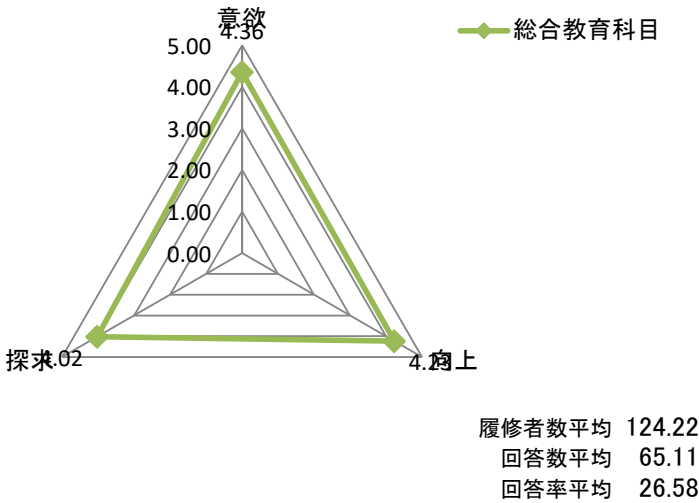
科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	124.22	65.11	26.58	4.36	4.22	4.23	4.17	4.02	4.41	4.12	3.88	4.08	4.24	4.09	4.34
看護学科専門基礎科目	81.83	71.33	42.62	4.07	3.87	3.97	3.93	3.83	4.17	4.13	3.83	4.00	3.93	3.77	4.17
看護学科専門科目Ⅰ	82.00	81.00	98.80	4.60	4.30	4.40	4.50	4.30	4.60	4.30	3.90	4.30	4.30	4.00	4.40
看護学科専門科目Ⅱ	74.29	61.91	63.32	4.09	3.76	3.94	3.96	3.94	3.92	3.72	3.47	3.82	3.83	3.79	3.86
看護学科統合科目	64.57	41.56	40.76	4.32	4.28	4.30	4.24	4.27	4.28	4.20	4.17	4.20	4.24	4.16	4.27
看護学科公衆衛生科目	13.00	13.00	100.00	4.55	4.30	4.25	4.45	4.40	4.70	4.60	4.55	4.50	4.70	4.35	4.80



2020年度 授業改善アンケート結果(前期)

※レーダーチャート(左)は学生による学生自身の評価、レーダーチャート(右)は学生による教員の評価

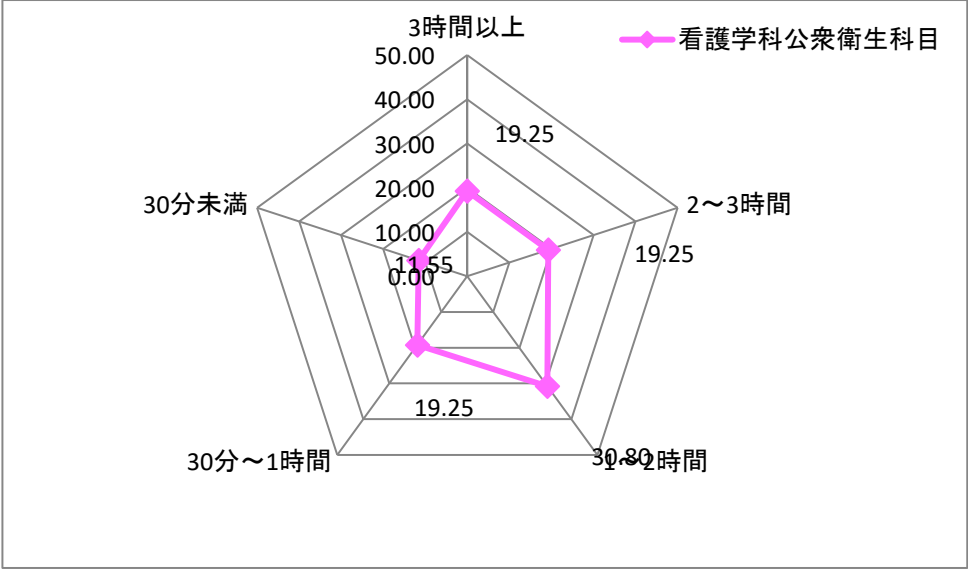
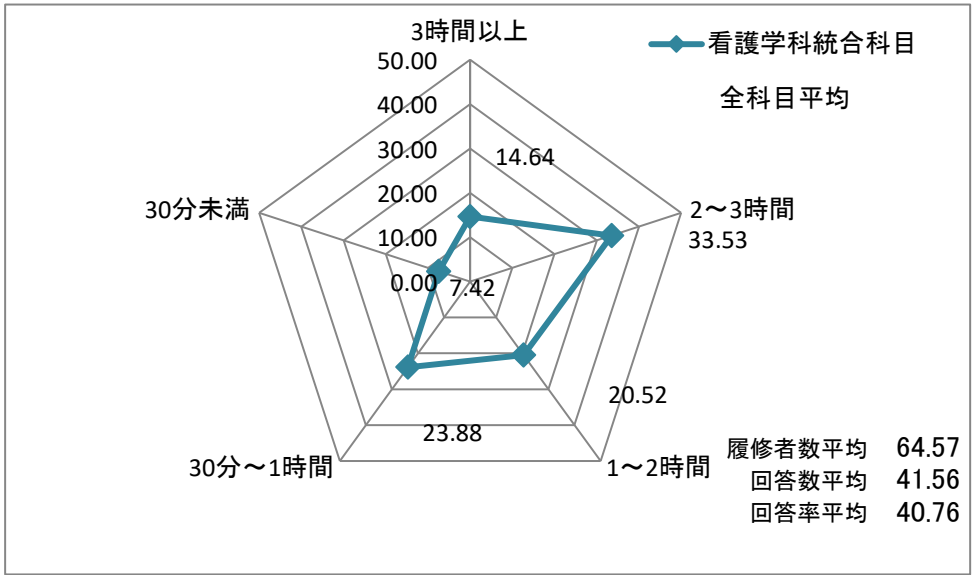
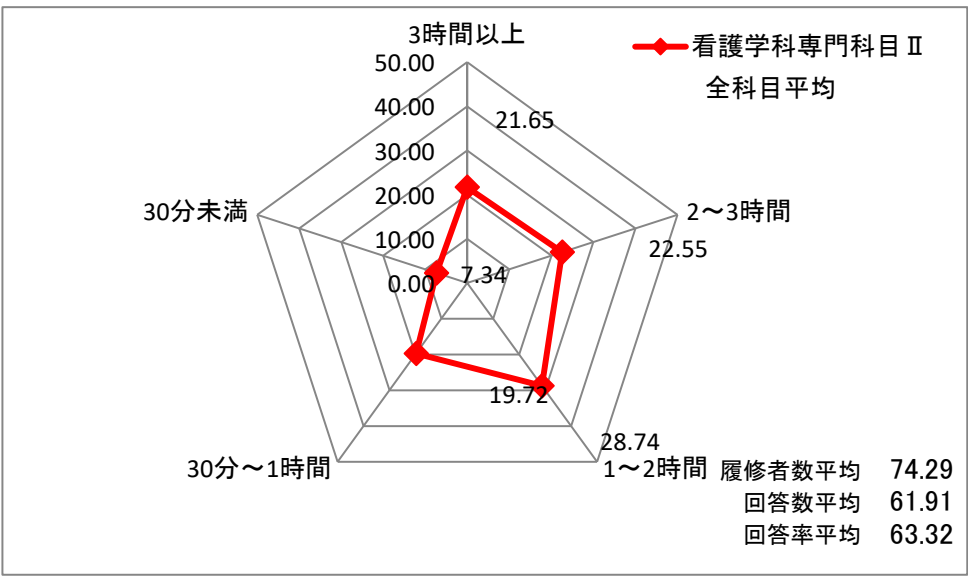
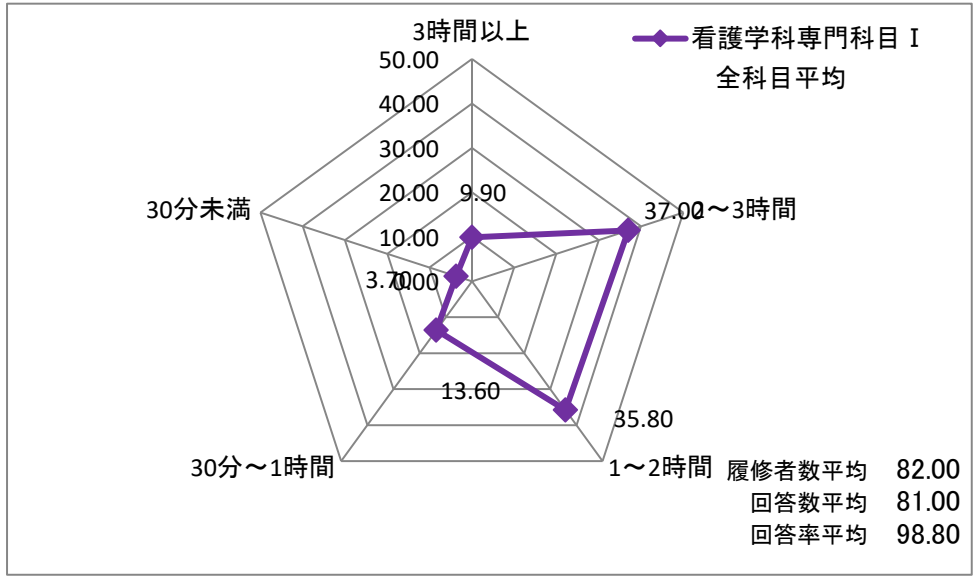
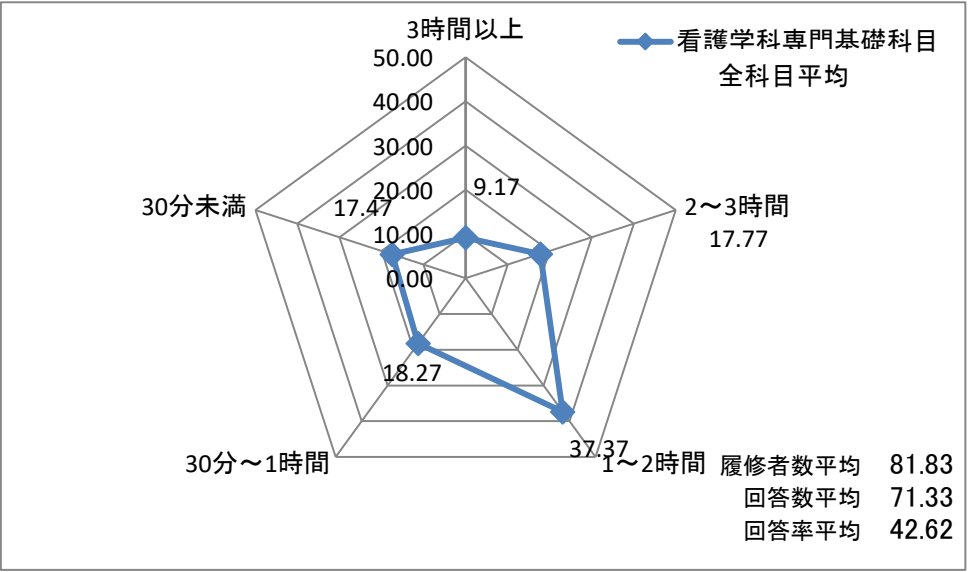
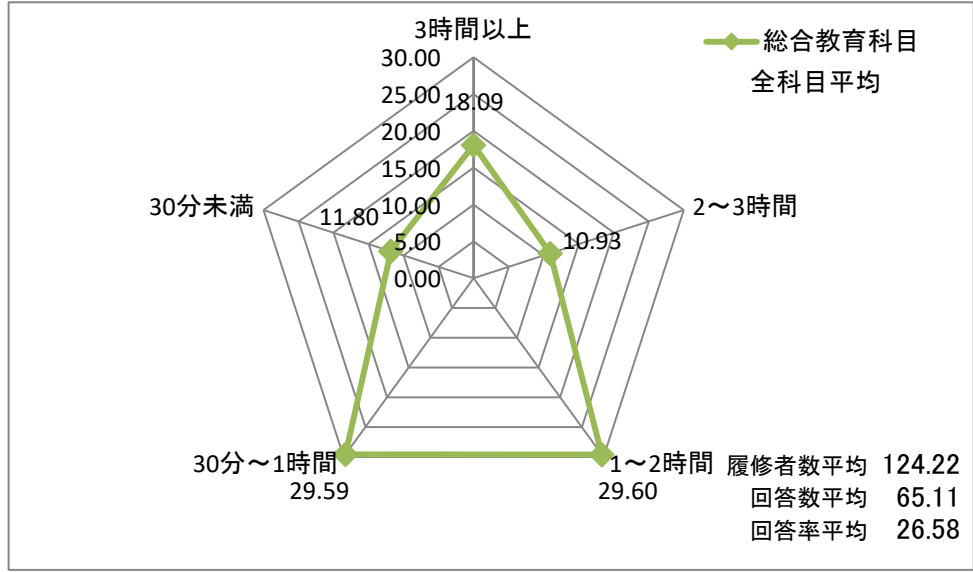
科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	124.22	65.11	26.58	4.36	4.22	4.23	4.17	4.02	4.41	4.12	3.88	4.08	4.24	4.09	4.34
看護学科専門基礎科目	81.83	71.33	42.62	4.07	3.87	3.97	3.93	3.83	4.17	4.13	3.83	4.00	3.93	3.77	4.17
看護学科専門科目Ⅰ	82.00	81.00	98.80	4.60	4.30	4.40	4.50	4.30	4.60	4.30	3.90	4.30	4.30	4.00	4.40
看護学科専門科目Ⅱ	74.29	61.91	63.32	4.09	3.76	3.94	3.96	3.94	3.92	3.72	3.47	3.82	3.83	3.79	3.86
看護学科統合科目	64.57	41.56	40.76	4.32	4.28	4.30	4.24	4.27	4.28	4.20	4.17	4.20	4.24	4.16	4.27



2020年度 授業改善アンケート結果(前期)

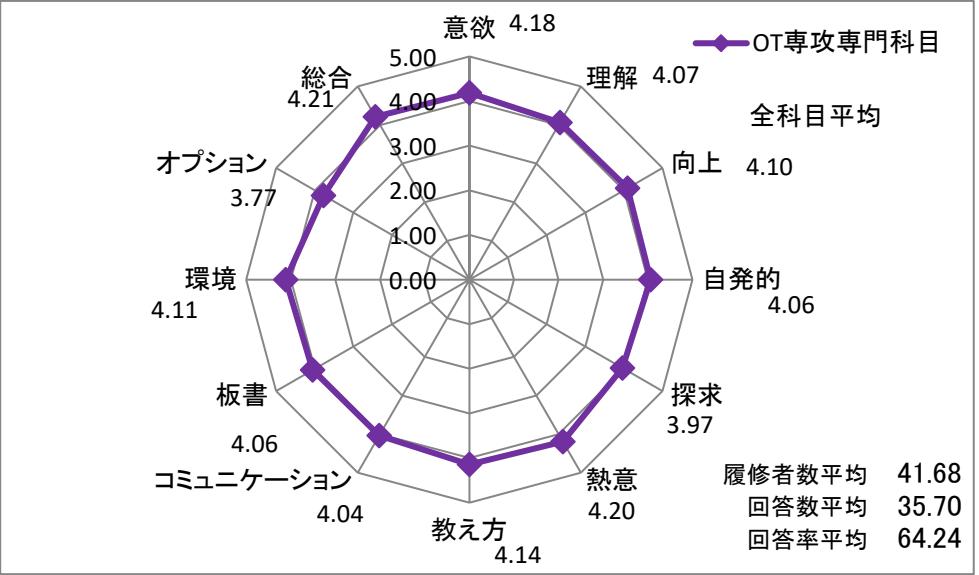
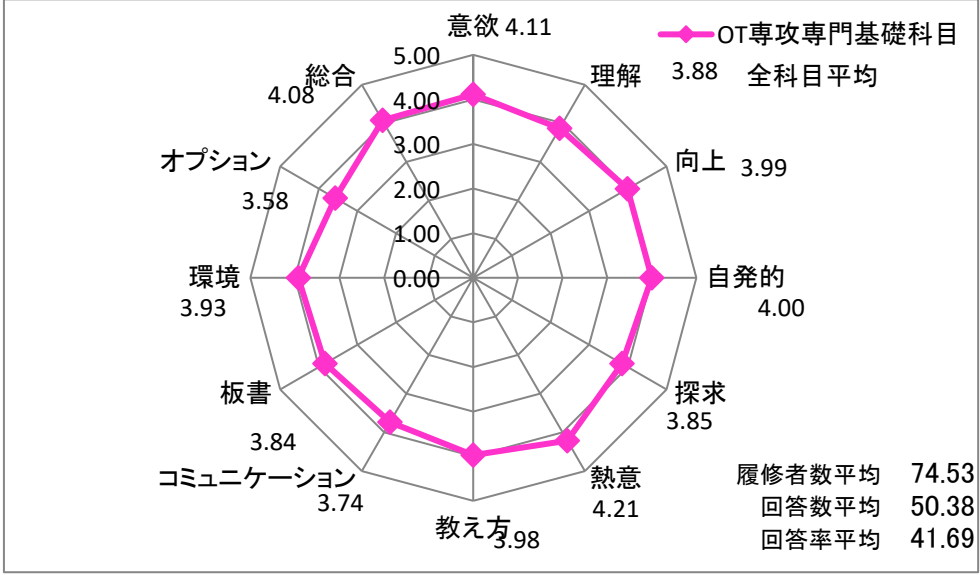
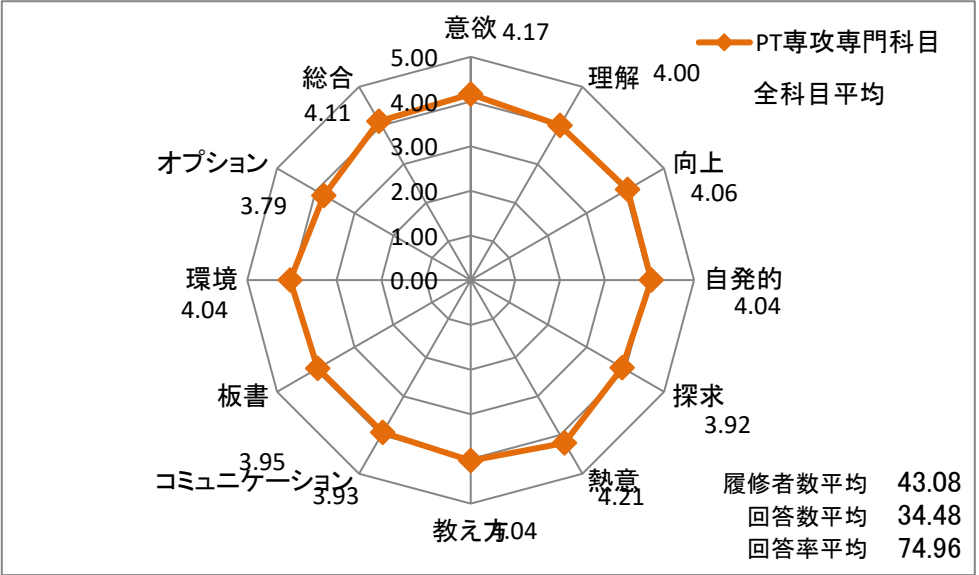
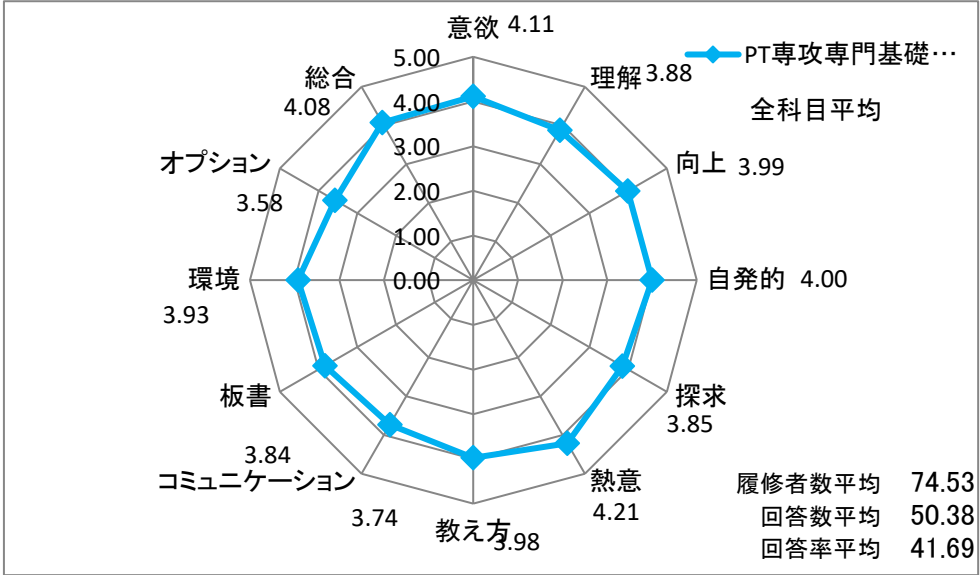
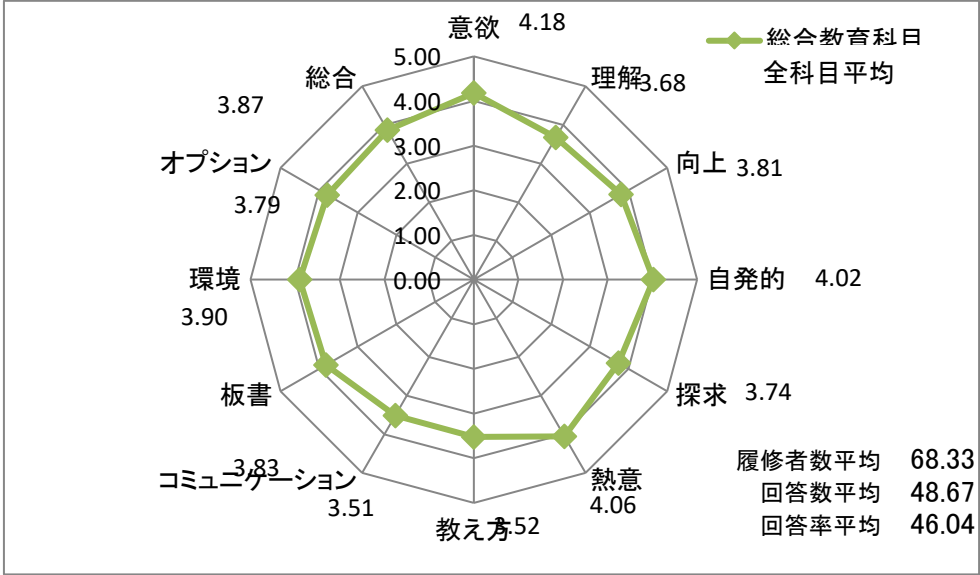
科目名	勉強時間平均(%)				
	3時間以上	2～3時間	1～2時間	0分～1時	30分未満
総合教育科目	18.09	10.93	29.60	29.59	11.80
看護学科専門基礎科目	9.17	17.77	37.37	18.27	17.47
看護学科専門科目Ⅰ	9.90	37.00	35.80	13.60	3.70
看護学科専門科目Ⅱ	21.65	22.55	28.74	19.72	7.34
看護学科統合科目	14.64	33.53	20.52	23.88	7.42
看護学科公衆衛生科目	19.25	19.25	30.80	19.25	11.55

該当科目無し



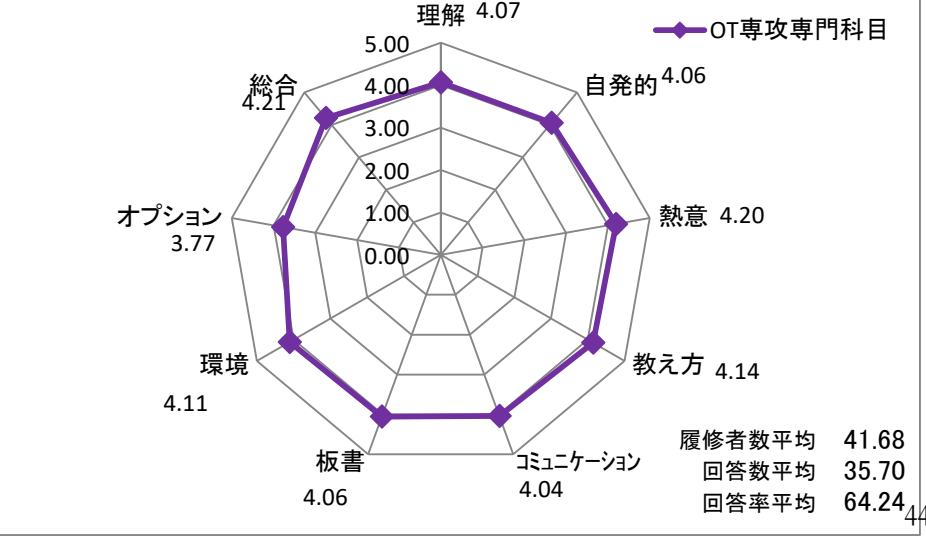
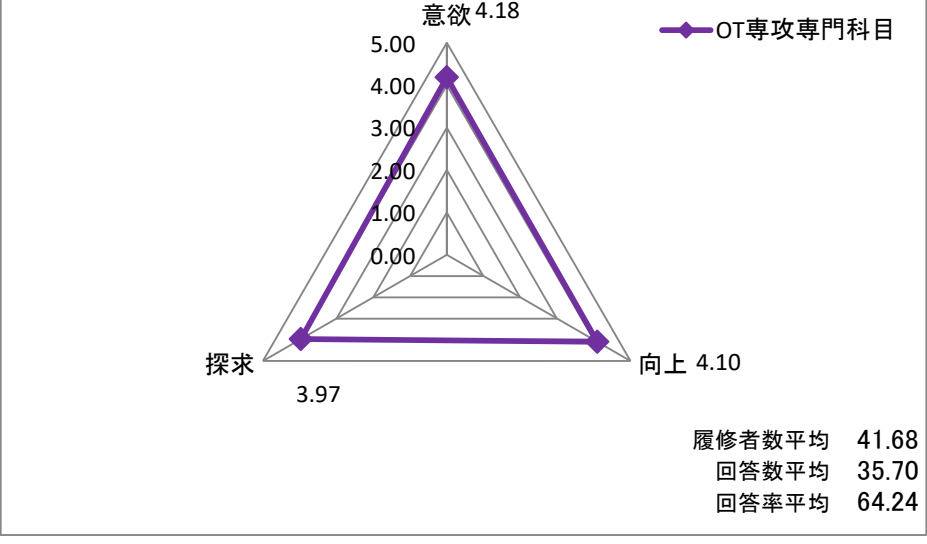
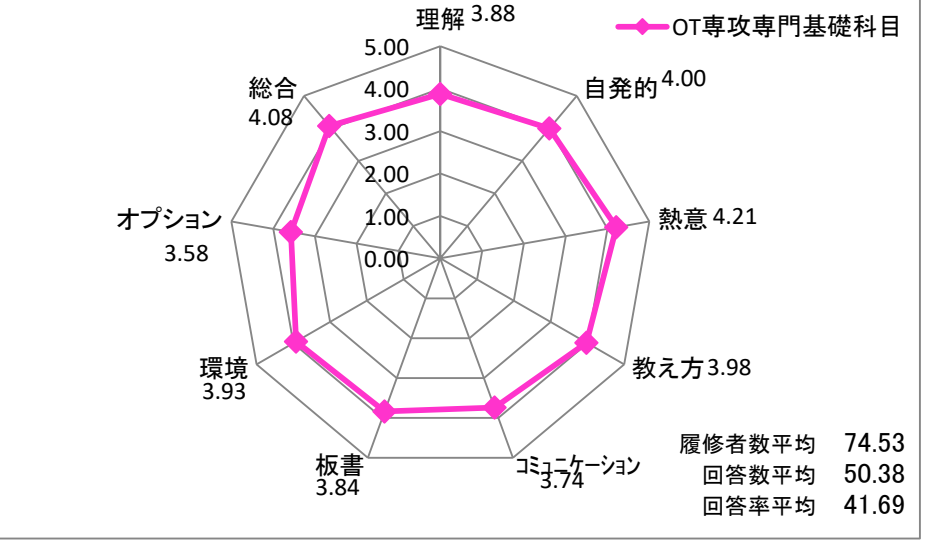
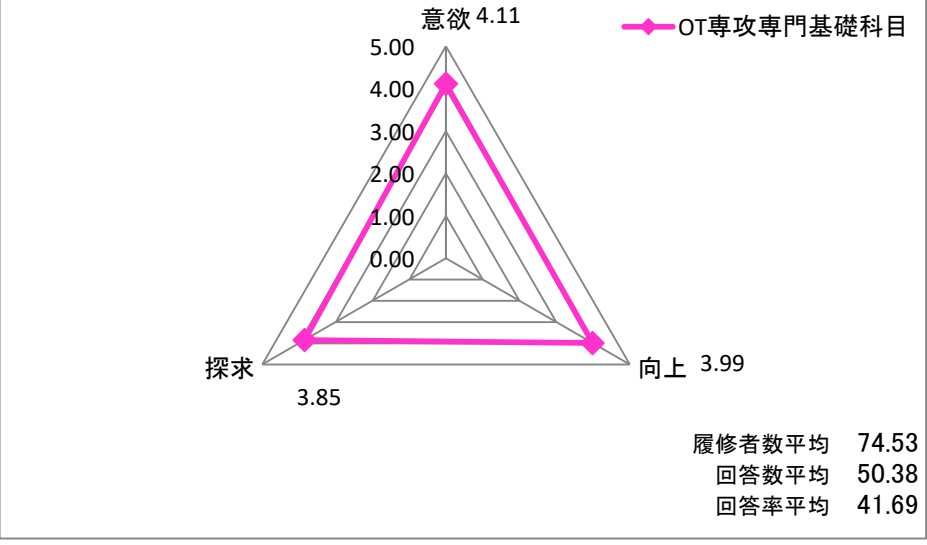
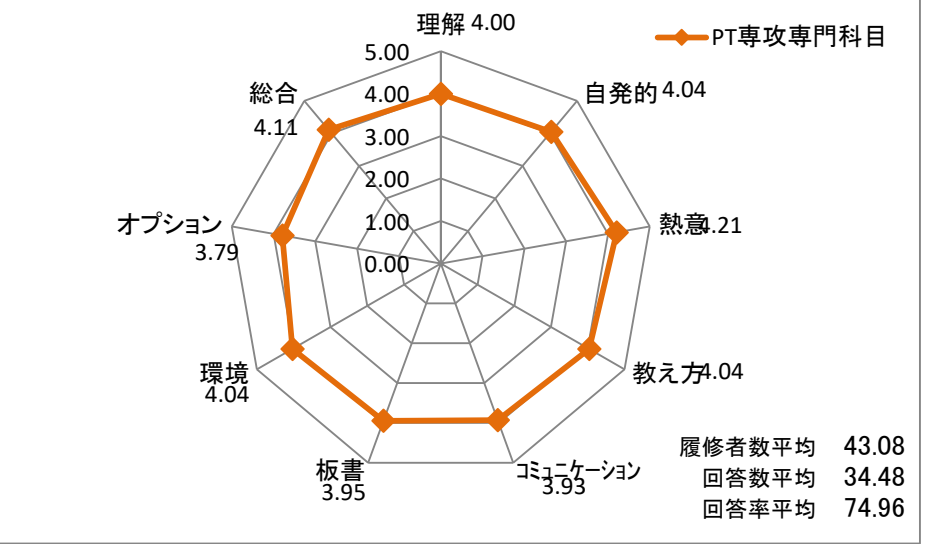
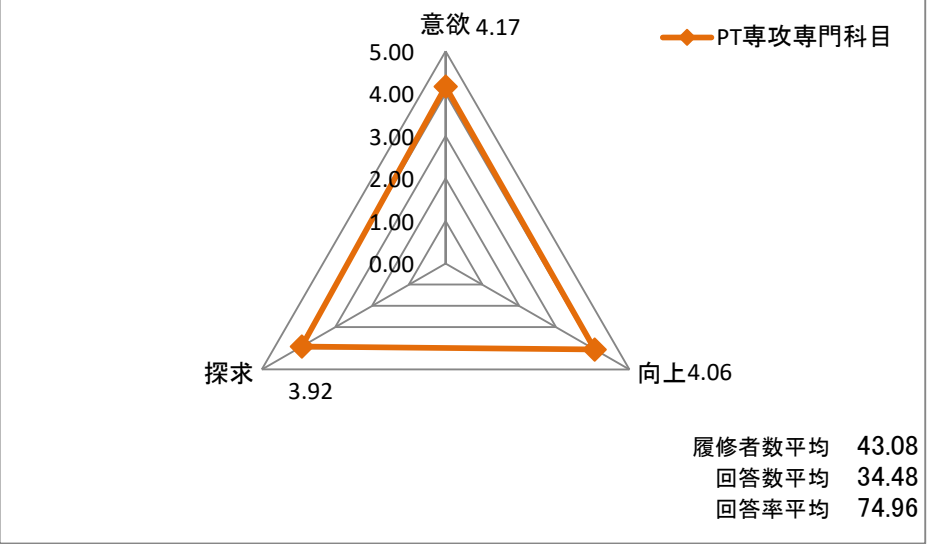
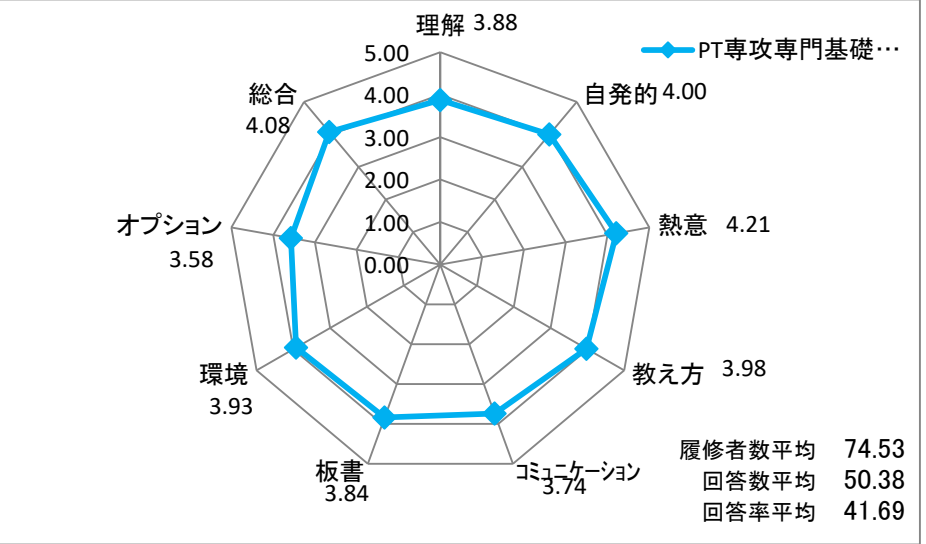
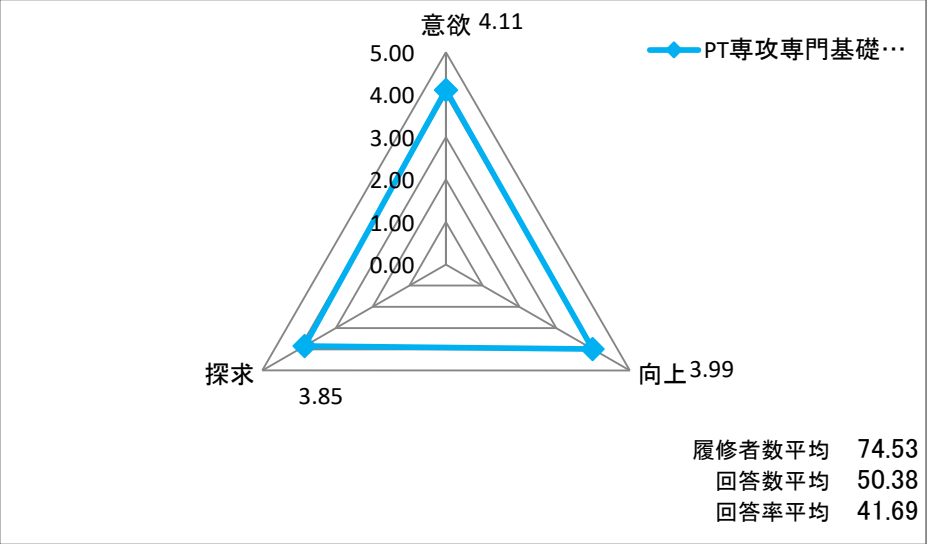
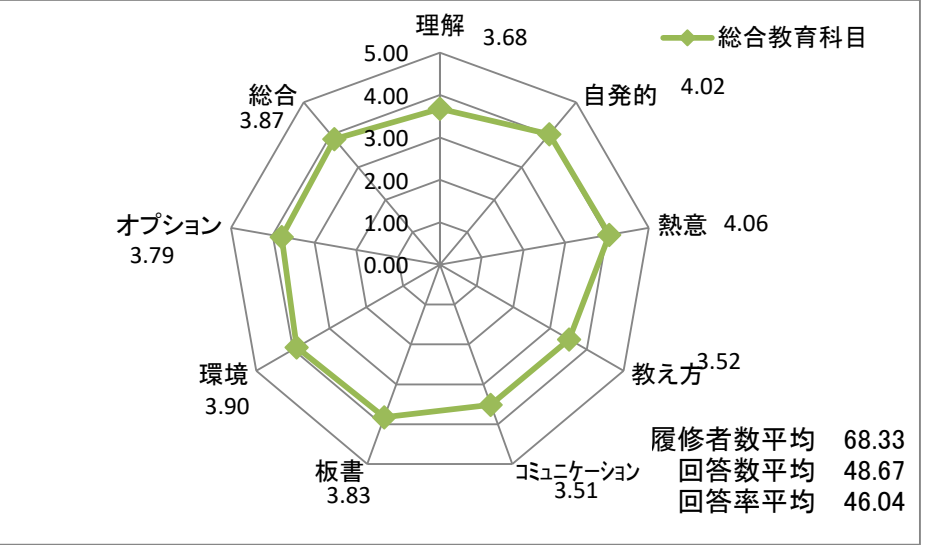
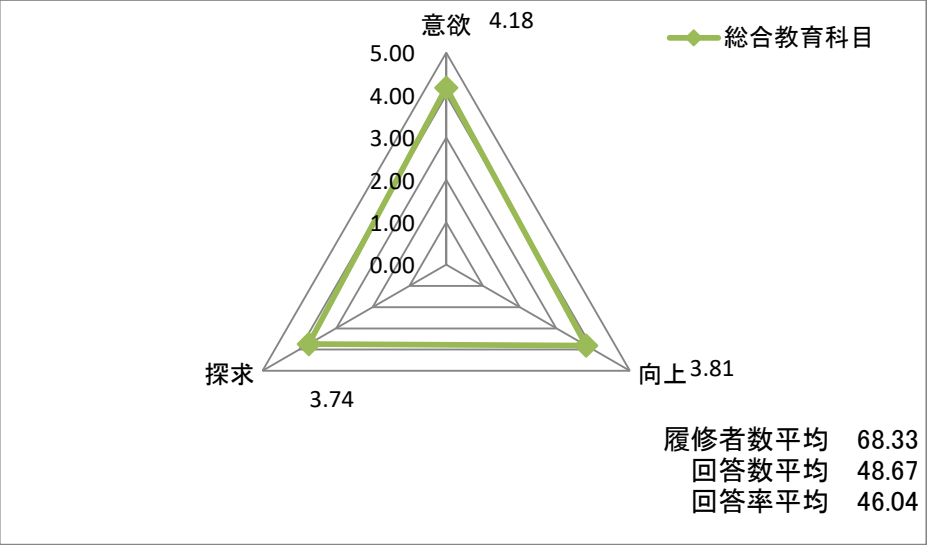
2020年度 授業改善アンケート結果(前期)

科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	68.33	48.67	46.04	4.18	3.68	3.81	4.02	3.74	4.06	3.52	3.51	3.83	3.90	3.79	3.87
理学療法学専攻専門基礎科目	74.53	50.38	41.69	4.11	3.88	3.99	4.00	3.85	4.21	3.98	3.74	3.84	3.93	3.58	4.08
理学療法学専攻専門科目	43.08	34.48	74.96	4.17	4.00	4.06	4.04	3.92	4.21	4.04	3.93	3.95	4.04	3.79	4.11
作業療法学専攻専門基礎科目	74.53	50.38	41.69	4.11	3.88	3.99	4.00	3.85	4.21	3.98	3.74	3.84	3.93	3.58	4.08
作業療法学専攻専門科目	41.68	35.70	64.24	4.18	4.07	4.10	4.06	3.97	4.20	4.14	4.04	4.06	4.11	3.77	4.21



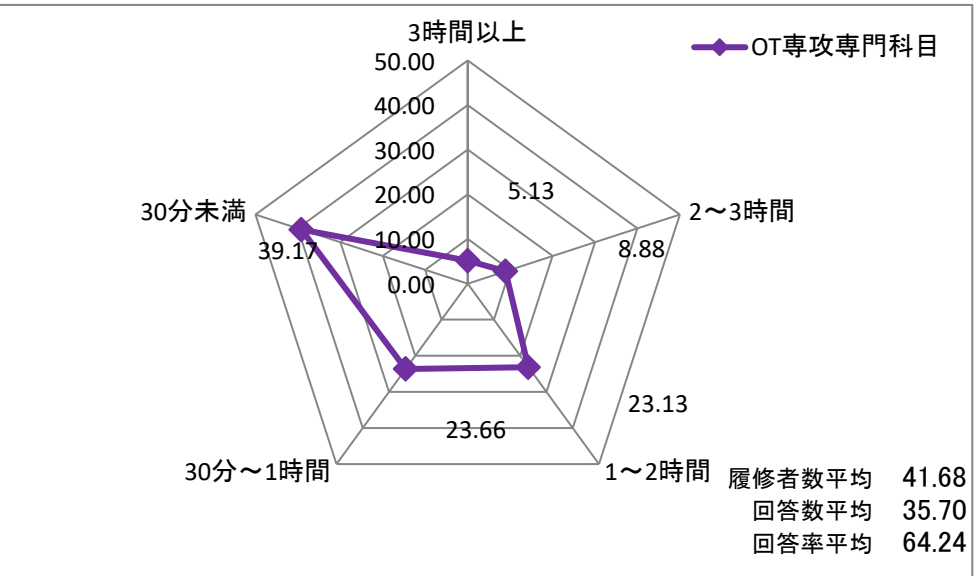
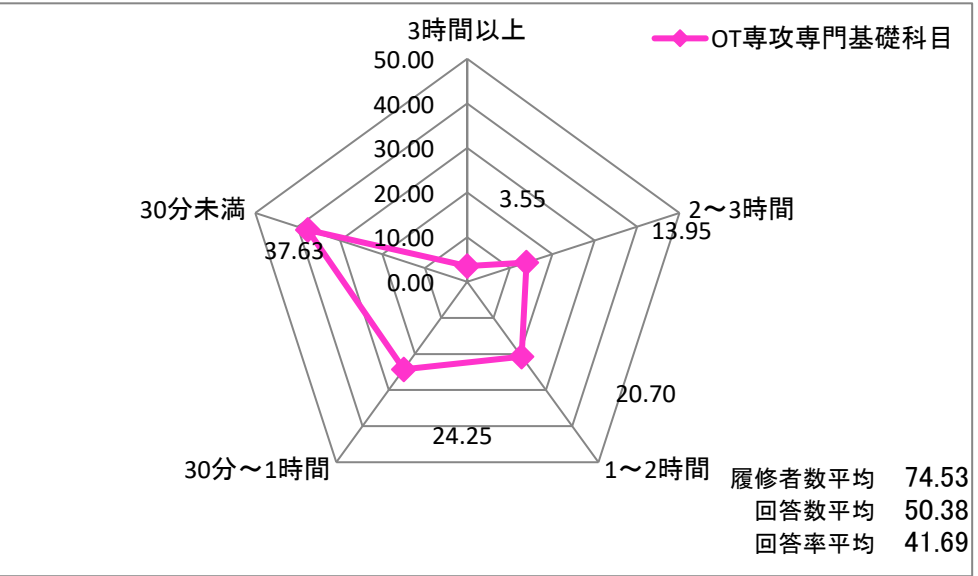
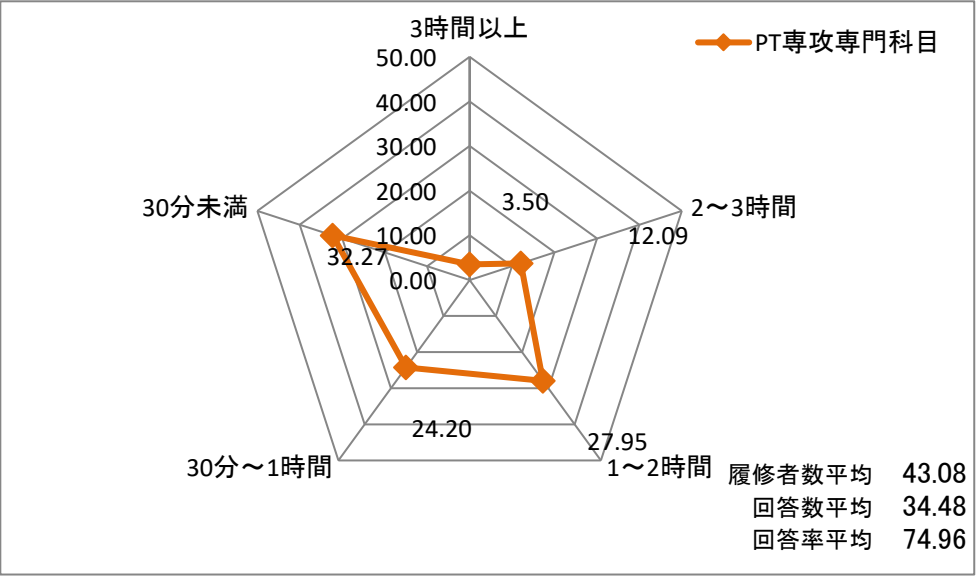
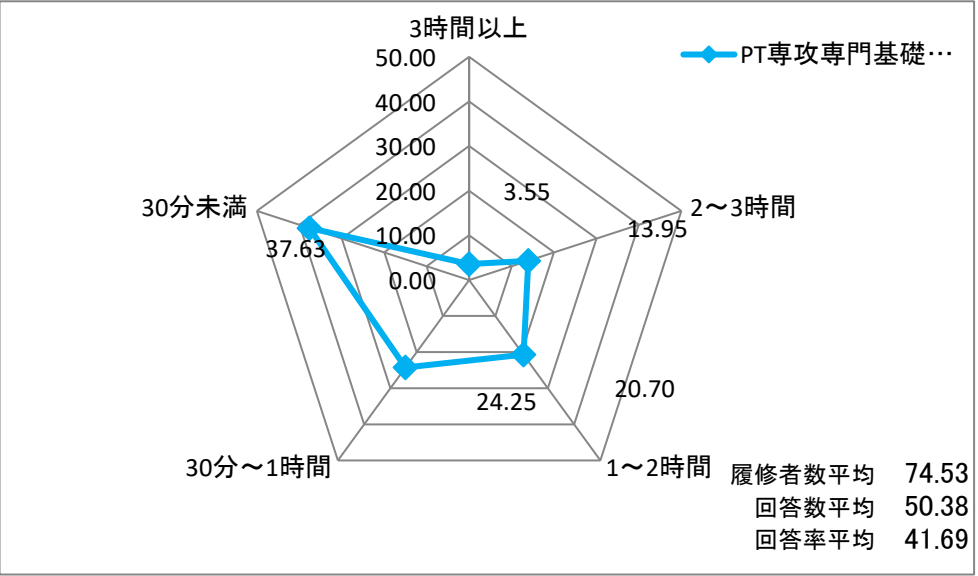
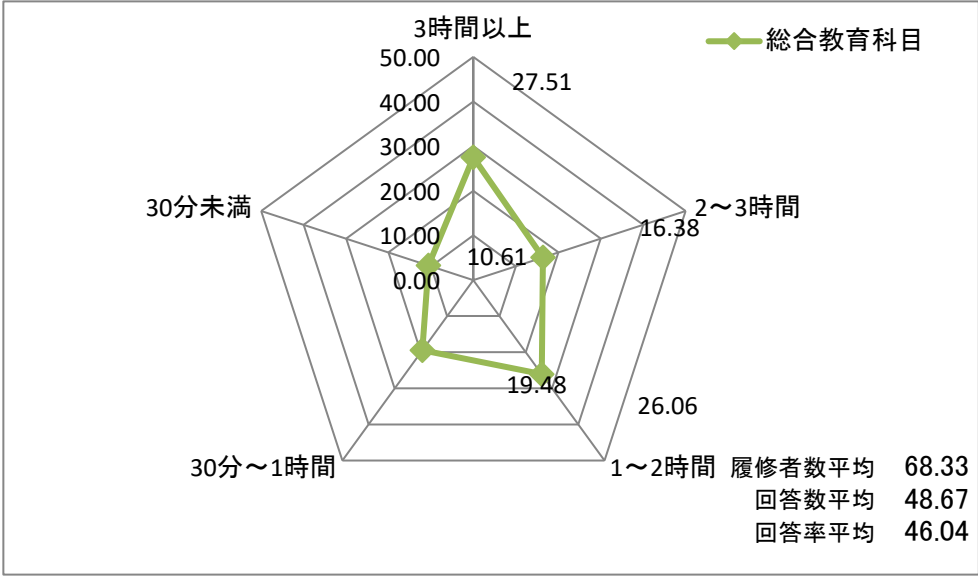
2020年度 授業改善アンケート結果(前期)
※レーダーチャート(左)は学生による学生自身の評価、レーダーチャート(右)は学生による教員の評価

科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	68.33	48.67	46.04	4.18	3.68	3.81	4.02	3.74	4.06	3.52	3.51	3.83	3.90	3.79	3.87
理学療法学専攻専門基礎科目	74.53	50.38	41.69	4.11	3.88	3.99	4.00	3.85	4.21	3.98	3.74	3.84	3.93	3.58	4.08
理学療法学専攻専門科目	43.08	34.48	74.96	4.17	4.00	4.06	4.04	3.92	4.21	4.04	3.93	3.95	4.04	3.79	4.11
作業療法学専攻専門基礎科目	74.53	50.38	41.69	4.11	3.88	3.99	4.00	3.85	4.21	3.98	3.74	3.84	3.93	3.58	4.08
作業療法学専攻専門科目	41.68	35.70	64.24	4.18	4.07	4.10	4.06	3.97	4.20	4.14	4.04	4.06	4.11	3.77	4.21



2020年度 授業改善アンケート結果(前期)

科目名	勉強時間平均(%)				
	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満
総合教育科目	27.51	16.38	26.06	19.48	10.61
理学療法学専攻専門基礎科目	3.55	13.95	20.70	24.25	37.63
理学療法学専攻専門科目	3.50	12.09	27.95	24.20	32.27
作業療法学専攻専門基礎科目	3.55	13.95	20.70	24.25	37.63
作業療法学専攻専門科目	5.13	8.88	23.13	23.66	39.17



2020 年度後期授業評価アンケートについて

1. 対象学生 学生 687 名（休学者 13 名は対象外）
2. 対象科目 実習科目を除く 149 科目
3. 使用アンケート FD ネットワークつばさ 授業評価アンケート
4. 設問内容

設問 1～14 マークシート対応

問 1

① この授業に関心があったから ②シラバスを読んで
 ② 教員に魅力があったから ④ 自分の専門に関係が深い分野だから
 ⑤ 幅広い教養を身につけるため ⑥必修だから ⑦ 単位が取り易そうだから
 ⑧ その他

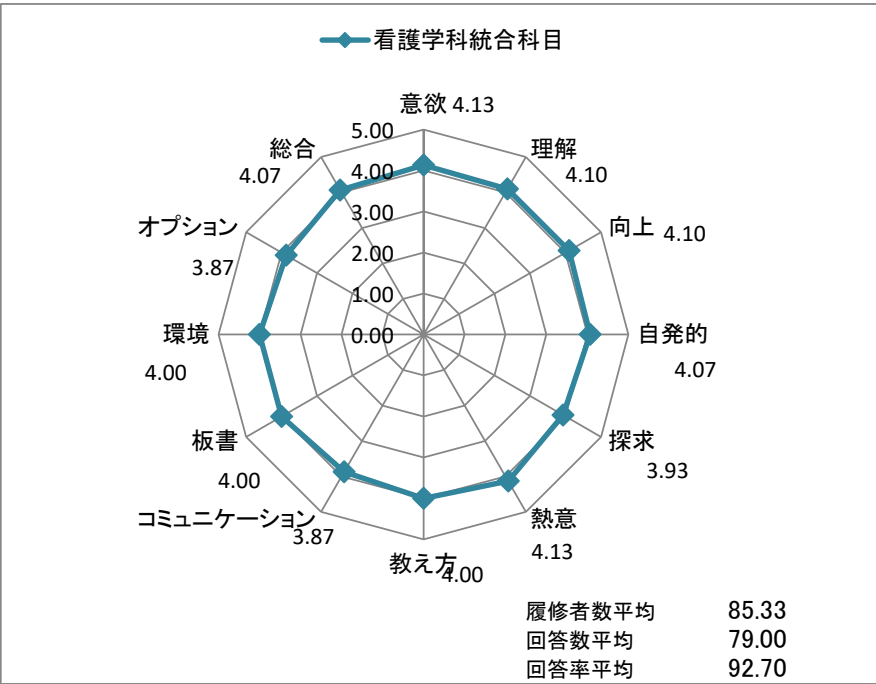
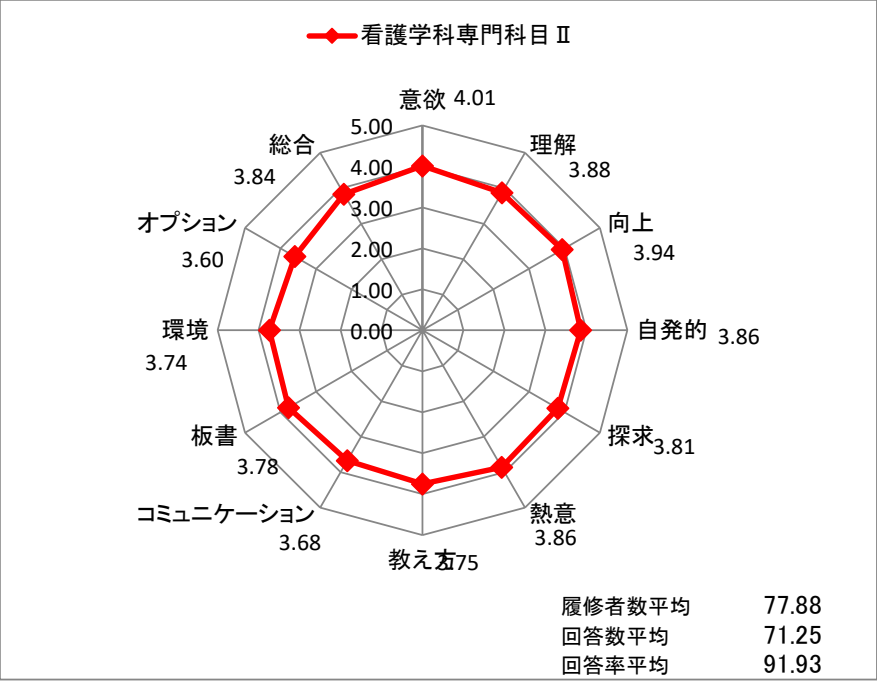
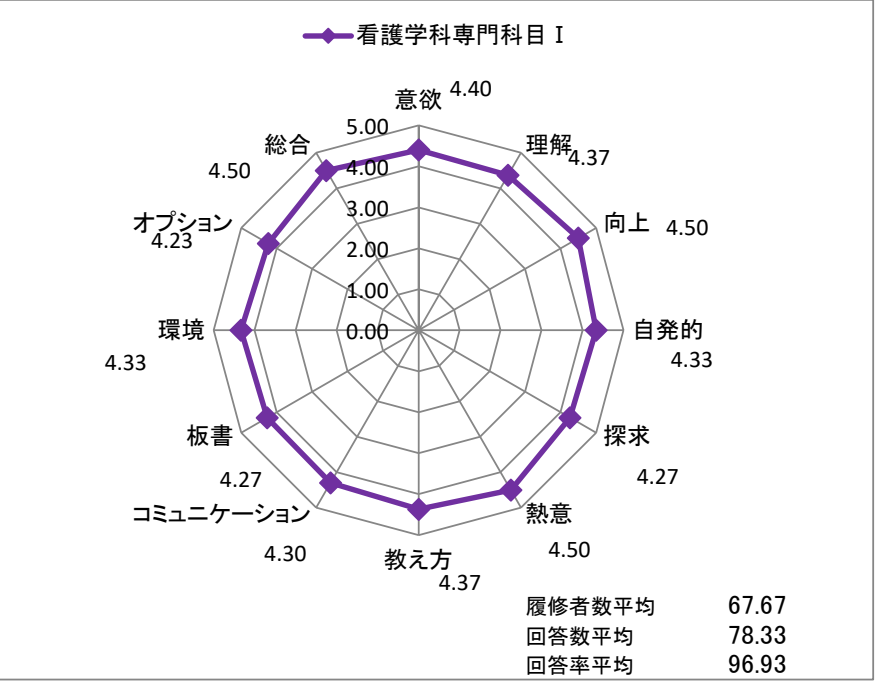
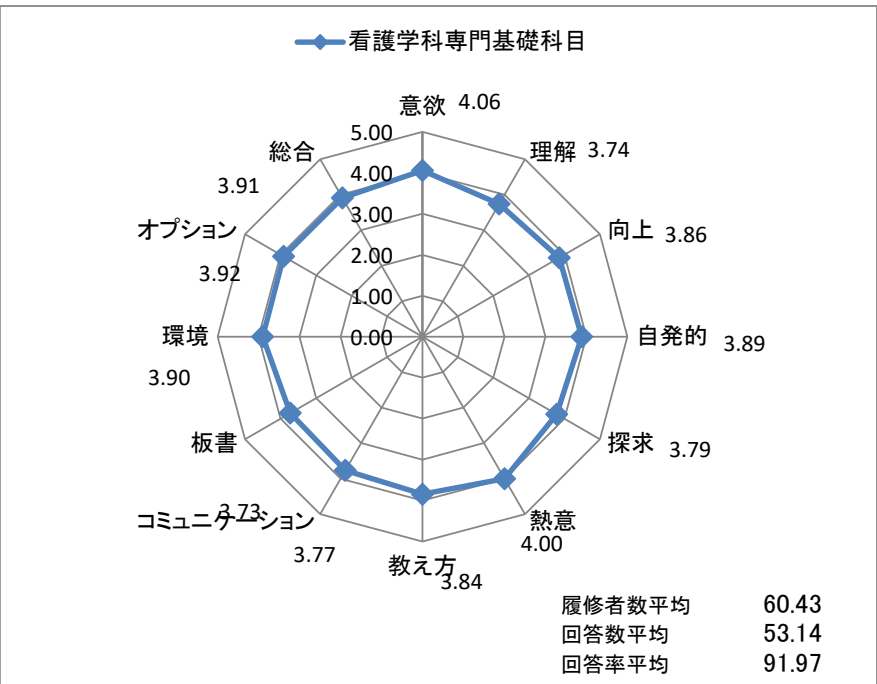
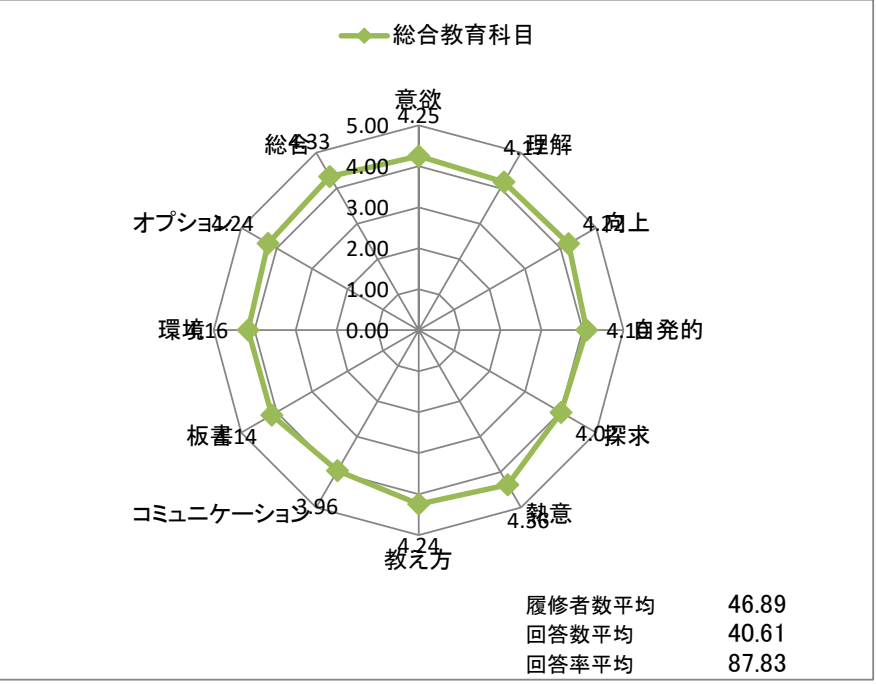
問 2 この授業を意欲的に受講しましたか
 問 3 この授業の内容を理解できましたか
 問 4 考え方、能力、知識、技術などは向上しましたか
 問 5 自ら学ぶ意欲は湧きましたか
 問 6 自ら進んで課題を発見し探求する力が身につきましたか
 問 7 教員に熱意は感じられましたか
 問 8 教え方(教授法)はわかりやすかったですか
 問 9 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションはとれていましたか
 問 10 この授業に対する 1 週間あたりの平均の勉強時間(授業時間を除く)は。
 ⑤3 時間以上 ④2～3 時間 ③1～2 時間 ②30 分～1 時間 ①30 分未満
 問 11 板書や配布物、提示資料は読みやすかったですか
 問 12 教員は教室内の勉学の環境を良好に保つよう、配慮していましたか
 問 13 オプション
 看護学科:あなたはこの授業の事前学習・事後学習に熱心にとりくみましたか
 リハ学科:この授業で使用した教室の大きさ・設備等の学習環境は適切でしたか
 問 14 この授業を総合的に判断すると良い授業だと思いますか

設問 15～17 自由記載

問 15 この授業で良かったと思う点を書いてください(自由記載)
 問 16 この授業で良くなかったと思う点、改善すべきと思う点を詳しく書いてください
 問 17 オプション(担当教員からの自由設問)
5. レーダーチャートについて
 1. 『学生が講義を受けて、学生自身が変化や影響を受けたと感じる項目』
を元に作成した三角形のレーダーチャート(設問 4～6)
 2. 『授業そのものの評価』(設問 2～3, 7～14)
を元に作成した九角形のレーダーチャート
6. 勉強時間

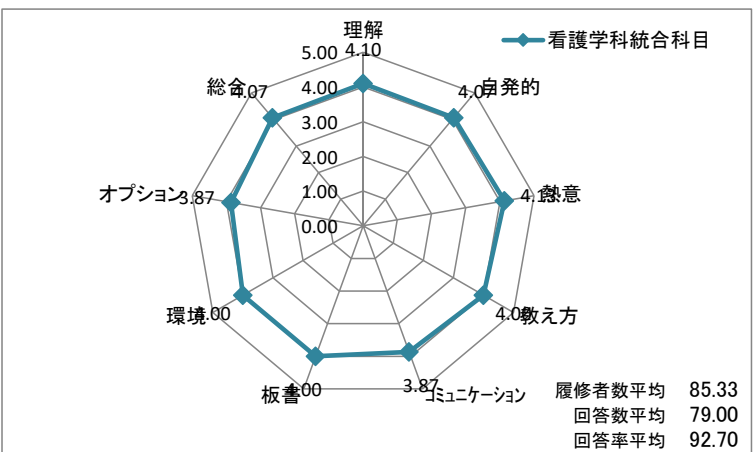
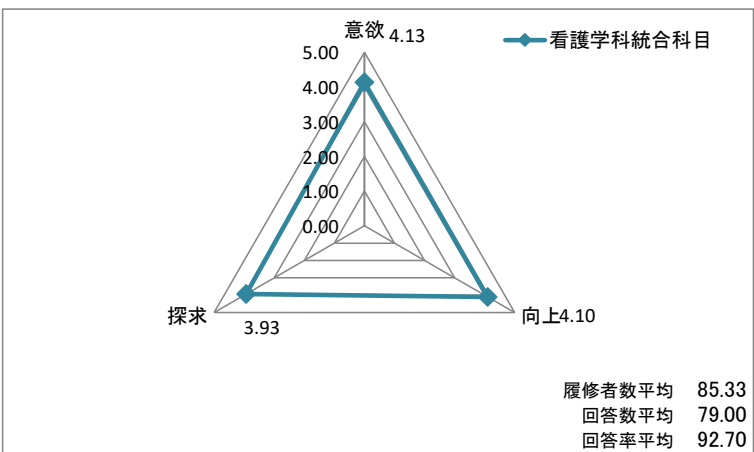
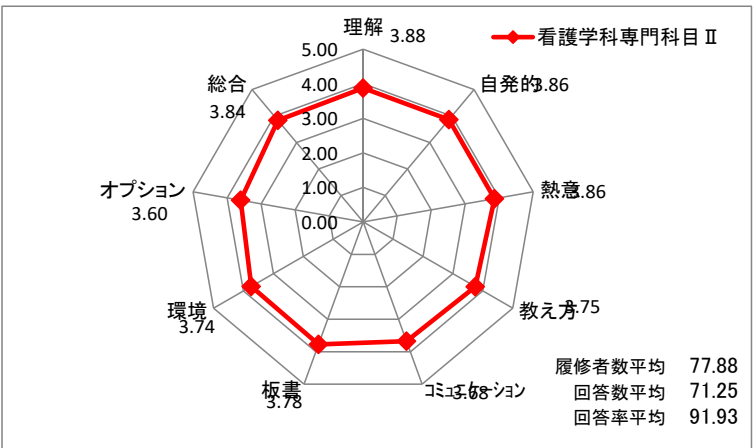
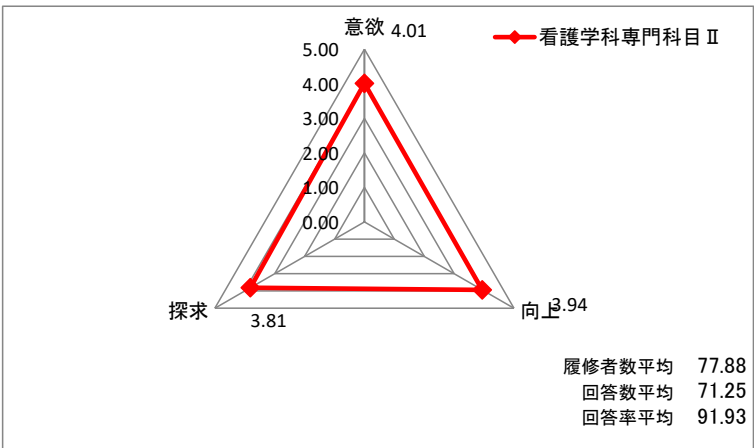
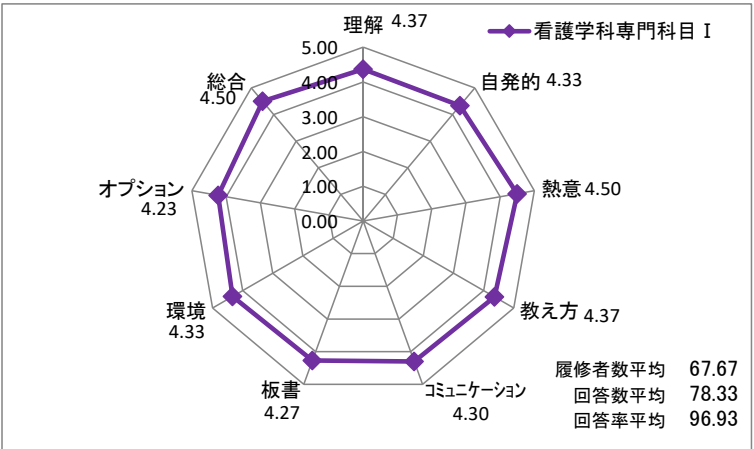
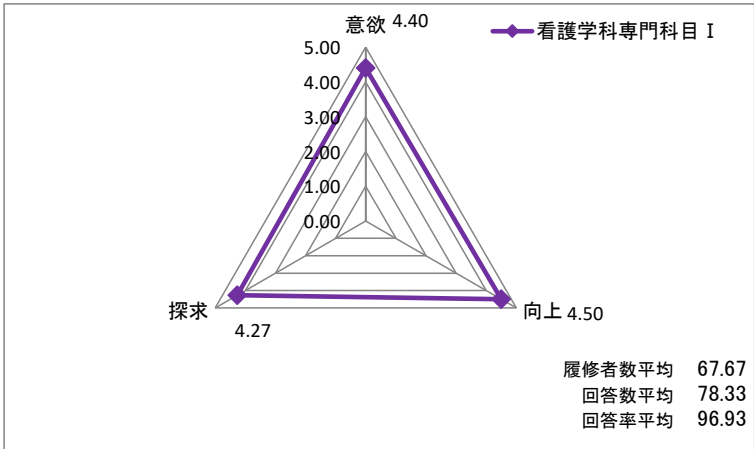
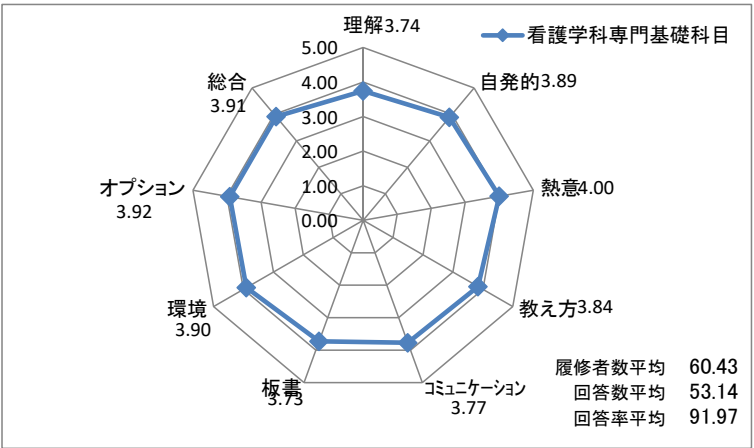
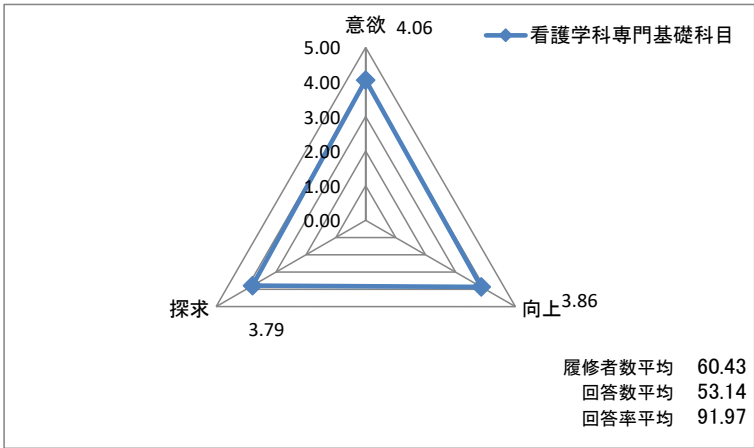
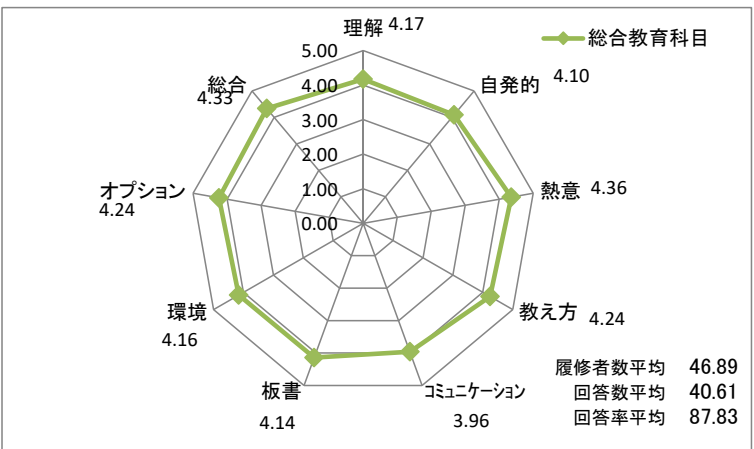
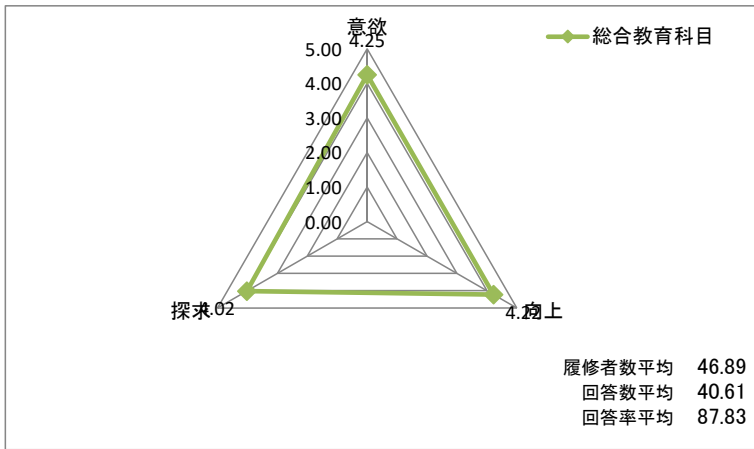
実習科目は本アンケートの対象外になっているため、臨床実習の実施時期によって、学年・学科専攻ごとに実習以外の勉強時間(＝本アンケートの調査結果)に差が現れているものと推測される。

科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	46.89	40.61	87.83	4.25	4.17	4.22	4.10	4.02	4.36	4.24	3.96	4.14	4.16	4.24	4.33
看護学科専門基礎科目	60.43	53.14	91.97	4.06	3.74	3.86	3.89	3.79	4.00	3.84	3.77	3.73	3.90	3.92	3.91
看護学科専門科目Ⅰ	67.67	78.33	96.93	4.40	4.37	4.50	4.33	4.27	4.50	4.37	4.30	4.27	4.33	4.23	4.50
看護学科専門科目Ⅱ	77.88	71.25	91.93	4.01	3.88	3.94	3.86	3.81	3.86	3.75	3.68	3.78	3.74	3.60	3.84
看護学科統合科目	85.33	79.00	92.70	4.13	4.10	4.10	4.07	3.93	4.13	4.00	3.87	4.00	4.00	3.87	4.07



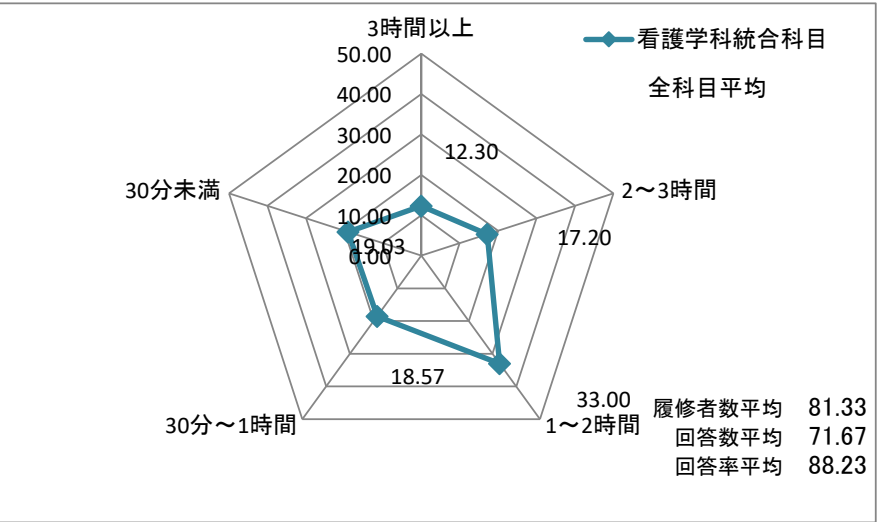
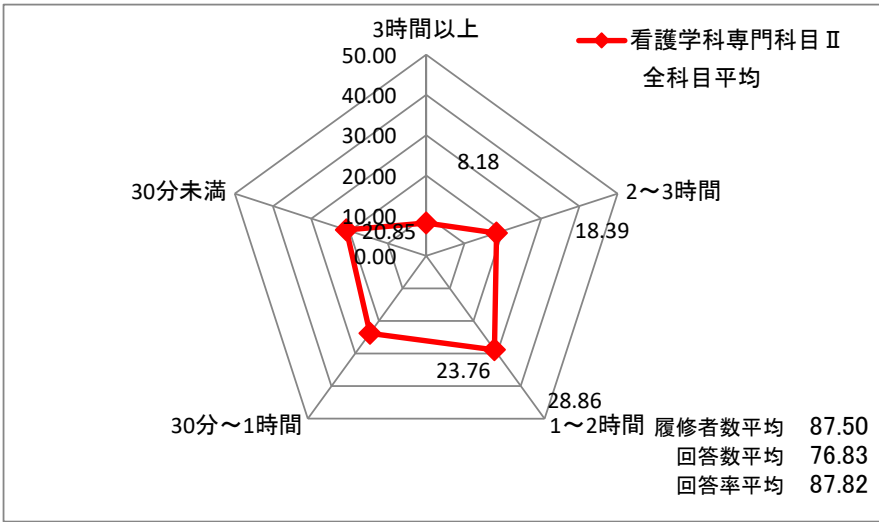
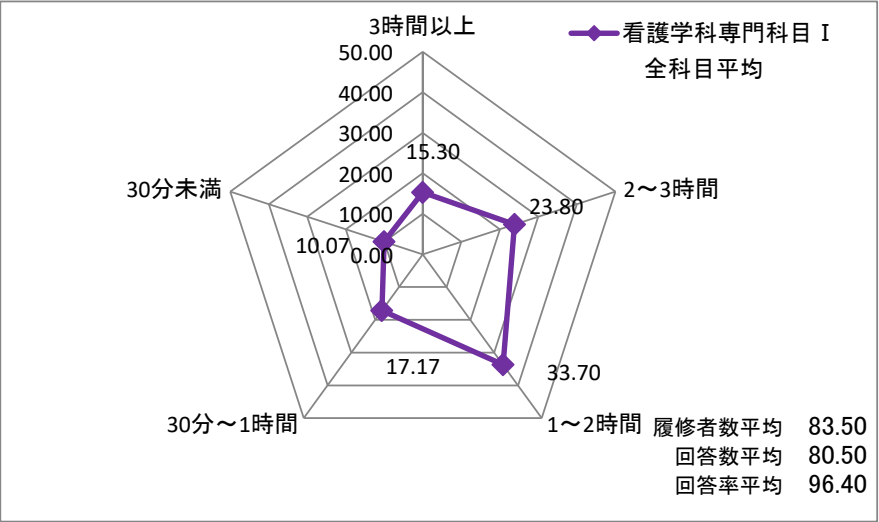
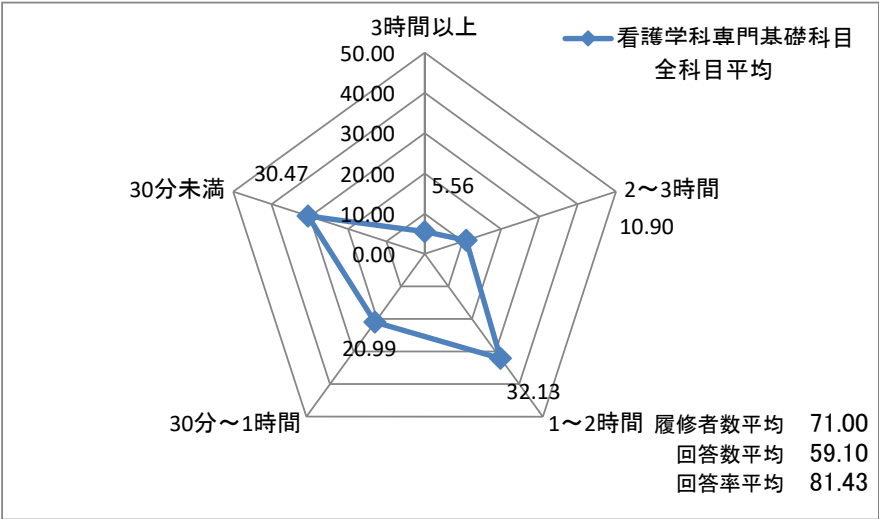
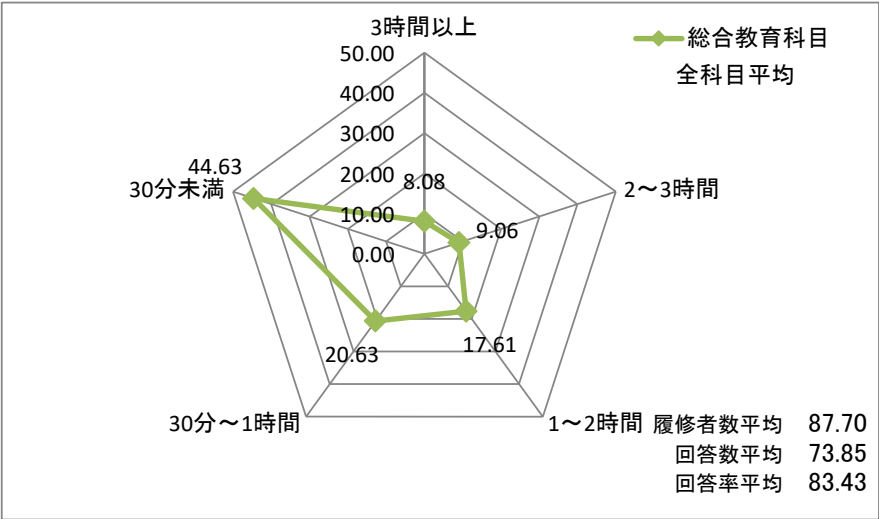
2020年度 授業改善アンケート結果(後期)
※レダーチャート(左)は学生による学生自身の評価、レダーチャート(右)は学生による教員の評価

科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	46.89	40.61	87.83	4.25	4.17	4.22	4.10	4.02	4.36	4.24	3.96	4.14	4.16	4.24	4.33
看護学科専門基礎科目	60.43	53.14	91.97	4.06	3.74	3.86	3.89	3.79	4.00	3.84	3.77	3.73	3.90	3.92	3.91
看護学科専門科目Ⅰ	67.67	78.33	96.93	4.40	4.37	4.50	4.33	4.27	4.50	4.37	4.30	4.27	4.33	4.23	4.50
看護学科専門科目Ⅱ	77.88	71.25	91.93	4.01	3.88	3.94	3.86	3.81	3.86	3.75	3.68	3.78	3.74	3.60	3.84
看護学科統合科目	85.33	79.00	92.70	4.13	4.10	4.10	4.07	3.93	4.13	4.00	3.87	4.00	4.00	3.87	4.07



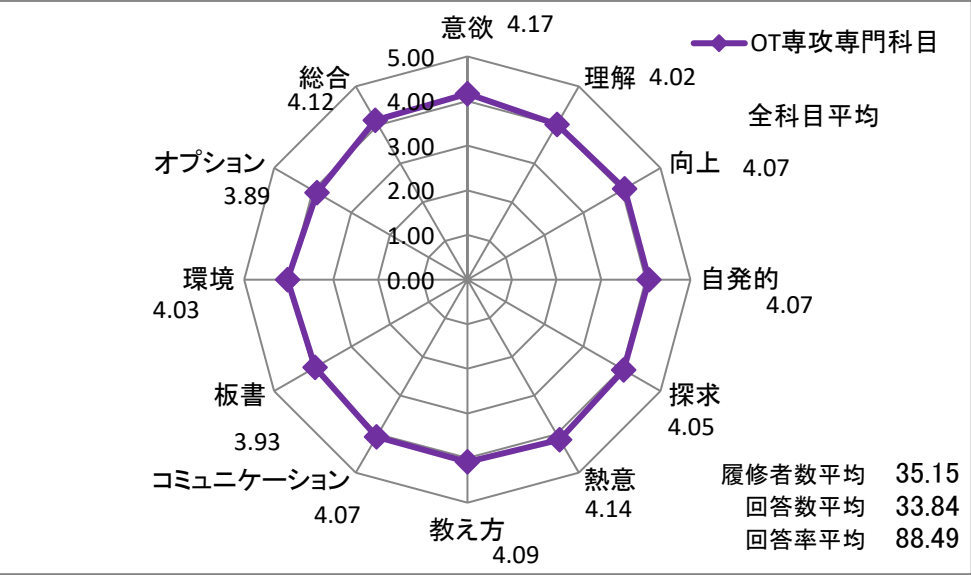
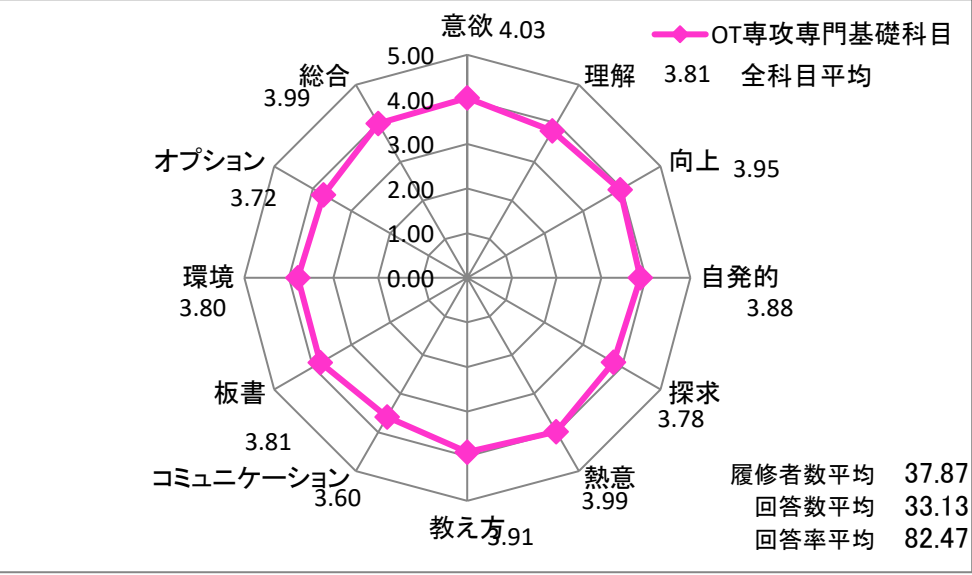
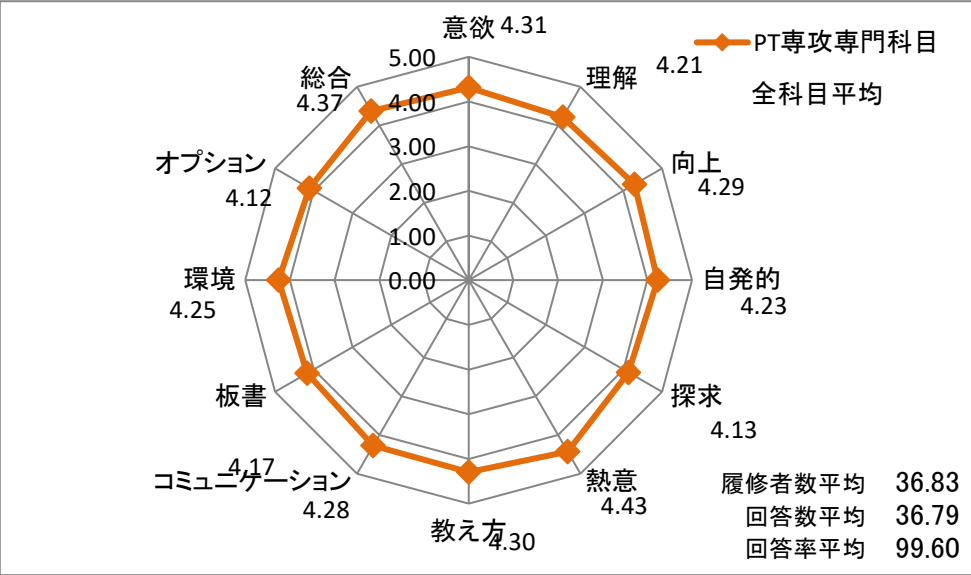
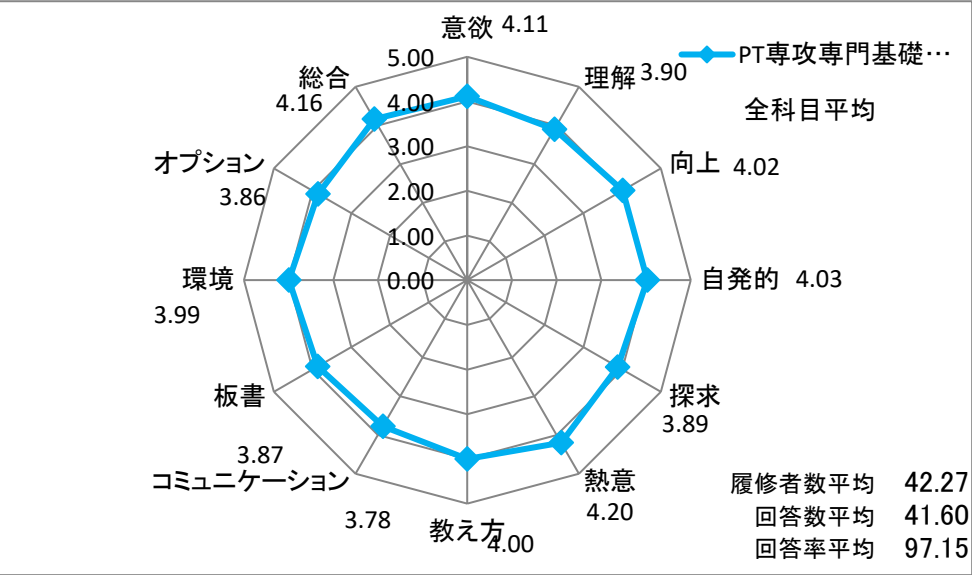
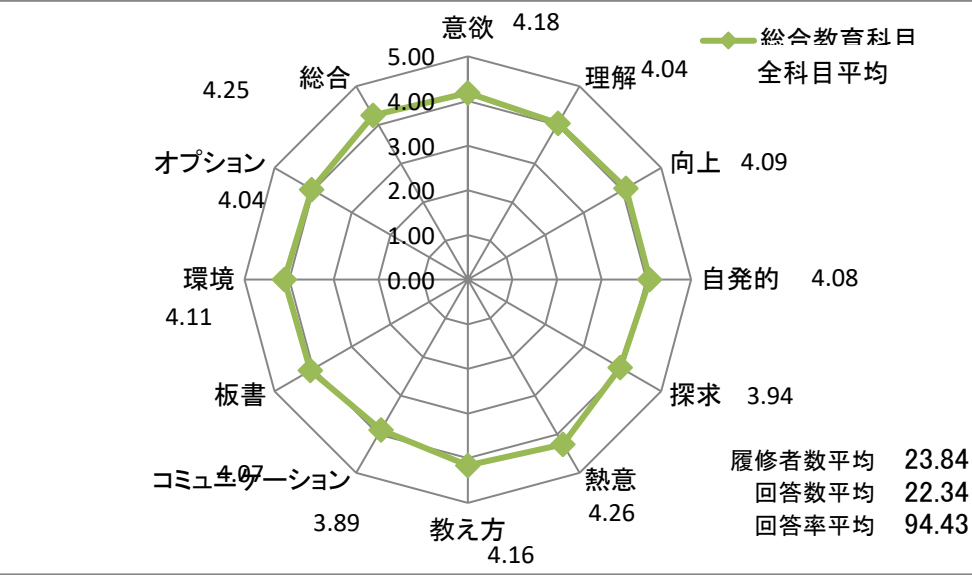
2020年度 授業改善アンケート結果(後期)

科目名	勉強時間平均(%)				
	3時間以上	2～3時間	1～2時間	0分～1時	30分未満
総合教育科目	8.08	9.06	17.61	20.63	44.63
看護学科専門基礎科目	5.56	10.90	32.13	20.99	30.47
看護学科専門科目Ⅰ	15.30	23.80	33.70	17.17	10.07
看護学科専門科目Ⅱ	8.18	18.39	28.86	23.76	20.85
看護学科統合科目	12.30	17.20	33.00	18.57	19.03



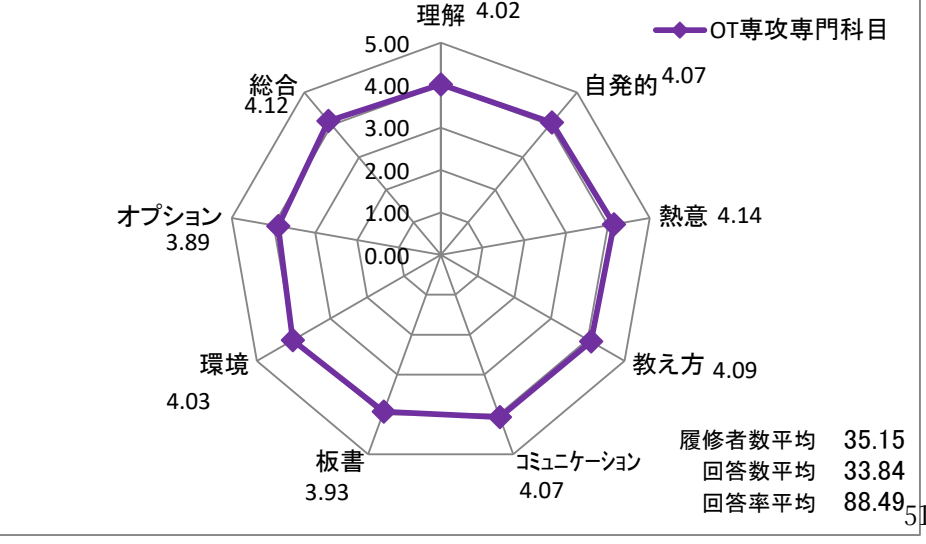
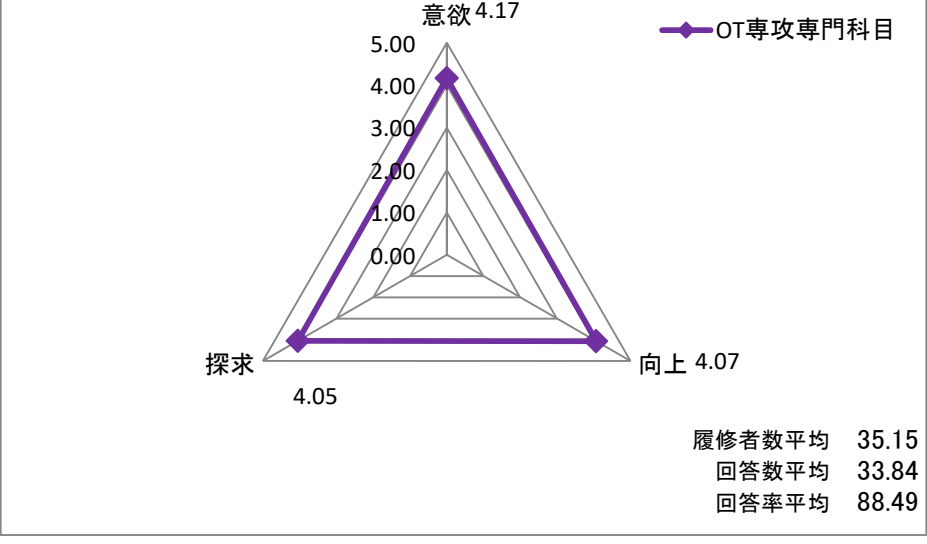
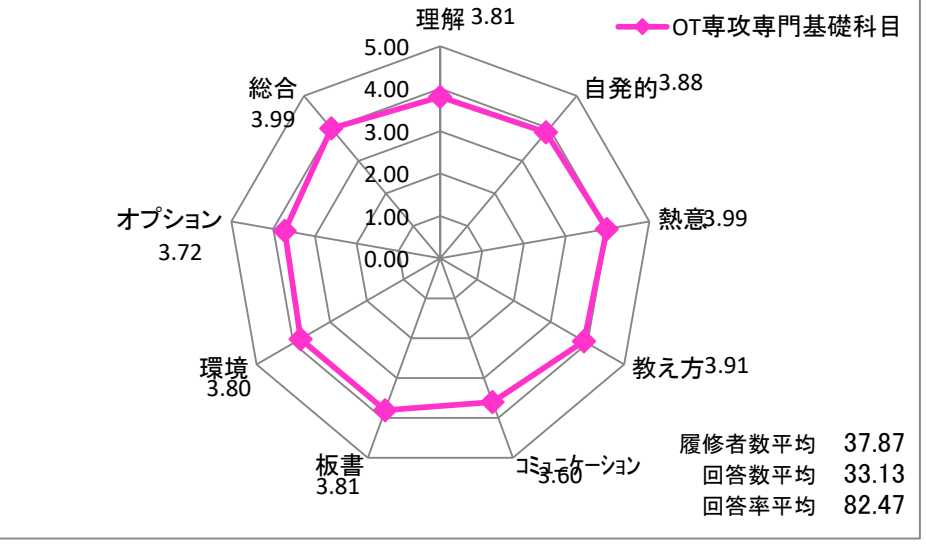
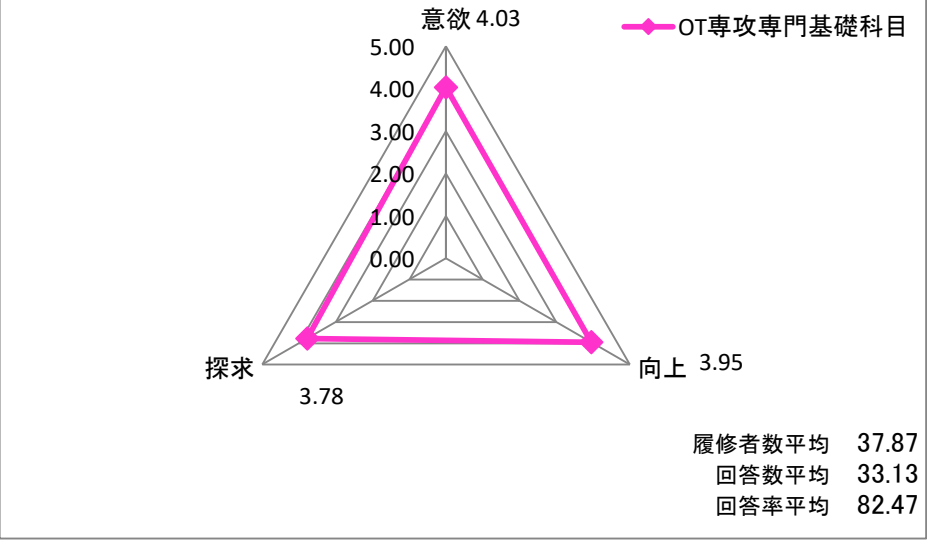
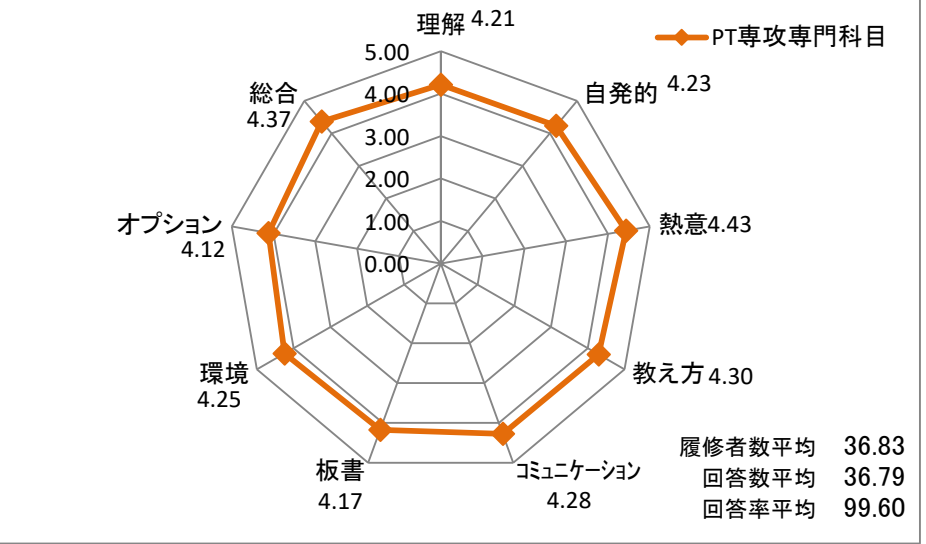
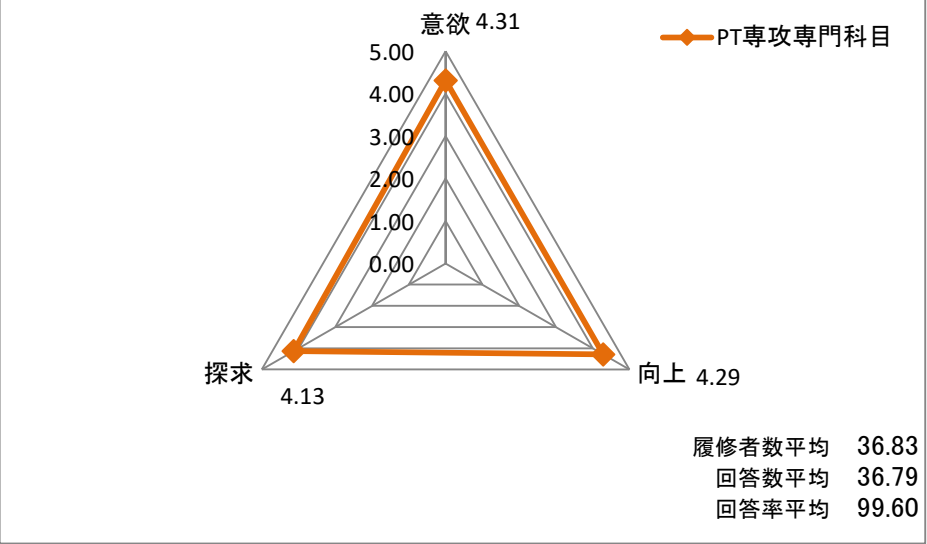
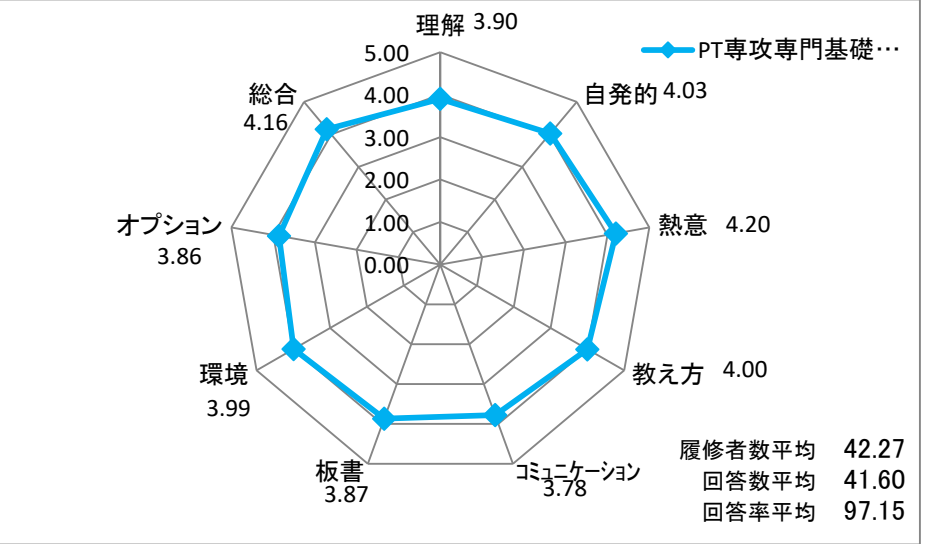
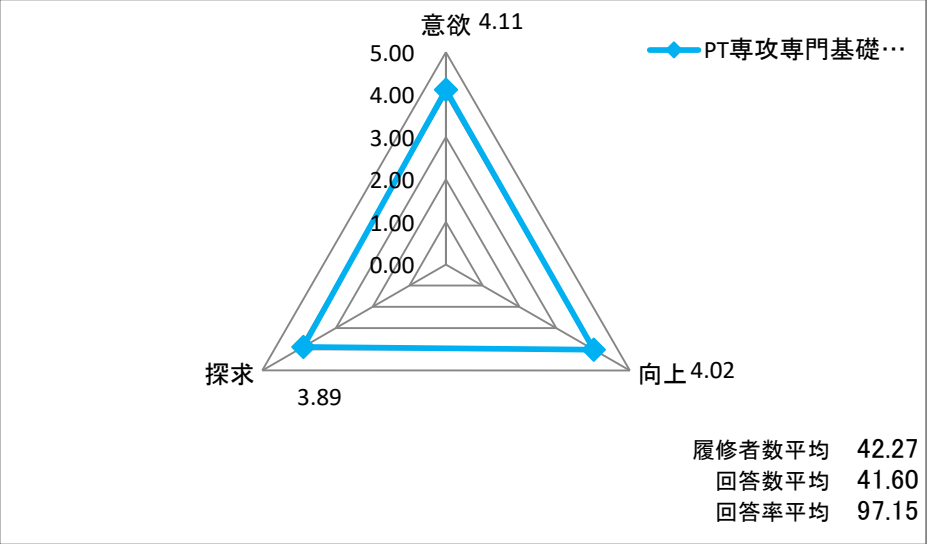
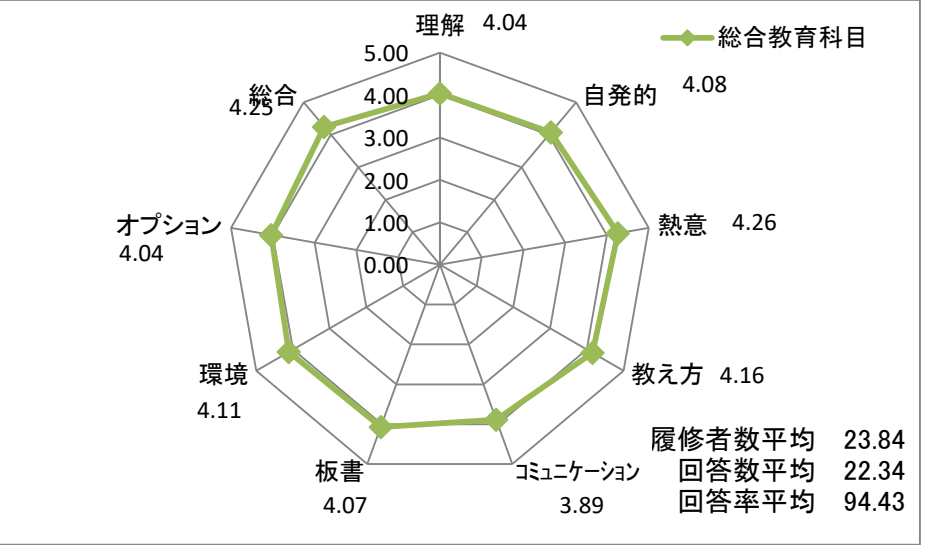
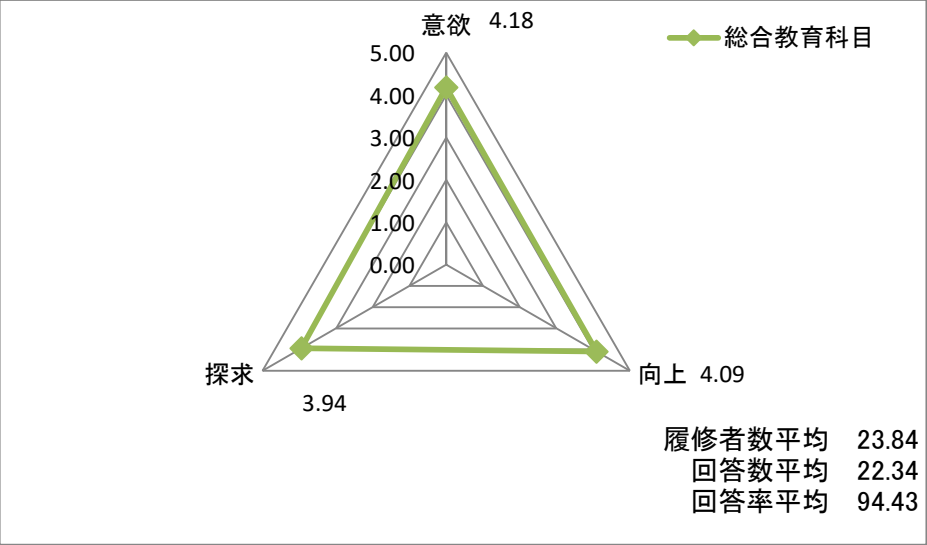
2020年度 授業改善アンケート結果(後期)

科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	23.84	22.34	94.43	4.18	4.04	4.09	4.08	3.94	4.26	4.16	3.89	4.07	4.11	4.04	4.25
理学療法学専攻専門基礎科目	42.27	41.60	97.15	4.11	3.90	4.02	4.03	3.89	4.20	4.00	3.78	3.87	3.99	3.86	4.16
理学療法学専攻専門科目	36.83	36.79	99.60	4.31	4.21	4.29	4.23	4.13	4.43	4.30	4.28	4.17	4.25	4.12	4.37
作業療法学専攻専門基礎科目	37.87	33.13	82.47	4.03	3.81	3.95	3.88	3.78	3.99	3.91	3.60	3.81	3.80	3.72	3.99
作業療法学専攻専門科目	35.15	33.84	88.49	4.17	4.02	4.07	4.07	4.05	4.14	4.09	4.07	3.93	4.03	3.89	4.12



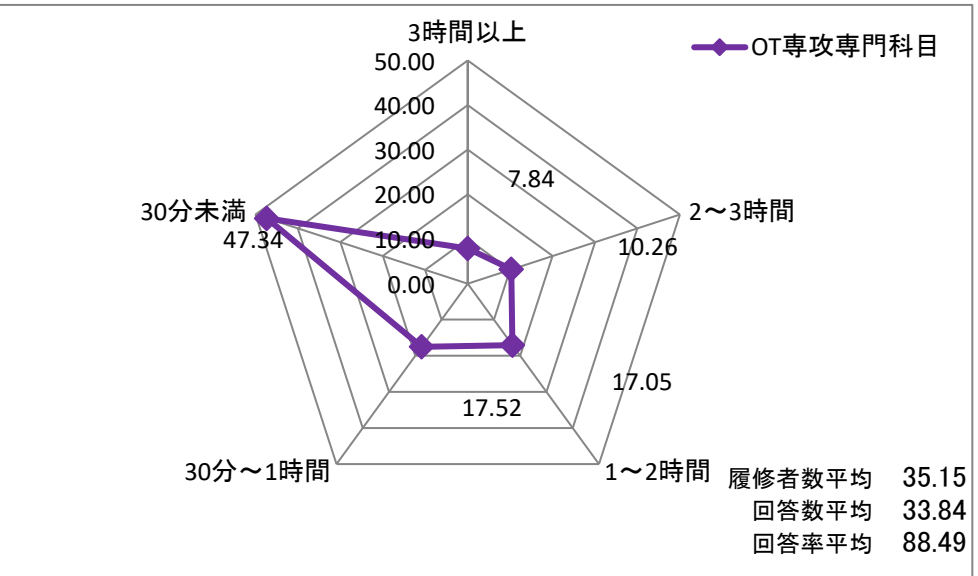
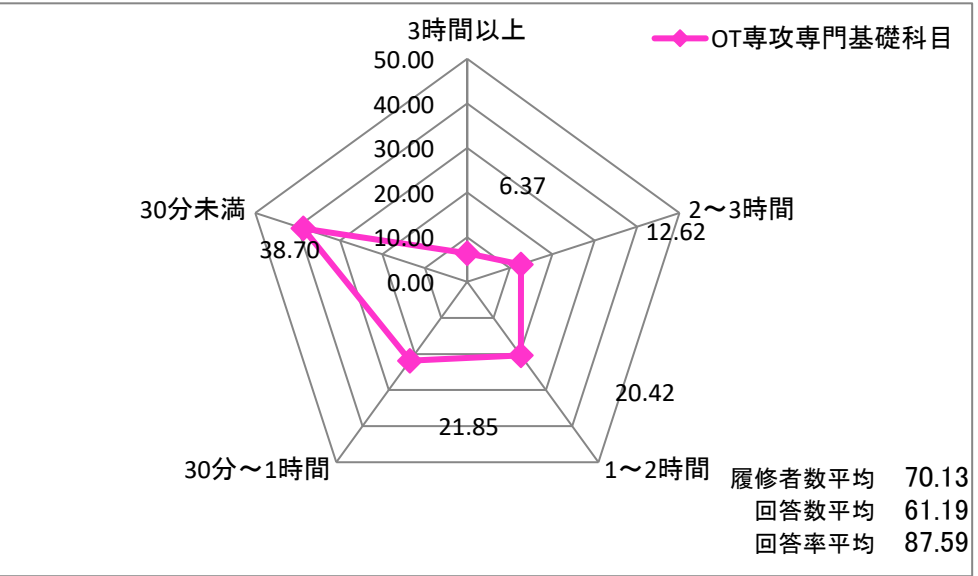
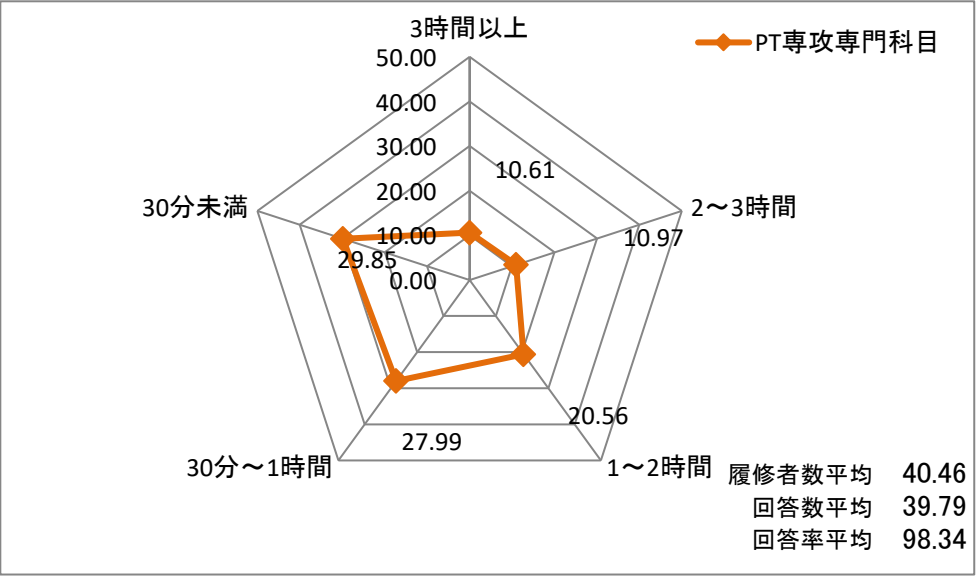
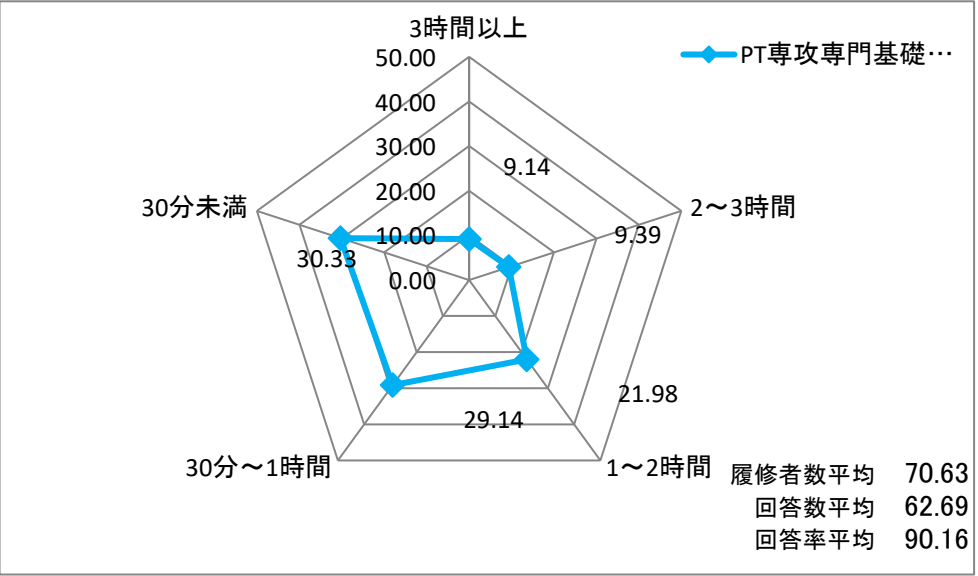
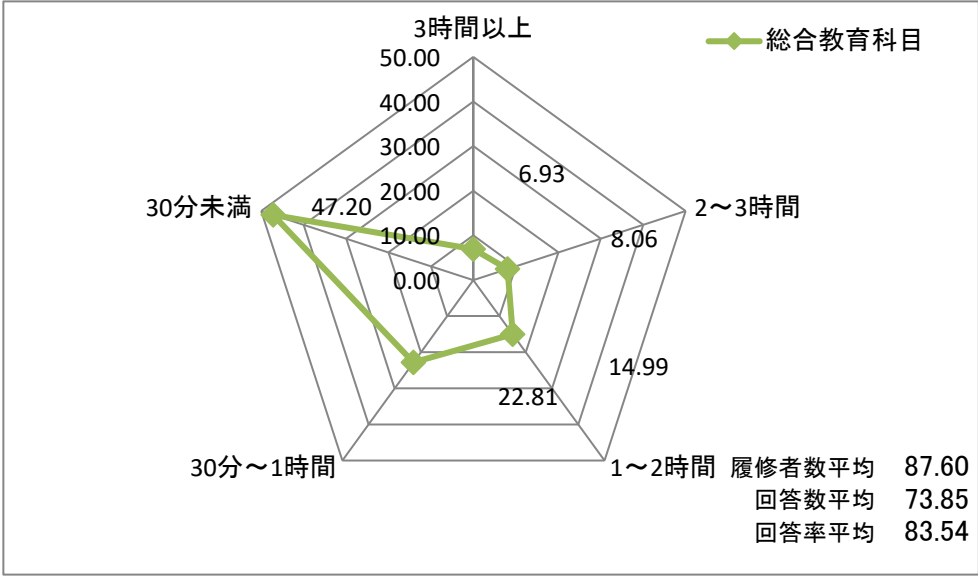
2020年度 授業改善アンケート結果(後期)
※レーダーチャート(左)は学生による学生自身の評価、レーダーチャート(右)は学生による教員の評価

科目名	平均														
	履修者数	回答数	回答率	意欲	理解	向上	自発的	探求	熱意	教え方	コミュニケーション	板書	環境	オプション	総合
総合教育科目	23.84	22.34	94.43	4.18	4.04	4.09	4.08	3.94	4.26	4.16	3.89	4.07	4.11	4.04	4.25
理学療法学専攻専門基礎科目	42.27	41.60	97.15	4.11	3.90	4.02	4.03	3.89	4.20	4.00	3.78	3.87	3.99	3.86	4.16
理学療法学専攻専門科目	36.83	36.79	99.60	4.31	4.21	4.29	4.23	4.13	4.43	4.30	4.28	4.17	4.25	4.12	4.37
作業療法学専攻専門基礎科目	37.87	33.13	82.47	4.03	3.81	3.95	3.88	3.78	3.99	3.91	3.60	3.81	3.80	3.72	3.99
作業療法学専攻専門科目	35.15	33.84	88.49	4.17	4.02	4.07	4.07	4.05	4.14	4.09	4.07	3.93	4.03	3.89	4.12



2020年度 授業改善アンケート結果(後期)

科目名	勉強時間平均(%)				
	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分未満
総合教育科目	6.93	8.06	14.99	22.81	47.20
理学療法学専攻専門基礎科目	9.14	9.39	21.98	29.14	30.33
理学療法学専攻専門科目	10.61	10.97	20.56	27.99	29.85
作業療法学専攻専門基礎科目	6.37	12.62	20.42	21.85	38.70
作業療法学専攻専門科目	7.84	10.26	17.05	17.52	47.34



IV. 大学部会、教育部会、保育部会 2020年度 研修会プログラム
【大学部会】

月	内 容	発 表 者
4.5 月	ふれあいグループが目指すもの 新任教員及びその他の教員に対する教育方法 「看護学科及びリハビリテーション学科の教育方法」 ・学生を育てるための取り組み ・授業評価の結果を生かした授業の実践 ・チューター制度/担任制度/オフィスアワー ・臨地実習・臨床実習 実習指導 「就職状況と今年度の対策について」 ・就職指導ガイダンスの徹底、・インターンシップの充実、・先輩との連携 【2020年度FD年間計画項目】 ・2019年度 私立大学等改革総合支援事業の結果と反省 ・2020年度 同事業採択に向けた改善 【学生休業期間中の対応】 ・manabaの取り扱い操作及び課題管理、情報発信による学生の学習支援について	大屋敷 英志枝 川本、鶴見 青木 小林
	F D 研 修 「国家試験対策」 国家試験結果と今年度の対策について （国試100%に向けて） ① 国家試験対策の指導方法 ② 成績不良者への指導方法	川本、鶴見
	S D 研 修 「学生募集」 本学が望む入学生を確保するための学生募集 ① 2019年度の募集活動分析 ② 2020年度の募集活動方針	成田
6 月	2020年度専門部会別研修会（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）	
7.8 月	ふれあいグループが目指すもの 科学研究費申請準備スケジュールの確認 教育現場における「新型コロナ対策」学生の健康管理と感染予防	大屋敷 英志枝 寺本 望月
	F D 研 修 《2021年度入試の展望》 入試改革における変更点と学力の三要素の評価～今年入試は大きく変わる～ 《授業研究》 『2019年度授業評価アンケートの前年比UP教員による講義の工夫や改善点』 《授業研究》 『授業支援システムmanabaを使用した教育効果の検証』 《国家試験対策》 ① 現在までの国試対策状況報告 ② 『専門基礎科目の苦手分野と学習ポイント』 《就職支援》 『就職状況と今年度の対策』～学生へのアドバイス方法～	成田 高島、小林 菊池、森尾 島田、坂上 柴田 川本、鶴見

	S D 研 修	< 2021年度学生募集の展望 > コロナによる進路指導崩壊にどう立ち向かうか～新たな進路指導の動き～ < 補助金獲得 > 私立大学等総合改革支援事業対策実務研修『昨年度未達成項目と10月提出までの行動計画』 < 教務学生支援 > 『授業支援システムmanabaの事務対応』 < 大学の質向上 > 『2018-2019自己点検・評価+認証評価受審に向けた取組』	田中 伊藤、益子、小菅、酒井 岩崎 宮本、村上、安室
9.10月		ふれあいグループが目指すもの < 感染症対策研修 > 湘南医療大学の感染症対策について ・（通常時）大学で感染症が出たときの対応 ・新型コロナ対策についての現状報告（予防・対策）	大屋敷 英志枝 鯨井、江蔵 川本、坂上、光金
	F D 研 修	< 研究不正防止 > 研究活動における研究不正行為防止に関する研修 研究活動の不正防止について、研究費使用の不正防止について < 科研費獲得 > 2020年度 科学研究費採択者から講演、研究内容や研究手法、科研費獲得の工夫等 < 授業研究 > 後期開講のチーム医療論の概要と講義の進め方について < 国家試験対策 > ① 現在までの国試対策状況報告、② 『manaba等を活用した遠隔での国家試験対策』 < 就職支援 > 『就職状況と今年度の対策』	牛田 宮本 島田、小林、田島 櫻井 小林、中村、鶴見 川本、鶴見
	S D 研 修	< 2021年度薬学部学生募集について > 優秀な新入生獲得に繋げる学生募集 < 補助金獲得 > 2020年度私立大学等総合改革支援事業獲得 タイプ1: 『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開評価項目への対応について < 業務改善 > 事務部の業務改善、超勤削減のための工夫と取り組み	安室 宮本、村上、成田 GW
11.12月		ふれあいグループが目指すもの ハラスメント防止について 利益相反管理規程とデータ管理規程について 本学の求める学生を獲得するための方策～出前授業（高大連携）の報告～	大屋敷 英志枝 人事部 藤本 山崎、森尾
	F D 研 修	2020年度の入学前教育、初年次教育の実施状況報告 授業評価における各学科の取組み状況報告 就職活動支援 国家試験対策	羽生、櫻井 櫻井、田島 川本、森内 斉藤、光金
	S D 研 修	総合改革事業に関する報告と今後の課題・IR機能の重要性と取組 学生サービス向上に向けた支援体制 薬学部開設に向けた業務改善	小林、石岡 石岡、藤本 酒井
2月		第17回ふれあいグループ医療教育研究会（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）	
3月		ふれあいグループが目指すもの	大屋敷 英志枝

	F D S D 共 通 研 修	≪自己点検評価に関する研修≫認証評価に関する研修 ≪入試広報≫本学の求める学生を獲得するための方策 次年度に向けた募集活動	藤本 成田、久間木
	F D 研 修	≪カリキュラムの再検討会≫新カリキュラム実施状況についての検証と次年度に向けて ≪国家試験対策≫2020年度各国家試験対策に関する振り返りと次年度に向けて ≪教育の質的向上への取組≫コロナ禍における講義について（2020年の講義を振り返って） ≪キャリア支援・臨地実習指導方法に関する講習≫臨地実習・臨床実習の指導について	大澤、櫻井、久保田 小林、坂上、鶴見 望月、中尾、光金 羽生、大森、鈴木
	S D 研 修	≪大学のガバナンス≫大学の社会的責任大学の運営管理組織学長副学長の役割とリーダーシップ ≪業務改善≫2021年度に実施するSD研修の方針 2021年度各部門（総務・教務・学生支援・入試）の年間PDC活動の作成、2020年度の分析（C）、2021年度の目標（P） 行動内容（D）	前川 前川

【教育部会】

	内容		発表者
4.5 月 4.5 月 続き	ふれあいグループが目指すもの		大屋敷 芙志枝
	看護校	令和2年度学生募集状況総括と今年度の取り組みについて 新カリキュラム構築に向けて・育てたい学生像・ 令和元年度国家試験対策を踏まえた令和2年度対策	町田 秋田 増田
	リハ校	2020年度学校運営について 2020年度各学科学生募集の方針 各学科国家試験総括 模擬授業	加藤 米本、村中、岩淵 古谷、神保、岩淵 清川、扇谷
	下田校	学校の魅力づくり研修 2021年度募集に向けて 学生への就職アドバイス 模擬授業	柳 江口 柳 吉水
	医ピ校	留学生の管理指導について 2021年度生募集に向けての広報戦略 2019年度学務総括および2020年度事業計画重点目標の確認 学生情報の効率的な管理について	高橋 木村 坂田 杉山、遠藤
6 月	2020年度専門部会別研修会（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）		
7.8 月	ふれあいグループが目指すもの		大屋敷 芙志枝
	看護校	学生の出欠席管理と学生教員間の橋渡しに関して カリキュラム改正に伴う専門領域含めたカリキュラム検討 新型コロナウイルス感染対策	矢崎 秋田 増田

	リハ校	「当校のコロナ対策」①-基調報告（ガイドラインの背景） 「当校のコロナ対策」②-意見交換 「コロナ対策各部門報告-中間報告と今後の課題-」 模擬授業	感染委員会 感染委員会 古谷、高橋、岩淵、 藤田 山崎、山根
	下田校	コロナ対策①現状報告 コロナ対策②4月から5月間の授業運営について コロナ対策③第2波に備えて（授業・学生・非常勤講師・教職員） 模擬授業	柳 築山 築山 高橋
	医ビ校	新型コロナ感染者発生時の対応について 2021年度生学生募集（コロナ収束後における広報戦略） 新型コロナ第2波対策<その1> 学生情報の効率的な管理について 新型コロナ第2波対策<その2> オンライン授業見学後の情報交換	朝倉 今村 本間、遠藤 杉山
9.10月	ふれあいグループが目指すもの		大屋敷 芙志枝
	看護校	学校の魅力強化 感染症対策 多職種連携教育に向けて 模擬授業	小川 木村 増田 監物
	リハ校	「当校のコロナ対策」-中間報告と今後の方針- 各科のICTを活用した学生指導状況 模擬授業	感染委員会 古谷、高橋、岩淵 松井、杉山
	下田校	学校の魅力づくり研修 コロナ対策 現状報告 教授法・授業展開 模擬授業	柳 柳 高橋、吉水 築山
	医ビ校	「感染症対策」の実習と検証 「高校教員向け進路指導相談会」～コロナ禍でのオンラインにおける授業・進路相談の広報的観点からの振り返りと今後の対策～ ICTを活用した学生との効率的なコミュニケーション～コロナ第2波に向けた学生指導対策～ 学生の性格適性とタイプ別指導方法（休退学防止策）	朝倉 今村 小堀、川村、高橋 坂田
11.12月	ふれあいグループが目指すもの		大屋敷 芙志枝
	看護校	人材育成 各学年成績不振者への支援 フォーカスチャータリング導入に向けて 実習の進め方（内容と方法）	宮内 内田、田中、内記 石井 増田
	リハ校	就職支援指導について コロナ対策強化週間結果報告 国家試験対策現状報告 模擬授業	藤原 合田 櫻井、神保（匡）、 岩淵 佐々木、村仲
	下田校	就職状況について 国家試験対策について ループリックを用いた実習評価 模擬授業	柳 柳 竹村 進士

	医 び 校	留学生の出願状況 — 減少理由とその対策 — オンラインを活用した広報 — 冬休み期間中の広報戦略を考える — MANABAの全体像とポジショニング MANABAのオペレーション実習	高橋 今村 遠藤 遠藤
2月	第17回ふれあいグループ医療教育研究会（（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）		
1.3月	ふれあいグループが目指すもの		大屋敷 英志枝
	看 護 校	就職指導計画について 今年度学生募集の反省と課題 学生による授業評価の方法とその活用法 模擬授業 新カリキュラムについて	宮内 町田 増田 田中 増田
	リ ハ 校	就職指導計画 2020年度学生募集について 「学生による授業評価とその活用法」 — 基調報告と話し合い — 模擬授業	藤原 久保田 加藤、岩淵 米本、遠藤
	下 田 校	就職指導計画について 今年度学生募集の反省と課題 学生による授業評価の方法とその活用法 模擬授業	柳 江口 柳 竹村
	医 び 校	就職指導計画について 今年度学生募集の反省と課題 学生による授業評価の方法とその活用法 模擬授業	坂田 今村 杉山、川村 遠藤

【保育部会】

	内 容	発 表 者
4.5月	ふれあいグループが目指すもの 乳幼児突然死症候群への対応策 保育所における感染症対策改訂のポイント 環境整備と衛生管理 保育所における感染症拡大防止策 食物アレルギー対応 業務改善計画 園児対応について 保護者対応について 年間行事計画の検証 P D C 作成について 6 S 活動について	大屋敷 英志枝 } DVD 職員 担任 担任 教員 教員 教員
6月	2020年度専門部会別研修会（（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）	
7.8月	ふれあいグループが目指すもの 乳幼児突然死症候群への対応策 保育所における感染症対策改訂のポイント 環境整備と衛生管理 保育所における感染症拡大防止策 食物アレルギー対応（エピペンの扱いを知る） 7月の保育活動の振り返り	大屋敷 英志枝 } DVD 教員

	園での事故やけがに対する関わり方について 預かり保育の関わり方 新型コロナウイルス感染症対策	事務 教員 教員
9.10 月	ふれあいグループが目指すもの 乳幼児突然死症候群への対応策 保育所における感染症対策改訂のポイント 環境整備と衛生管理 保育所における新型コロナウイルス感染症に対応したガイドライン 園内における事故防止対策 預かり保育の振り返り 二学期行事の確認と検証 教育現場に活かすレクリエーション活動について 避難訓練に関する取り組みと検証 避難訓練に関する取り組みと検証	大屋敷 英志枝 } DVD 教員 教員 教員 教員 教員 教員
11.12 月	ふれあいグループが目指すもの 乳児と小児に対する一次救命処置 一次救命の大切さ：乳児に対する心肺蘇生法（実際編）（解説編） ：小児に対する心肺蘇生法（実際編）（解説編） AED の使い方 気道異物の除去法 気道異物の除去法（1歳未満の乳児の場合）（1歳～8歳の小児の場合） 乳幼児突然死症候群（SIDS）対策 よこはま ・ 保育 ・ 教育宣言について検証する こどもの事故と応急手当 新型コロナウイルス感染症対策② 6 S 活動の検証	大屋敷 英志枝 } DVD 教員 教員 DVD 教員 教員
2 月	第 17 回ふれあいグループ医療教育研究会（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）	
1.3 月	ふれあいグループが目指すもの 乳幼児突然死症候群（SIDS）対策 保育所における感染症対策改訂のポイント 環境整備と衛生管理 保育所における感染症拡大防止策 応急手当の必要性 気道確保と回復体位 CPR/心肺蘇生 止血とショック管理 全身のけがの調査 新型コロナウイルス感染症対策② 年間行事計画の検証 自己点検評価 業務改善計画	大屋敷 英志枝 } DVD 教員 教員 教員 教員

V 地域連携・交流活動

行事名	日時	場所	概要
公開講座開催	第1回 2月1日 (月)～2月15日 (月) 第2回 2月16 日(火)～3月2日 (火) 第3回 3月11日 (木) ～3月25日(木)	オンライン オンライン オンライン	薬のことをもっと聞きたい貴方に薬剤師の活用術教えます：薬学部 加賀谷 こどもの感染症と予防：保健医療学部看護学科 石川 古くて新しい感染症「結核」：薬学部石橋 関節の痛みと疾患：薬学部 定本 知っておきたい！危険な薬：薬学部鈴木 健康増進の生活リハ・作業療法：保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 生田 ※コロナ禍を鑑み、実施方法をオンラインに切り替えた。
「とつかおやこフェスタ」	2020年 8月6日	オンライン	主催：戸塚区 内容：こどもの時から健康に関心を持ってもらい、生活習慣病の予防を促進するために、区内の3大学や関係団体、企業等と連携して、測定や体験、セミナー等の企画を実施する。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインで実施となった2020年度は、本学からは、看護のお仕事○×クイズで参加した。
ヨコハマ大学まつり	2020年度	みなとみらい21地区クイーンズスクエア横浜周辺	主催：ヨコハマ大学まつり実行委員会（横浜市内30大学） 共催：大学・都市パートナーシップ協議会、横浜市 協力：一般社団法人横浜みなとみらい21 協賛：クイーンズスクエア横浜 内容：コロナの影響でパネル展示（巡回展示）の企画に変更された。

大学祭、中高生向け職業体験は、いずれも新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。

8. 研究活動

(1) 著書

書名	発行所	発行月	著者
耳鼻咽喉科疾患 難聴、病期・病態・重症度からみた疾患別看護経過+病態関連図	医学書院	2020 年 11 月	清川佑介, 喜多村 健 (分担)
耳鼻咽喉科疾患 中耳炎、病期・病態・重症度からみた疾患別看護経過+病態関連図	医学書院	2020 年 11 月	浜島智秀, 喜多村 健 (分担)
てんかん診療拠点病院運用の手引き	てんかんの地域診療連携体制の推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究班	3 月、2021 年	山本 仁、池田昭夫、山内秀雄、田中純子、中里信和、岸 泰宏、高木俊輔、西田拓司、貴島晴彦、太組一朗、宮本雄策、中川栄二、原 稔枝、 <u>浦 裕之</u> 、長谷川大輔、饒波正博
日本看護協会史・第 9 巻 (p. 102-106、186-189)	日本看護協会出版会	2020 年 10 月	川本利恵子 (分担)
エッセンシャル看護情報学	医歯薬出版株式会社	8 月、2020 年	宇都由美子、板井孝孝郎、太田勝正、柏木公一、 亀井智子、佐原弘子、 瀬戸僚馬、前田樹海、 真弓尚也、 <u>望月聡一郎</u> 、 横田慎一郎
ブチナース BOOKS 疾患別 看護過程	株式会社 照林社	2020 年 12 月 27 日	任和子 他 (分担者：塩田美佐代)
看護学テキスト NiCE リハビリテーション看護 改訂版第 3 版	株式会社 南江堂	2021 年 1 月 20 日	酒井郁子 他 (分担者：塩田美佐代)
新型コロナウイルス ナースたちの現場レポート(p.734-736)	日本看護協会出版会	2021 年 3 月	(分担者：高畠有理子)
標準保健師講座① 公衆衛生看護学概論 (6 章 B)	医学書院	2021 年 2 月	(分担者：山崎真帆)
アドバンス助産師育成のための教育プログラム横浜市における	医学書院	2021 年 2 月	日本助産実践能力推進協議会 (編集) (分担者：鶴見薫)
標準理学療法学 臨床実習とケーススタディ 第 3 版	医学書院	2020 年 12 月	鶴見隆正、辻下守弘 (編集) (分担者：坂上 昇、 森尾 裕志、大森 圭貢、 櫻井 好美)
2020 年版社会福祉士過去問題完全解説	株式会社ユーキャン学び出版	2020 年 4 月	(分担者：柴田 昌和)
パーキンソン病の理学療法 第 2 版 理学療法機能診断	医歯薬出版	2020 年 8 月	長澤 弘
医療系学生のための生理学実習書	丸善雄松堂	2020 年 4 月	斉藤琴子、實木 (高橋) 葵、實木亨、須鎌康介

書名	発行所	発行月	著者
作業療法技術ガイド 第4版 「医療観察法と精神科領域の作業療法」	文光堂	2021年2月5日	編集主幹 石川斎 他 著 鶴見隆彦
日本の作業療法発達史 「川崎市リハビリテーション医療センターから法務省保護局社会復帰調整官としての取り組みから」	シービーアール	2021年2月20日	編集 矢谷玲子 他 著 鶴見隆彦
医療系学生のための生理学実習書	丸善雄松堂株式会社	4月, 2020	斉藤琴子, 實木-高橋葵, 實木亨, 須鎌康介

(2) 学術論文 (原著)

論文タイトル	掲載誌	掲載月	著者
下垂体診療の歴史と世相—外科医の観点から—	日本内分泌学会雑誌	96:5-8, 2020	寺本 明
Clinical Practice Guidelines for the Diagnosis and Management of Acute Otitis Media in Children—2018 update	ANL	47(4):493-526, 2020	Hayashi T, Kitamura K, Hashimoto S, Hotomi M, Kojima H, Kudo F, Maruyama Y, Sawada S, Taiji H, Takahashi G, Takahashi H, Uno Y.
わたしの研究歴: 患者さんとの出会いから生まれた難聴遺伝子研究に基づいたヒト側頭骨病理・内耳病態の解明	JOHNS	36(5) 653-656, 2020	喜多村 健
In Vivo Evaluation of the Mechanical Strength of a Slide Lengthening Technique with a Locking Mechanism Using Elongated Flexor Hallucis Longus Tendon in a Rabbit Model	Cureus	Dec 30;12(12):e12387	Iwase D, Uchida K , Metoki Y, Sekiguchi H, Aikawa J, Matsuo T, Matsuo A, Takaso M.
Unilateral-dominant reduction in muscle volume in female knee osteoarthritis patients: Computed tomography-based analysis of bilateral sides	J Orthop Surg Res	Nov 19;15(1):543.	Tsukada A, Uchida K , Aikawa J, Takano S, Iwase D, Mukai M, Miyagi M, Nanri Y, Inoue G, Takaso M.
poly(POG)n loaded with recombinant human bone morphogenetic protein-2 accelerates new bone formation in a critical-sized bone defect mouse model	J Orthop Surg Res	Oct 14;15(1):471	Tazawa R, Uchida K , Minehira H, Matsuura T, Kawamura T, Sekiguchi H, Muneshige K, Inoue S, Inoue G, Takaso M
Acceleration of bone union by in situ-formed hydrogel containing bone morphogenetic protein-2 in a mouse refractory fracture model	J Orthop Surg Res	Sep 18;15(1):426	Shoji S, Uchida K , Saito W, Sekiguchi H, Inoue G, Miyagi M, Takata K, Yokozeki Y, Takaso M

論文タイトル	掲載誌	掲載月	著者
Short-Term Impact of Staying Home on Bone Health in Patients With Osteoporosis During a State of Emergency Declaration Due to COVID-19 in Kanagawa, Japan	Cureus	Sep 6;12(9):e10278	Yokozeki Y, Uchida K , Miya gi M, Murata K, Koyama T, Kuroda A, Kawakubo A, Nannri Y, Inoue G, Takaso M
Loop-mediated isothermal amplification (LAMP) screening for COVID-19 in asymptomatic preoperative orthopedic patients in a general hospital in Kanagawa, Japan	Cureus	Jul 22;12(7):e9331	Uchida K , Sekiguchi H, Higashiyama R, Endo T, Yokozeki Y, Inoue G, Miyagi M, Fujino S, Yoshida N, Takaso M
コロナ禍における老年看護学概論の講義における工夫—オンデマンド授業とグループトーク機能を用いたグループワークの実際と成果	臨床老年看護	1・2月号 28(1):43-47, 2021	牛田貴子
早産に至った母親の出産体験の内化	母性衛生	2021年3月	前田美幸, 榊原清子, 島田啓子
ドメスティック・バイオレンス加害者と別居後の母親とその子どもの生活	日本フォレンジック看護学会誌	2020年3月	藤田景子, 島田啓子
思春期にひきこもった当事者が支援機関に通所するまでのプロセス	日本精神保健看護学会誌 第19巻1号	令和2年6月	玉田聡史, 松下年子, 片山典子
訪問看護師が捉える在宅療養中の認知症高齢者の性意識と性的言動と看護実践—インタビュー調査の結果から—	日本アディクション看護学会誌 第17巻2号	令和2年10月	松下年子, 片山典子, 原田美智, 河口朝子, 内野小百合, 寺戸聡子
看護管理者対象の SOC(首尾一貫感覚)向上プログラムの試みとその有効性(第1報)—SOC スケール日本語版, 看護専門職における自律性測定尺度, 看護管理者のコンピテンシー評価尺度得点の変化—	日本アディクション看護学会誌 第17巻2号	令和2年10月	松下年子, 河口朝子, 原田美智, 神坂登世子, 米山和子, 片山典子, 小林一裕, 荒木とも子, 大澤優子, 内野小百合, 塩月玲奈
アルコール依存症の看護教育における SBIRTS 導入の有用性と今後の展望	日本アディクション看護学会誌 第18巻1号	令和3年3月	松下年子, 辻脇邦明, 片山典子, 荒木とも子, 内野小百合, 田辺有理子, 桐生敏行
看護管理者対象の SOC (首尾一貫感覚) 向上プログラムの試みとその有用性 (第2報) —質問紙調査とインタビュー調査の結果から—	日本アディクション看護学会誌 第18巻1号	令和3年3月	松下年子, 河口朝子, 原田美智, 神坂登世子, 米山和子, 片山典子, 小林一裕, 荒木とも子, 大澤優子, 内野小百合, 塩月玲奈
青年期における職業選択と信仰心の世代間連鎖—牧師を親にもつ子どものインタビュー調査—	日本アディクション看護学会誌 第18巻1号	令和3年3月	片山典子, 松下年子, 河口朝子, 原田美智
関東圏におけるアルコール依存症を抱える患者の看護の学び	日本アディクション看護学会誌 第18巻1号	令和3年3月	片山典子, 陶山克洋, 渡部李菜, 大胡晴香

論文タイトル	掲載誌	掲載月	著者
在宅高齢者の認知機能と社会的サポート・ネットワークの関連・決定木分析を用いて	インターナショナル Nursing Care Research 第20巻1号, 53-62	2021年4月 (受理: 2月)	菊池有紀
関東圏におけるアルコール依存症を抱える患者に対する看護の学び—学生レポートの内容分析から—	日本アディクション看護学会誌	18(1), 2021,3	片山典子, 陶山克洋, 渡部李奈, 大胡晴香
災害時における福祉避難所の整備状況に関するアンケートとインタビュー調査による検討	総合機器管理	No.5, 27-35, 2021	下田 栄次, 坂上 昇, 五十嵐 仁, 戸田 和之
棘上筋が亜脱臼に関係するののか解剖学的に考える	形態科学	Vol.24.No.1 2021	金子亜未, 伊藤純治 柴田昌和, 井上由里子, 江連博 光, 森山浩志, 大塚成人
中殿筋前部・後部線維の形態的特徴から筋機能の考察	理学療法—技術と研究—	49号 2021.2	中村壽志, 柴田昌和, 小口岳志, 飯村彰, 土田将之
Effect of manual lymph drainage for up to 10 days after total knee arthroplasty. A randomized controlled trial.	Physical Therapy Reserch	2020年4月	Tatsu Fujiura, Hiroshi Nagasawa
人工膝関節全置換術後患者における体幹機能と歩行中の体幹側方移動距離の関連性についての一事例検討	理学療法—技術と研究—	2021年2月	城所亮多, 森尾裕志, 中尾陽光, 衣田翔, 大内佑太, 遠藤太刀男
災害時における福祉避難所の整備状況に関するアンケートとインタビュー調査による検討	総合危機管理	2021年3月	下田 栄次, 坂上 昇, 五十嵐 仁, 戸田 和之
早期臨床実習体験における主観的健康感の変化	専門リハビリテーション	2020年6月	中村 壽志, 大森 圭貢, 大矢 暢久, 下田 栄次, 坂上 昇
中殿筋の肉眼解剖学的構造と歩行における機能	バイオメカニズム	25: 151-165, 2020	金承革, 柴田昌和, 土田将之, 栗田泰成, 塚本敏也
A Walking Support System to Improve the Elderly's Ability to Change Their Walking Speed	International Journal of Advanced Intelligence	12: 103-112, 2021	Yuya Yokouchi, Yoshihiro Kai, Masayuki Tsuchida, Kenichi Sugawara
山形県湯野浜温泉の温泉浴の効果	温泉科学 第70巻 第1号 27-34	2020年6月	前田眞治, 中村壽志
足底加温が静的・動的バランス能力に及ぼす効果	日本温泉気候物理医学会雑誌 第83巻 第3号 113-121	2020年10月	中村壽志
強制把握のある利き手で食事摂取を可能とした1例—強制把握低減訓練と患者の意思を汲んだかわり	作業療法ジャーナル	55: 313-317, 2021	Nagai A, Ikuta M, Sawada M, Kawakita S
Proposal for a Method to Measure the Range of Dart-Throwing Motion	Journal of Hand Surgery Global Online. Volume 2, Issue 4, July 2020, Pages 226-231	2:226-231,2020	Masahiro Mitsukane, Kosuke Sugama, Kosuke Sugama, Yusuke Suzuki, Hirofumi Tanabe, Takahiko Tsurumi
Verification of the Effect of Improving Walking Ability on Hemiplegia by Using a Device for Reducing Muscle Tone	Health	317-323, 2020	Hirofumi T, Akira K, Hiroshi T, Yoshifumi M, Yuichi T

論文タイトル	掲載誌	掲載月	著者
手関節・指関節のアライメントが総指伸筋・浅指屈筋の活動に与える影響・表面筋電系による検討	作業療法・福岡	2021.3 月	近藤昭彦, 田邊浩文, 松崎哲治
司法領域における作業療法士の取り組みと今後の支援の在り方	OT ジャーナル	2020 年 5 月 15 日	三川年正, 西野由希子, 鶴見隆彦
司法領域において作業療法士に求められる技術	OT ジャーナル	2021 年 2 月 15 日	三川年正, 西野由希子, 鶴見隆彦
Evaluation of post-stroke depression in patients with cerebral vascular disorder	Open Journal of Depression 9 (4), Nov 2020 . ID 2720157	November 27, 2020	<u>Toshimasa Mikawa</u> , Hirofumi Tanabe , Takashi Yabe
介護老人保健施設における 1 年間の認知症ケアマッピング(DCM)の有効性 医療・福祉職の連携によるパーソン・センタード・ケアをめざした発展的評価が及ぼす効果	日本老年医学会雑誌	2021 年 1 月	鈴木 みずえ, 浅井 八多美, 内山 由美子, 阿部 ゆみ子, 阿部 邦彦, 澤木 圭介, 田島 明子
急性期病院における認知症ケアの一考察 作業療法士と看護師の連携に焦点を当てて	認知症ケア事例ジャーナル	2020 年 12 月	中島 龍彦, 兼田 絵美, 杉野美恵, 田島 明子
作業療法士国家試験合格に関連する個人要因および環境要因の質的分析	新潟リハビリテーション大学紀要	9(1) : 29-37, 2021 年 2 月	増田 雄亮, 澁井 実, 長谷川 裕, 藤本 聡, 栗原 トヨ子

(3) その他の学術論文

論文タイトル	掲載誌	掲載月	著者
わたしの研究歴: 患者さんとの出会いから生まれた難聴遺伝子研究に基づいたヒト側頭骨病理・内耳病態の解明	JOHNS	36 (5) 653-656, 2020	喜多村 健
認知症の予防: 脳にやさしいライフスタイル	日本脳神経外科財団ニュース ぶれいん	139 : 6-7, 2020	石井映幸
コロナ禍における老年看護学概論の講義における工夫—オンデマンド授業とグループトーク機能を用いたグループワークの実践と成果	臨床老年看護	1・2 月号 28(1):43-47, 2021	牛田貴子
Relationship between the sense of confidence regarding dietary life and the nutrient intake of pregnantwomen	金沢学院大学教職センター紀要第 4 号:pp293-305	2021 年 3 月	Yuriko Fukui, Mieko Kawamura , Keiko Shimada
看護師が活用・実践できる補完代替療法にかかわる支援「疼痛緩和、心理的不安軽減のためのアロマセラピー・マッサージのケア」	看護技術 (Vol.66 No.8)	7 月号:72-77,2020	塚原ゆかり
アロマセラピーを活かしたフットケア 下肢のトラブルに対する実践方法(前編)	臨床老年看護 (Vol.27 No.2)	3・4 月号:91-94,2020	塚原ゆかり

論文タイトル	掲載誌	掲載月	著者
アロマセラピーを活かしたフットケア 下肢のトラブルに対する実践方法 (後編)	臨床老年看護 (Vol.27 No.4)	7・8月号:115-119,2020	塚原ゆかり
アロマセラピーを活かしたフットケア 足のリフレクソロジー	臨床老年看護 (Vol.27 No.5)	9・10月号:73-76,2020	塚原ゆかり
アロマセラピーを活かしたフットケア アロマセラピーを活かしたフットケアを導入する際のポイントや注意事項	臨床老年看護 (Vol.28 No.1)	1・2月号:98-101,2021	塚原ゆかり
早期臨床体験における主観的健康感の変化 ー本学理学療法専攻1年生への調査ー	専門リハビリ	第19巻:53-57 (2020)	中村壽志, 大森圭貢, 大矢暢久, 下田栄次, 坂上 昇
【パーキンソニズムのリハビリテーション診療】パーキンソニズムの理学療法	MEDICAL REHABILITATION、248号 15-22	2020.5	大森 圭貢, 柴 喜崇, 森尾 裕志
高齢心疾患患者におけるフレイルと認知機能障害	BIO Clinica	35, 68-70 (2020)	井澤和大, 平野康之, 石原広大, 北村匡広, 森尾裕志
中殿筋前部・後部線維の形態的特徴から筋機能の考察ー男性6肢による形態学的意義ー	理学療法ー技術と研究ー	49: 77-80, 2021	中村壽志, 柴田昌和, 小口岳史, 飯村彰, 土田将之
徒手治療法を模擬する手指伸筋促通トレーニングデバイスにおける筋活動に対する考察	第21回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2020)予稿集	264-265, 2020.12月	周沛臣, 笈書涵, 森田良文, 田邊浩文,
徒手治療法を模擬する手指伸筋促通トレーニングデバイス iPARKO の設計製作	2021 高速信号処理応用技術学会研究会講演論文集	6-7, 2021.3月	中村愛, 周沛臣, 森田良文, 田邊浩文,
臨床作業療法 NOVA2021 年 3 月号 『「当事者」と作業療法』責任編集	青海社	2021 年 3 月	田島明子他
障害受容について考える 支援の場面からの一考察	リハビリテーション医学	2020 年 10 月	田島明子
集中講座 評価法の使い方 総論(第10回) QOL	総合リハビリテーション	2020 年 10 月	田島明子
療法士の当事者研究の意義	臨床作業療法 NOVA	2021 年 3 月	田島明子
作業療法士としてのアイデンティティ	臨床作業療法 NOVA	2021 年 3 月	水口和代、清水一輝、田島明子
作業療法の臨床場面における「障害受容」の使用状況と今後の課題	臨床作業療法 NOVA	2021 年 3 月	田島明子、岡耕平、太田健一、石原八重子
エビデンスに基づく作業療法の実践を促進する方策に関する研究	筑波大学大学院人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士論文	全210頁, 2021年3月	増田 雄亮
支援とは何か、支援者とは誰か	臨床作業療法 NOVA1	8(1): 36-3, 2021年3月	増田 雄亮
基礎医学の成績向上を目指した ICT 学習の導入ー登校規制における学生を対象にした学習支援の有効性ー	新潟リハビリテーション大学紀要	9(1): 49-55, 2021年2月	木村 和樹, 星野 浩通, 若菜 翔哉, 長島 裕子, 松林 義人, 高橋 明美, 小林 量作, 増田 雄亮

(4) 報告書

論文タイトル	掲載誌	掲載月	氏名
科研費研究成果報告書「介護保険施設等に勤務する看護師のエンプロイアビリティに関する研究」(2015年度～2019年度、基盤研究C)	科学研究費助成事業データベース KAKEN	2020年6月	牛田貴子
H29年度科研実施状況報告書 青年期統合失調症者の臨界期における訪問看護師の教育プログラムの開発	科学研究費助成事業		片山典子
横浜市依存症回復施設利用者の実態	横浜市「令和2年度依存症回復施設利用者の実態調査に係る業務委託」 中間報告書、最終報告書		松下年子, 片山典子, 渡部李菜
地域医療推進のキーパーソン できる外来看護師の育成	看護展望 株式会社メジカルフレンド社	2020年4月25日	塩田美佐代
マネジメントリーダーと連動させた“管理実践力”向上プログラムの提案～リーダーの成果を出す仕掛け！求められる能力を現場レベルで発揮するための教育支援	看護人材育成 日総研出版	2020年4月30日 2021年6月30日	塩田美佐代
令和2年度横浜市委託研究事業 横浜市における依存症回復施設利用者の実態調査 中間報告書		2020年10月	松下年子, 片山典子, 渡部李菜
令和2年度横浜市委託研究事業 横浜市における依存症回復施設利用者の実態調査 最終報告書		2021年3月	松下年子, 片山典子, 渡部李菜
理学療法士作業療法士学校養成指定規則の改正について	専門リハビリ	第19巻: 63-68 (2020)	坂上 昇
【第4回】シカクの人物図鑑 下田栄次さん: 大学で教鞭を取りながら、災害リハビリテーション支援や山岳救助に尽力する理学療法士	リガクラボ (ウェブメディア)	2020年8月	下田栄次
【前編】防災の日特集 災害時の新型コロナウイルス感染を防ぐために～災害時にできること～	リガクラボ (ウェブメディア)	2020年8月	下田栄次
【中編】防災の日特集 災害時の新型コロナウイルス感染を防ぐために～災害が起きる前からできること～	リガクラボ (ウェブメディア)	2020年9月	下田栄次
【後編】防災の日特集 災害時の新型コロナウイルス感染を防ぐために～介護や医療ケアが必要な家族に向けて～	リガクラボ (ウェブメディア)	2020年9月	下田栄次
在宅高齢者が実施可能な棒またぎ体操の開発	日本理学療法士学会 平成29年度 研究助成報告書	2021年3月	森尾裕志, 大森圭貢, 櫻井好美, 中尾陽光, 斎藤琴子, 坂上昇

(5) 学会発表

発表タイトル	学会名	発表月	発表者
高倉公明先生追悼講演	第30回日本間脳下垂体腫瘍学会	2020年2月	寺本 明
下垂体疾患患者の長期フォローアップにおける問題点	第30回日本間脳下垂体腫瘍学会	2020年2月	山王直子、寺本 明他
Low GH acromegaly の1例	第30回日本間脳下垂体腫瘍学会	2020年2月	中里一郎、寺本 明他
難治性下垂体腺腫に対する内視鏡下経鼻頭蓋底手術手技	第30回日本間脳下垂体腫瘍学会	2020年2月	大山健一、寺本 明他
China-Japan Friendship in Neurosurgery and It's Future Prospects	Harbin International Neurosurgery Summit Forum	2021年1月	Akira Teramoto
Does Well Differentiated Neuroendocrine Tumor(NET) G1 Exist In The Pituitary Glands?	第110回北米病理学会 (USCAP)	2021年3月	Inomoto C, Teramoto A, et al
当科における高齢人工内耳術後患者の言語聴取成績と認知機能に関する検討	第30回日本耳科学会総会学術講演会 (北九州)	2020年11月	浜島 智秀、石田 克紀、吉川沙耶花、峯川 明、喜多村 健
認知症看護認定看護師課程受講生の認知症者の対象理解 パーチャルリアリティ教材による学びの記述の分析	日本老年看護学会 第25回学術集会(誌上)	6月、2020	小原良之、大久保昭宏、牛田 貴子
学生がとらえている「高齢者の日常生活」のリアルから教員の私たちが何を学ぶか、交流セッション	日本看護学教育学会 第30回学術集会(誌上)	9月、2020	牛田貴子、飯室淳子、山田智美、鈴木陽子、梅原里実
「助産政策はどう動くか」	日本助産学会・第34回学術交流集会	2020年3月	島田啓子(助産政策委員長)
看護基礎教育における SBIRTS を取り入れた授業の試み	第30回日本精神保健看護学会学術集会 (福岡県・WEB)	令和2年8月	松下年子、江藤和子、辻脇邦彦、片山典子、荒木とも子、内野小百合、田辺有理子、寺戸聡子、桐生敏行
大学生のインターネット依存傾向と精神的健康に焦点を当てたシステムティックレビュー	第30回日本精神保健看護学会学術集会 (福岡県・WEB)	令和2年8月	大胡晴香、片山典子
成人1型糖尿病患者における心理・環境的側面に焦点化したシステムティックレビュー	第30回日本精神保健看護学会学術集会 (福岡県・WEB)	令和2年8月	陶山克洋、片山典子
大学生のインターネット依存・ひきこもり親和性・孤独感の関連	第30回日本精神保健看護学会学術集会 (福岡県・WEB)	令和2年8月	玉田聡史、片山典子
Development of an educational program for visiting nurses who visit adolescent schizophrenia patients in critical period	APNA (American Psychiatric Nurses Association) 34rd Annual Conference (A Virtual Conference)	令和2年9月	片山典子、荒木とも子、内野小百合
Nurses' Experience of Caring for Patients with Alcohol-Related Health Problems in General Hospitals	APNA (American Psychiatric Nurses Association) 34rd Annual Conference (A Virtual Conference)	令和2年9月	内野小百合、荒木とも子、片山典子、松下年子

発表タイトル	学会名	発表月	発表者
An Attempt to Introduce SBIRTS (Screening, Brief intervention, Referral to Treatment & Self-help group) in Basic Nursing Education	APNA (American Psychiatric Nurses Association) 34rd Annual Conference (A Virtual Conference)	令和2年9月	辻脇邦彦, 江藤和子, 片山典子, 荒木とも子, 内野小百合, 田辺有理子, 寺戸聡子, 桐生敏行
JNA マネジメントリーダー「創造する能力」を高めるための地域活動への参画	第24回日本看護管理学会学術集会	2020年8月28日～29日	塩田美佐代
都市部在住高齢者の生活満足感と社会的サポート・ネットワークの関連	日本看護科学学会	12月	菊池有紀, 塚原ゆかり, 岡多恵
都市部在住の後期高齢者における介護予防と地域への社会参加に対する考え方	日本看護科学学会	12月	塚原ゆかり, 菊池有紀, 岡多恵
都市部在住高齢者の生活満足感と社会的サポート・ネットワークの関連	第40回日本看護科学学会学術集会	2020年12月	菊池有紀, 塚原ゆかり, 岡多恵
都市部在住の後期高齢者における介護予防と地域への社会参加に対する考え方	第40回日本看護科学学会学術集会	2020年12月	塚原ゆかり, 菊池有紀, 岡多恵
成人1型糖尿病患者における心理・環境的側面に焦点化したシステムレビュー (一般演題発表)	日本精神保健看護学会第30回学術集会	【web】6-7月	陶山克洋, 片山典子
音楽を用いた看護についての文献レビュー	日本音楽療法学会	2021年2月	倉橋悠子, 大胡晴香, 斉藤琴子, 山崎真帆
終末期看護教育の現状と課題—文献レビュー—	第30回日本看護学教育学会学術集会 (web開催)	2020年9月	今泉郷子, 倉橋悠子, 佐藤米子, 青山みどり
医療における音楽療法の効果～相互作用の観点から～ (講演)	LIP横浜オープンイノベーションカンファレンスVI ～クロスイノベーション(異分野融合)による新たな事業機会の創出を目指して～ (web開催)	2021年1月	倉橋悠子, 大胡晴香, 山崎真帆, 斉藤琴子
造血幹細胞移植患者の看護についての英語文献レビュー	第35回日本がん看護学会学術集会 (web開催)	2月, 2021	倉橋悠子, 今泉郷子
看護学生が基礎看護学実習において「相手の立場に立って考えた」場面の分析	第30回日本看護学教育学会 (WEB開催)	9月, 2020	黒田由香理, 水戸優子
親の看取りからのレジリエンスと看護職としての成長 (示説)	第51回日本看護学会学術集会ヘルスプロモーション(web開催)	10月～11月, 2020年	高橋 真由美
民間薬物依存症回復施設ダルクにおける発達障害を重複する利用者に対する支援の実践	日本ヒューマンリレーション研究学会第1回全国大会	11月, 2020	渡部李菜, 松下年子
自立活動教諭 (理学療法士) における相談実績より —補装具に関する報告—	第37回神奈川県理学療法士学会	11月22-29日2020年	小玉美津子, 鶴見隆正
脳卒中片麻痺者の身体活動に関する文献研究	第7回 日本予防理学療法学会学術大会	2020年9月27日	清野 由也, 大森 圭貢, 長澤 弘
パーキンソン病者におけるヘルスリテラシーとの関連要因との検討	第7回 日本予防理学療法学会学術大会	2020年9月27日	蜂屋遼平, 大森圭貢, 秦若菜, 杉村誠一郎, 平塚悠紀, 柴喜崇

発表タイトル	学会名	発表月	発表者
地域で生活する軽症パーキンソン病当事者が主体となる健康増進活動—社会実装を見据えたアクションリサーチによる提案—	第7回 日本地域理学療法学会学術大会	2020年11月7日(土)・8日(日)	柴喜崇, 杉村誠一郎, 秦若菜, 平塚悠紀, 蜂屋遼平, 渡邊勇太, 石山大介, <u>大森圭貢</u>
変形性膝関節症における Stair Clim b Test に関する文献レビュー	第37回 神奈川県理学療法士学会	2020年11月22日(土)～29日(土)	大内 佑太, 森尾 裕志, <u>大森 圭貢</u>
理学療法士による介助講習会の効果 受講者の健康関連QOLおよび腰痛の軽減への検討	第37回 神奈川県理学療法士学会	2020年11月22日～29日	南 裕貴, 小野 雅之, 岩淵裕和, 岡原 隆之介, 長谷川瑞樹, <u>大森 圭貢</u>
在宅療養患者における身体運動機能と予後に関する文献レビュー	第37回神奈川県理学療法士学会	2020年11月	星 知輝, 森尾裕志, 長澤弘
人工膝関節全置換術後における体幹筋力と歩行中の体幹側方動揺の関連性についての一症例検討	第37回神奈川県理学療法士学会	2020年11月	城所亮多, 森尾裕志, 中尾陽光, 衣田翔, 大内佑太, 遠藤太刀男
周術期消化器がん患者における術後運動耐容能に関する術前指の検討	第37回神奈川県理学療法士学会	2020年11月	衣田翔, 石川秀太, 南悠, 森尾裕志, 中尾陽光, 大森圭貢, 香月優亮, 荒井勝彦, 桜井嘉彦
災害時におけるリハビリテーション支援の在り方と標準化に関する研究—神奈川県横浜市戸塚区の福祉避難所協定施設へのアンケートおよびインタビュー調査による検討—	LIP横浜オープンイノベーションカンファレンスVI〜クロスイノベーション(異分野融合)による新たな事業機会創出を目指して〜	2021年2月	<u>下田栄次</u>
災害時におけるリハビリテーション支援体制の構築 (特別講演)	第115回理学療法科学学会 学術大会	2021年1月	<u>下田栄次</u>
周術期消化器がん患者における術後運動耐容能に関連する術前指標の検討	第37回神奈川県理学療法士学会(神奈川)	2020年11月	衣田 翔, 石川秀太, 南悠, <u>森尾裕志</u> , 中尾陽光, 大森圭貢, 香月優亮, 荒井勝彦, 桜井嘉彦
人工膝関節全置換術後における体幹筋力と歩行中の体幹側方動揺の関連性についての一症例検討	第37回神奈川県理学療法士学会(神奈川)	2020年11月	城所亮多, 大内佑太, 衣田翔, <u>森尾裕志</u> , 中尾陽光, 遠藤太刀男
変形性膝関節症における Stair Clim b Test に関する文献レビュー	第37回神奈川県理学療法士学会(神奈川)	2020年11月	大内佑太, <u>森尾裕志</u> , 大森圭貢
在宅療養患者における身体運動機能と予後に関する文献レビュー	第37回神奈川県理学療法士学会(神奈川)	2020年11月	星知輝, <u>森尾裕志</u> , 長澤弘
コロナ禍の理学療法士: 教育機関(シンポジスト)	第37回神奈川県理学療法士学会(神奈川)	2020年11月	<u>森尾裕志</u>
A Walking Support System Equipped with a Variable Speed Treadmill and a Lift Device	The 15th International Conference on Natural Language Processing and Knowledge Engineering	10月, 2020	Yuya Yokouchi, Yoshihiro Kai, <u>Masayuki Tsuchida</u> , Kenichi Sugawara
足底加温が身体バランス能力に及ぼす効果	第85回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会	2021年1月	中村壽志, 前田眞治
身体バランス機能に対する人工炭酸泉全身浴の効果	第85回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会	2021年1月	前田眞治, 中村壽志

発表タイトル	学会名	発表月	発表者
炭酸ガスハイドレート (CDH) 溶解水の手浴における血流増加作用	第 85 回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会	2021 年 1 月	前田眞治, 中村壽志, 村上裕之, 杉原圭彦
ミラーセラピーによる錯覚的な視覚フィードバックと運動イメージとの関係性: 予備的検証	第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会	8 月	鈴木雄介, 須鎌康介, 生田宗博
持続的注意機能の客観的評価に対するポータブル脳波計の有用性の検討	第 54 回日本作業療法学会	9 月	鈴木雄介, 須鎌康介
ダーツスローモーション可動域の新たな測定法の提案	第 54 回日本作業療法学会	9 月	光金正官, 須鎌康介, 鈴木雄介, 田邊浩文, 鶴見隆彦
高速弦楽器奏者の筋緊張異常と演奏練習との関連性	第 54 回日本作業療法学会 (新潟)	9 月、2020	田邊浩司, 田邊浩文
維持期脳卒中片麻痺に対する下肢 Constraint-induced Movement Therapy の効果	第 54 回日本作業療法学会 (新潟)	9 月、2020	田邊浩文, 田邊浩司
持続的注意機能の客観的評価に対するポータブル脳波計の有用性: 予備的検証	第 54 回日本作業療法学会 (Web)	9 月、2020	鈴木雄介, 須鎌康介
子どもと高齢者の世代間交流における活動内容の調査 - 児童館職員へのフォーカスグループインタビュー	第 54 回日本作業療法学会 (Web)	9 月、2020	猪股英輔, 須鎌康介, 小林法一
障害経験と作業の変容—地域で暮らす障害当事者である作業療法士へのインタビュー調査結果からの考察—	第 54 回日本作業療法学会	2021 年 9 月	田島明子, 押富俊恵, 山田隆司, 神田太一, 清水一輝
パーキンソン病在宅療養者の災害準備の現状と課題について—インタビュー調査結果からの考察—	第 54 回日本作業療法学会	2021 年 9 月	國塚裕太, 田島明子, 今福恵子
「障害の社会モデル」の視座から捉えた ICF の課題の整理	第 54 回日本作業療法学会	2021 年 9 月	池田保, 田島明子
Factors promoting evidence-based practice for occupational therapists -An international literature review-	The 54th Japanese Occupational Therapy Congress & Expo, Niigata	September, 2021	Yusuke Masuda Jun Yaeda Tamami Aida
通所リハビリテーションにおける「活動と参加」に焦点を当てた集団上肢機能訓練の効果—後方視的ケースシリーズ研究—	第 54 回日本作業療法学会 (新潟)	2020 年 9 月	沢田 宏美 増田 雄亮 濱田 洋子 新藤 恵一郎 近藤 国嗣
父親としての役割遂行を通して QOL の向上が得られた一事例—重度左片麻痺事例の外出支援—	第 54 回日本作業療法学会 (新潟)	2020 年 9 月	平野 和行 齋藤 元浩 増田 雄亮
加齢に伴い、CD206 陽性椎間板内性マクロファージは減少する	第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会	10 月、2020	川久保 歩, 内田健太郎, 宮城正行, 中脇充章, 井上玄, 齋藤 亘, 関口裕之, 高相晶士

発表タイトル	学会名	発表月	発表者
TNF- α は椎間板組織内の iNOS 発現を制御している.	第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会	10 月、2020	中脇充章、 <u>内田健太郎</u> 、川久保歩、宮城正行、大久保直、横関雄司、関口裕之、井上 玄、齋藤 亘、高相晶士
椎間板傷害後の M1,M2 マクロファージの起源の解析	第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会	10 月、2020	川久保 歩、 <u>内田健太郎</u> 、宮城正行、中脇充章、井上 玄、齋藤 亘、関口裕之、高相晶士
Peptide Lv は椎間板傷害後の Macrophage polarization を制御する	第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会	10 月、2020	<u>内田健太郎</u> 川久保 歩 大久保直 宮城正行 井上 玄 横関雄司 迎 学 関口裕之 高相晶士
両側下肢 CT 画像を用いた変形性膝関節症における片側性の筋量変化の検討	第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会	10 月、2020	迎 学、 <u>内田健太郎</u> 、塚田亜祐美、相川 淳、岩瀬大、高野昇太郎、宮城正行、関口裕之、井上 玄、高相晶士.
加齢に伴う筋組織における Apelin 受容体発現の低下には TNF- α が関与する	第 35 回日本整形外科学会基礎学術集会	10 月、2020	小山智久、 <u>内田健太郎</u> 、宮城正行、田澤諒、井上 玄、藤巻寿子、大橋慶久、関口裕之 高相晶士

(4) 研究補助金等外部資金の受入れ状況

代表者名	研究課題	助成元
小林紀明	介護支援専門員の多職種連携における「協働的能力」に関する調査研究	文部科学省研究助成
島田啓子	低出生体重児の体動計測の開発と児の体重および発達指標との関連探索研究	文部科学省科/科研費，基盤研究費（B）
（研究分担者） 望月聡一郎	「看護職員のなりすまし防止に資するデータ活用法の構築」	厚生労働科学特別研究事業
片山典子	青年期統合失調症者の臨界期における訪問看護師の教育プログラムの開発	科研費補助金：基盤研究（C）
玉田聡史	大学生のスマートフォン利用とひきこもり親和性の関連に関する研究	日本精神保健看護学会研究助成
片山典子	臨界期にある統合失調症者を訪問する訪問看護師の自律性を高める教育プログラムの開発	科研費補助金：若手研究
（研究分担者） 片山典子	精神科看護経験がない精神科訪問看護師の困難	フランスベッド・メディカルホームケア研究・助成財団研究助成金
大森圭貢	箸食文化の生涯継続-老年期における箸食の再獲得の実現可能性	公益財団法人 アサヒグループ学術振興財団
大森圭貢	食事ができる非利き手箸操作の獲得に向けた練習の効果と方法の確立	科研費（～2022.3）
小林和彦	応用行動分析学による e-Learning を用いた認知症者に対する介護職員指導	日本学術振興会
根本 明宜	災害時要配慮者支援のための福祉避難所の実態調査および連携構築	公益財団法人キリン福祉財団 令和 2 年度「キリン・地域のちから応援事業」

代表者名	研究課題	助成元
下田 栄次	地域の避難所と福祉避難所における感染症対策と災害時要配慮者支援に関する研究	公益社団法人神奈川県理学療法士会 令和 2 年度研究助成事業
森尾裕志	在宅においても実施可能である棒まがぎ体操が歩幅、運動耐容能に与える効果の検証	日本学術振興会 科学研究費助成事業 平成 30 年度 基盤 C 一般
土田将之	高齢者の歩行安定性向上を目的とした新たなリハビリテーションプログラムの開発	科学研究費助成事業（研究活動スタート支援）
（研究分担者） 田邊 浩文	脳卒中麻痺手のテーラーメイドリハビリのためのプログラム作成支援システム	日本学術振興会 科学研究費
田島明子	「障害の社会モデル」を重視したリハビリテーションのための内省型研修プログラム開発	日本学術振興会
（研究分担者） 田島 明子	福祉領域における実験音楽を使用した音楽活動の意義に関する研究	日本学術振興会
（研究分担者） 増田 雄亮	通所リハビリテーションにおける「活動と参加」に焦点を当てた集団上肢機能訓練の効果	日本作業療法士協会 2020 年度課題研究助成
（研究分担者） 増田 雄亮	「障害の社会モデル」を重視したリハビリテーションのための内省型研修プログラム開発	文部科学省科学研究費助成事業 2020 年度基盤研究(C)
平野 克治	湘南 HCV Elimination Project	ウイルス肝炎研究財団

Ⅶ 生涯学習事業

湘南医療大学看護実践教育センターでは、看護師実習指導者講習会、認定看護師（認知症看護分野）、認定看護管理者（ファーストレベル、セカンドレベル）を開講した。

事業名	認定看護管理者教育課程（ファーストレベル）	認定看護師養成課程（認知症看護分野）	看護師実習指導者講習会	ケア加算3
対象	グループ内外	グループ内外	グループ内外	グループ内外
期日	2020.10～11月	2020.6月～2021.3月	2020.7月～11月	2020.10月
日数	105時間	665時間	240時間（eラーニング含む）	2日間
受講料	未定	入学検定料：50,000円 入学金：100,000円 授業料：900,000円 （教科書、保険料等別）	80,000円 （受講料施設持ち） （テキスト代別）	6,000円
定員	50名	15名	20名	50名
2020年実績	22名	13名	19名	37名
取得資格	認定看護管理者教育課程修了	認定看護師教育課程修了	看護師実習指導者講習会修了	ケア加算3研修修了

また、地域医療、福祉系への協力事業としては、介護系では介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修を、福祉系では、社会福祉士国家試験対策講座、社会福祉士実習指導者講習会を開講した。ただし、当初予定していた喀痰吸引等研修は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み開講中止、医療事務中級講座は、制度見直しのため開講中止となった。

事業名	介護職員初任者研修	介護福祉士実務者研修	喀痰吸引等研修	社会福祉士実習指導者講習会	医療事務講座（初級）	医療事務講座（中級）
対象	グループ内外	グループ内外	グループ内	グループ内外	グループ内	グループ内
期日	第1回：2020.6月～10月 第2回：2020.9月～2020.12月 第3回：2020.11月～2021.3月	第1回：2020.2月～7月 第2回：2020.4月～9月※開講見合わせ 第3回：2020.7月～12月	2020.10月～2021.2月 ※開講見合わせ	2021.2月	2020.10月～2021.3月	2020.11月～2021.3月 ※開講見合わせ
日数	17日（講義15日、実習2日）	6ヶ月	10日（講義8日、演習1日、実習1日）	2日	6ヶ月（6日）	5ヶ月（10日）
会場	講義：研修センター 実習：湘南シルバーガーデンほか	講義：研修センター 医療的ケア：研修センター 医療的ケア実習：茅ヶ崎新北陵病院ほか	講義：研修センター 演習：研修センター 実習：茅ヶ崎新北陵病院ほか	研修センター	研修センター	研修センター
受講料	60,000円	無資格者：125,000円 初任者研修：105,000円 基礎研修、1級：30,000円	100,000円 （受講料施設持ち） （テキスト代別）	8,000円 （テキスト代別）	30,000円	37,500円 （受講料施設持ち）
定員	20名×3	30名×3	15名	20名	20名	20名
2020年実績	第1回：16名 第2回：15名 第3回：14名	第1回：14名 第2回：— 第3回：15名	—	14名	9名	—
取得資格	介護職員初任者研修修了	介護福祉士国家試験受験資格	喀痰吸引等研修修了	社会福祉士実習指導者講習会修了	ふれあい医療事務管理士（初級）	ふれあい医療事務管理士（中級）

VIII 施設の状況

2021年3月現在 学校法人所有施設の所在等

主な施設設備の状況は次のとおりである。

校地

	所 在 地	計	㎡
湘南医療大学	神奈川県横浜市戸塚区上品濃16番49	7,921.66	㎡
	神奈川県横浜市戸塚区上品濃16番5 他	18,872.36	㎡
	合計	45,666.38	㎡
みどり幼稚園	神奈川県横浜市戸塚区汲沢二丁目1682番 他	2,306.00	㎡
茅ヶ崎看護専門学校	神奈川県茅ヶ崎市今宿字生神場383-4 他	1,477.64	㎡
	神奈川県横浜市中区山手町27番1 他	10,973.00	㎡
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	神奈川県茅ヶ崎市南湖一丁目3690-4 他	3,752.04	㎡
医療ビジネス観光福祉専門学校	神奈川県相模原市南区上鶴間本町三丁目2850-1 他	1,106.50	㎡
	静岡県下田市柿崎字腰越288-1 他	3,498.57	㎡
湘南医療大学附属下田看護専門学校	静岡県下田市柿崎腰越289	717.35	㎡
	合計	4,215.92	㎡
湘南医療大学附属下田看護専	静岡県下田市柿崎字孫ノ段736-4 他	1,322.86	㎡
	計	51,947.98	㎡

校舎

	所 在 地	構 造	計	㎡
湘南医療大学	神奈川県横浜市戸塚区上品濃 16番地48 16番地15	鉄筋コンクリート造 陸屋根・合金メッキ鋼板ぶ き9階建他	13,588.09	㎡
	神奈川県横浜市戸塚区汲沢二丁目 1670-2	鉄骨造合金メッキ 鋼板ぶき2階建	443.46	㎡
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園	神奈川県横浜市戸塚区汲沢二丁目 1702-1 1682 1682-3 1670-6	鉄筋コンクリート造陸屋根地 下1階付2階建	733.23	㎡
	小計		1,176.69	㎡
茅ヶ崎看護専門学校	神奈川県茅ヶ崎市今宿字生神場 385番地1 384番地1 386番地1 387番地3 390番地	鉄骨造陸屋根4 階建	2,893.32	㎡
茅ヶ崎看護専門学校 書庫兼倉庫	神奈川県横浜市中区山手町 27番地1 27番地16 47番地2 47番地1 神奈川県横浜市中区元町五丁目 220番地4	鉄筋コンクリート造陸屋根 地下1階付5階建	9,296.80	㎡
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	神奈川県茅ヶ崎市南湖一丁目 3690番地5	鉄骨造亜鉛メッキ 鋼板葺3階建	4,490.96	㎡
	神奈川県茅ヶ崎市南湖一丁目 4617番地1	鉄骨造陸屋根・亜 鉛メッキ鋼板葺3階 建	1,234.58	㎡
	小計		5,725.54	㎡
医療ビジネス観光福祉専門学校	神奈川県相模原市南区上鶴間本町 三丁目2850番地1 2856番地3	鉄骨鉄筋コンクリート 造陸屋根地下1 階付14階建	4,360.56	㎡
	静岡県下田市柿崎字腰越289番地 静岡県下田市柿崎字吉ノ上1188番地1 静岡県下田市柿崎字寺ノ上1192番地 1193番地12 1～3階部分	鉄筋コンクリート造 瓦葺3階建	2,846.76	㎡
湘南医療大学附属下田看護専門学校	静岡県下田市柿崎289番地 講堂	鉄筋コンクリート造 コンクリート屋根 平屋建	361.37	㎡
湘南医療大学附属下田看護専門学校 学生寮	静岡県下田市柿崎字孫ノ段 736番4 737番6	鉄筋コンクリート造 陸屋根5階建	1,773.99	㎡
	静岡県下田市柿崎字矢合1084番地11			
	計		42,023.12	㎡

IX 財務状況

(1) 決算の概要

①貸借対照表の状況と経年比較

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

総資産額は、17,379百万円で前年度に対して595百万円の増加、負債総額は4,506百万円で前年度に対して228百万円の減少となった。総資産額の増加は、湘南医療大学薬学部教育用備品資産の増加によるものである。

また、負債額228百万円の減少は、長期借入金の減少によるものである。尚、負債額（前受金を除く）の総資産額に占める割合は、18.9%となった。

経年推移の状況が分かる資料

貸借対照表の経年比較

(単位：千円)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
固定資産	7,641,192	8,011,783	12,276,209	12,718,983	12,824,067
流動資産	3,568,488	3,684,283	4,077,688	4,064,858	4,555,765
資産合計	11,209,680	11,696,066	16,353,897	16,783,841	17,379,832
固定負債	1,537,468	1,444,028	3,319,644	3,018,561	2,724,735
流動負債	1,460,487	1,489,908	1,535,230	1,716,414	1,781,613
負債合計	2,997,955	2,933,936	4,854,874	4,734,975	4,506,347
基本金	8,529,180	9,361,488	11,982,520	12,814,812	13,470,895
繰越収支差額	△ 317,456	△ 599,358	△ 483,497	△ 765,946	△ 597,410
純資産	8,211,724	8,762,130	11,499,023	12,048,866	12,873,485
負債及び純資産の部合計	11,209,680	11,696,066	16,353,897	16,783,841	17,379,832
減価償却累計額	1,457,489	1,745,170	2,045,953	2,365,236	2,692,243

イ) 財務比率の経年比較

(単位：%)

比 率	算式(×100%)	2016年度 (H29. 3. 31)	2017年度 (H30. 3. 31)	2018年度 (H31. 3. 31)	2019年度 (2020. 3. 31)	2020年度 (2021. 3. 31)
運用資産余裕比率	運用資産－外部負債 事業活動支出	60.6	74.3	7.7	2.5	27.4
流動比率	流動資産 流動負債	244.3	247.3	265.6	236.8	255.7
総負債比率	総負債 総資産	26.7	25.1	29.7	28.2	25.9
前受金保有率	現金預金 前受金	285.7	273.1	301.4	281.1	315.4
基本金比率	基本金 基本金要組入額	92.4	94.5	82.7	84.0	85.8
積立率	運用資産 要積立額	199.1	178.0	170.9	138.4	136.4

②資金収支計算書関係

ア) 資金収支計算書の状況と経年比較

収入の部：学生生徒等納付金収入は、前年度より約 33 百万円の減収で 2,263 百万円となった。また、寄付金収入は、湘南医療大学薬学部設置経費のための受配者寄付金配布を受けたことにより、600 百万円増収で 676 百万円であった。補助金収入は、大学経常費補助金 127 百万円の交付、高等教育の就学支援制度に伴う授業料等減免費交付金が大学並びに 4 専門学校の総額 62 百万円、新型コロナウイルス感染拡大防止のための情報機器整備費補助金として 7.6 百万円等の交付があり、総額として 457 百万円であった。前年度繰越支払資金 3,433 百万円により、資金収入合計は 7,228 百万円となった。

支出の部：人件費支出は、非常勤講師料支払科目を報酬委託手数料から人件費に変更したことにより 197 百万円増の 1,533 百万円となった。

翌年度繰越支払資金：上記の結果、法人全体として翌年度繰越支払資金は、3,843 百万円となり、期首に比べて 312 百万円増加となった。

経年推移の状況が分かる資料

資金収支の経年比較

(単位：千円)						
資金収入の部	科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	学生生徒納付金収入	1,798,458	2,074,856	2,294,065	2,296,796	2,263,881
	手数料	51,050	52,378	50,545	48,537	43,961
	寄付金収入	85,000	370,380	268,079	76,929	676,072
	補助金収入	230,057	212,908	191,210	543,549	457,065
	資産売却収入	0	2,368	0	0	0
	付随事業・収益事業収入	59,469	46,361	40,075	44,691	36,140
	受取利息・配当金収入	106	108	110	113	113
	雑収入	48,655	46,766	62,685	61,616	65,241
	小計 ①	2,272,795	2,806,125	2,906,769	3,072,231	3,542,473
	借入金等収入	0	0	2,000,000	2,000,000	0
	前受金収入	1,076,051	1,200,089	1,219,962	1,195,527	1,218,496
	その他の収入	43,915	134,847	40,420	53,191	277,709
	資金収入調整勘定	△ 1,090,914	△ 1,113,996	△ 1,231,848	△ 1,482,459	△ 1,243,714
	収入の部合計 A	2,301,847	3,027,065	4,935,303	4,838,490	3,794,964

(単位：千円)						
資金支出の部	科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	人件費支出	1,116,823	1,207,817	1,261,438	1,336,565	1,533,976
	教育研究経費支出	408,033	455,797	480,272	490,191	480,832
	管理経費支出	252,856	265,994	331,779	316,537	333,829
	借入金等利息支出	38,537	28,057	44,555	49,770	37,736
	借入金等返済支出	103,969	81,076	103,969	2,126,861	303,972
	施設関係支出	172,169	641,972	2,206,267	741,144	394,593
	設備関係支出	36,994	18,188	99,415	22,033	31,705
	小計 ②	2,129,381	2,698,901	4,527,695	5,083,101	3,116,643
	資産運用支出	16,399	4,492	18	30	0
	その他の支出	110,962	268,127	150,664	158,931	471,172
	資金支出調整勘定	△ 252,355	△ 147,034	△ 143,091	△ 159,937	△ 202,556
	支出の部合計 B	2,004,387	2,824,486	4,535,286	5,082,125	3,385,259

(単位：千円)						
資金収入差額の部	科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
	資金収支差額 (①-②)	143,414	107,224	△ 1,620,926	△ 2,010,870	425,830
	資金収支差額 (A-B)	297,460	202,579	400,017	△ 243,635	409,705
	翌年度繰越支払資金	3,074,206	3,276,985	3,677,004	3,433,369	3,843,075

イ) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

教育活動による資金収支収入は、2,858,862 千円、支出は 2,348,263 千円で差引 510,598 千円の収入超過となった。

施設整備等活動による収入は、683,500 千円、支出は 426,299 千円で差引 257,201 千円の収入超過となった。

その他活動による収入は、15,325 千円、支出は 342,083 千円で差引-326,758 千円の支出超過となった。

上記の結果、翌年度繰越支払資金は 3,843,075 千円となり、昨年度の 3,433,369 千円より 409,707 千円増加した。

活動区分資金収支計算書の経年比較

(単位：千円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	2,166,526	2,595,660	2,711,563	2,840,213	2,858,862
教育活動資金支出計	1,777,711	1,929,608	2,073,489	2,143,293	2,348,263
差引	388,815	666,052	638,074	696,920	510,598
調整勘定等	118,106	107,318	30,423	△ 236,404	△ 47,304
教育活動資金収支差額	506,921	773,370	668,497	460,516	463,294
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	102,377	207,748	195,079	231,906	683,501
施設整備等活動資金支出計	209,164	659,859	2,305,682	763,177	426,299
差引	△ 106,787	△ 452,111	△ 2,110,603	△ 531,271	257,202
調整勘定等	35,640	△ 13,336	△ 10,310	△ 17,077	15,969
施設整備等活動資金収支差額	△ 71,147	△ 465,447	△ 2,120,913	△ 548,348	273,171
小計（教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額）	435,774	307,923	△ 1,452,416	△ 87,832	736,465
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	23358	8809	2002602	2,021,545	15,325
その他の活動資金支出計	161,673	113,952	150167	2,177,347	342,083
差引	△ 138,315	△ 105,143	1,852,435	△ 155,802	△ 326,758
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 138,315	△ 105,143	1,852,435	△ 155,802	△ 326,758
支払資金の増減額（小計＋その他の活動資金収支差額）	297,459	202,780	400,019	△ 243,634	409,707
前年度繰越支払資金	2,776,746	3,074,206	3,276,985	3,677,004	3,433,368
翌年度繰越支払資金	3,074,206	3276985	3,677,003	3,433,369	3,843,075

ウ) 財務比率の経年比較

- ・教育活動資金収支差額比率

(単位：%)

比 率	算式(×100%)	2016年度 (H29. 3. 31)	2017年度 (H30. 3. 31)	2018年度 (H31. 3. 31)	2019年度 (2020. 3. 31)	2020年度 (2021. 3. 31)
教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 教育活動資金収入計	23.4	29.8	24.7	16.2	16.2

③事業活動収支計算書関係

ア) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

事業活動収入： 学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、事業収入、雑収入等は、資金収支計算書収入の部と同様の要因により、2,860 百万円となり、前年度に対して 18 百万円の増加となった。

基本金組入額合計は 655 百万円となり、基本金組入前当年度収支差額（帰属収入）は、824 百万円の収入超過となった。

事業活動支出： 資金収支計算書の支出の部と同様の要因で、前年度に対して人件費は、199 百万円の増加で 1,544 百万円（人件費比率 43.5%）となった。また、教育研究経費は、前年度に対して 11 百万円減額で 759 百万円（教

育研究経費比率 26.7%)、管理経費は、前年度に対して 27 百万円の増額となり、385 百万円(管理経費比率 13.5%)となった。

当年度収支差額：当年度収支差額は、169 百万円となった。

経年推移の状況が分かる資料

事業活動収支の経年比較

(単位：千円)

（単位：千円）

事業活動収支		科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
教育活動収支	収入	学生生徒納付金	1,798,458	2,074,756	2,294,065	2,296,796	2,263,881
		手数料	51,050	52,378	50,545	48,537	43,962
		寄付金	85,113	165,276	73,151	75,537	2,118
		経常費等補助金	127,680	212,908	191,210	315,285	449,437
		付随事業収入	55,684	43,951	40,075	44,691	36,141
		雑収入	50,950	46,745	62,924	61,655	65,247
		教育活動収入計	2,168,935	2,596,014	2,711,970	2,842,501	2,860,786
	支出	人件費	1,124,778	1,216,953	1,271,684	1,345,964	1,544,266
		教育研究経費	661,930	716,640	748,302	770,958	759,165
		管理経費	280,272	294,034	371,961	358,734	385,557
		徴収不能額等	0	0	0	0	0
		教育活動支出計	2,066,979	2,227,627	2,391,947	2,475,656	2,688,989
		教育活動収支差額	101,956	368,387	320,023	366,845	171,797
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	106	108	110	114	113
		その他の教育活動外収入	3,785	2,411	0	0	0
		教育活動外収入計	3,891	2,519	110	114	113
	支出	借入金等利息	38,537	28,057	44,555	49,770	37,736
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	38,537	28,057	44,555	49,770	37,736
	教育活動外収支差額	△ 34,646	△ 25,538	△ 44,444	△ 49,656	△ 37,623	
経常収支差額		67,310	342,849	275,579	317,189	134,174	
特別収支	収入	資産売却差額	0	2,368	0	0	0
		その他の特別収入	106,635	209,124	2,463,674	233,232	691,175
		特別収入計	106,635	211,492	2,463,674	233,232	691,175
	支出	資産処分差額	516	3,935	2,360	578	731
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	516	3,935	2,360	578	731
	特別収支差額	106,119	207,557	2,461,314	232,654	690,444	
基本金組入前当年度収支差額		173,429	550,406	2,736,893	549,843	824,618	
基本金組入額合計		△ 155,212	△ 832,308	△ 2,621,032	△ 834,005	△ 655,384	
当年度収支差額		18,216	△ 281,902	115,861	△ 284,162	169,234	
（参考）							
事業活動収入計			2,279,460	2,810,025	5,175,755	3,075,847	3,552,075
事業活動支出計			2,106,032	2,259,619	2,438,862	2,526,004	2,727,456

イ) 財務比率の経年比較

人件費比率、教育研究経費比率、管理経費比率、事業活動収支差額比率、学生生徒等納付金比率、経常収支差額比率等は以下の通りである。

(単位：％)

比 率	算式(×100%)	2016年度 (H29. 3. 31)	2017年度 (H30. 3. 31)	2018年度 (H31. 3. 31)	2019年度 (2020. 3. 31)	2020年度 (2021. 3. 31)
人件費比率	人 件 費 事 業 活 動 収 入	49.3	43.3	24.6	43.8	43.5
教育研究経費比率	教 育 研 究 経 費 経 常 収 入	30.5	27.6	27.6	27.1	26.5
管理経費比率	管 理 経 費 経 常 収 入	12.9	11.3	13.7	12.6	13.5
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 事 業 活 動 収 入	7.6	19.6	52.9	17.9	23.2
学生生徒等納付金比率	学 生 生 徒 等 納 付 金 事 業 活 動 収 入	78.9	73.8	44.3	74.7	63.7
経常収支差額比率	経 常 収 支 差 額 経 常 収 入	3.1	13.2	10.2	11.2	4.7
基本金組入率	基 本 金 組 入 額 事 業 活 動 収 入	△ 6.81	△ 29.6	△ 50.6	△ 27.1	△ 18.5
教育活動資金収支差額比率	教 育 活 動 資 金 収 支 差 額 教 育 活 動 資 金 収 入 計	17.9	25.7	23.5	24.5	6.0
人件費比率	人 件 費 事 業 活 動 収 入	49.3	43.3	24.6	43.8	43.5

(2) その他

①有価証券の状況

本学校法人では、有価証券は所有していない。

②借入金の状況

借入先	期末残高 (円)	利率 (%)	返済期限
(株)みずほ銀行 横浜駅前支店	768,316,824	1.070%	2031 年 3 月 31 日
	215,450,000	0.280%	2033 年 10 月 31 日
	1,599,992,000	0.580%	2030 年 3 月 31 日

③学校債の状況

本学校法人では、学校債は発行していない。

④寄付金の状況

【特定公益増進法人】

(単位：円)

特別寄附 (薬学部設置経費として) グループ職員、一般の方より	100,000
------------------------------------	---------

【受配者指定寄付金】

薬学部設置経費として 2018 年度、2019 年度に受け入れした寄附金の配布を受けた。

その他、以下受配者指定寄付金を受け入れたが、配付を受けていないため、2020 年度の計算書類には反映されない。

受配者指定寄付金 グループ企業より	300,000,000
----------------------	-------------

⑤補助金の状況

(単位：円)

	経常費補助金		授業料等減免費交付金		看護師等養成所補助事業		情報機器整備費補助金		介護福祉士養成施設日本語学習等支援	結核健康診断予防接種	両立支援等補助金 小学校休業等対応助成金		幼稚園関連補助金	合計
湘南医療大学	国庫	127,163,000	国庫	33,211,200			国庫	3,984,000		市	49,032			164,407,232
茅ヶ崎看護専門学校	県	11,523,000	県	9,353,600	県	26,376,000	県	1,194,000		県	24,408			48,471,008
茅ヶ崎リハビリテーション専門学校	県	18,898,000	県	9,885,900			県	1,438,000		県	37,968	国庫	138,960	30,398,828
湘南医療大学附属下田看護専門学校			県	6,565,400	県	18,303,000	県	1,012,000		県	39,614			25,920,014
医療ビジネス観光福祉専門学校	県	12,747,000	県	3,105,000					県	90,000	市	38,898		15,980,898
幼保連携型認定こども園みどり幼稚園											国庫	232,800	県・市	171,654,292
														171,887,092

⑥収益事業の状況

(収益事業会計)

貸 借 対 照 表

2021年 3月 31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
[固 定 資 産]	86,403,679	[流 動 負 債]	1,496,453
(有形固定資産)	86,403,679	一年内返済長期借入金	731,464
建物	36,737,570	前受金	415,000
土地	49,666,109	未払金	16,500
		未払消費税等	333,489
		[固 定 負 債]	6,723,176
		長期借入金	6,583,176
		長期預り金	140,000
		負 債 の 部 合 計	8,219,629
		純 資 産 の 部	
		[元 入 金]	353,966,593
		[利 益 剰 余 金]	△ 275,782,543
		繰越利益剰余金	△ 275,782,543
		純 資 産 の 部 合 計	78,184,050
資 産 の 部 合 計	86,403,679	負債・純資産の部合計	86,403,679

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者について下表のとおり イ) 出資会社は該当なし

(単位:円)

属 性	役員、法人等の名称	住 所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長	大屋敷英志枝	-	-	-	-	-	-	当法人の銀行借入に対する被保証 *1 当法人の銀行借入に対する被保証 *2	853,685,360 *1 7,314,640 *1 *2	- -	- -
関係法人	医療法人社団 康心会	神奈川県 茅ヶ崎市	170百万円	病院・老人保健施設 診療所の経営	-	4名	職員出向他	職員出向費他	23,282,505	未収入金	984,200
							健康診断、実習施設他	健康診断、実習謝礼他	31,962,107 *4	未払金	16,131,177
関係法人	医療法人社団 健齢会	神奈川県 横浜市	45百万円	病院・老人保健施設 診療所の経営	-	5名	職員出向他	職員出向費他	14,413,711	未収入金	895,721
							健康診断、実習謝礼他	健康診断、実習謝礼他	13,190,770 *4	未払金	1,097,800
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	㈱フォーライフ企画 *3	神奈川県 茅ヶ崎市	10百万円	医薬品・医療材料 教材卸 総合リース業	-	-	リース、医療材料・教材購入	リース、医療材料・教材購入	173,984,636 *4	未払金	28,690,689
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	㈱エフアンドユアライフ *3	神奈川県 茅ヶ崎市	5百万円	内装工事 建物保守 建築・企画設計	-	-	施設修理他	施設修理他	457,223,709 *4	未払金	26,828,072
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	㈱メディカルヘルスケア *3	神奈川県 茅ヶ崎市	3百万円	土地建物 管理・賃貸 喫茶 清掃業	-	1名	清掃業他	清掃業他	64,266,871 *4	未払金	3,718,392
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	メディカルレーディングカンパニー(株) *5	神奈川県 茅ヶ崎市	10百万円	医療機器 販売・労働者派遣事業	-	1名	教具・備品・図書購入、労働者派遣	教具・備品・図書購入、労働者派遣	332,069,963 *4	未払金	599,865
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	㈱エフエムシー *3	神奈川県 茅ヶ崎市	5百万円	人事管理・給与計算 経理の請負	-	1名	人事管理・給与計算 経理の依頼	人事管理・給与計算 経理の依頼 当法人の銀行借入に対する被保証	39,106,861 *4 2,000,000,000	未払金	829,867
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	㈱メディカルフーズ *3	神奈川県 茅ヶ崎市	3百万円	給食業務の受託及び管理	-	1名	食堂食材・食堂委託 管理料他	食堂食材・食堂委託 管理料他	27,379,270 *4	未払金	2,187,697
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	㈱湘南ふれあいの園 *3	神奈川県 茅ヶ崎市	5百万円	有料老人ホーム経営	-	1名	シニアホテル 東戸塚サウイング電気料他	シニアホテル 東戸塚サウイング電気料他	13,938,221 *4	未払金	826,133

注 *1 当法人は銀行借入に対して理事長大屋敷英志枝より債務保証を受けている。

⑧学校間財務取引

該当なし

(3)経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

学校法人湘南ふれあい学園の経営状況の分析(過去7年間)、経営上の成果と課題

下記の財務比率は、経営状況、負債の状況、及び将来の備えに対する資産の保有状況の実施結果の分析を示している。将来支出に備える保有資産の状況は、大学平均(83.7%)を大きく上回っており、万一の支出の状況にも充分に耐えるだけの資産を保有している。

資料1

比率名	計算式	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R01-R02対比	経営上の成果と課題(自己点検・評価)
① 経営状況										
事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	17.6%	0.9%	7.6%	19.6%	52.9%	17.9%	23.3%	増加	平成24年度の当該率の大学平均は、4.8%である。本学園は、平均を大きく上回っている状況である。
② 負債に備える資産の蓄積状況										
内部留保資産比率	(運用資産-(総負債-内部負債))/総資産	4.2%	9.2%	11.0%	14.0%	0.9%	0.1%	3.9%	増加	当該比率がプラスのため、運用資産で総負債を全て充当できる。
運用資産余裕比率(年)	(運用資産-外部負債)/事業活動支出	32.4%	53.9%	60.6%	74.3%	7.7%	2.5%	27.5%	増加	一年間の学校法人の経常的な支出を賄える資金を保有している。
流動比率	流動資産/流動負債	252%	265%	244%	247%	266%	237%	256%	増加	当該比率が200%以上であるため良好と考える。
前受金保有率	現金預金/前受金	307%	289%	286%	273%	301%	287%	316%	増加	当該年度に収受している翌年度分の授業料や入学金等が、翌年度繰越支払資金たる現金預金の形で当該年度末の保有比率が100%を超えているため、問題は無い。
③ 負債水準の状況										
固定負債構成比率	固定負債/((総負債-内部負債)+純資産)	16.8%	16.6%	15.3%	13.9%	22.1%	19.5%	17.0%	減少	施設整備計画や手元資金の状況に比してこの比率が高い場合、経営上の留意が必要となるが、15.3%である本学園は、問題とならない。
流動負債構成比率	流動負債/((総負債-内部負債)+純資産)	12.7%	12.1%	14.5%	14.3%	10.2%	11.1%	11.1%	横ばい	財政の安定性の確保では、当該比率が低い方が良く、本学園の比率は評価できる。
総負債比率	(総負債-内部負債)/総資産	19.0%	16.4%	16.4%	14.0%	21.6%	20.4%	18.2%	減少	当該比率50%以下は、負債総額が純資産を下回っていることを示す。本学園の財務安全性は確保されている。
負債比率	(総負債-内部負債)/純資産	26.0%	22.1%	22.3%	18.7%	30.7%	28.4%	24.6%	減少	当該比率が100%以下であるため、他人資金である総負債が自己資金である純資産を下回っている。
④ 将来支出に備える保有資産の状況										
積立率	運用資産(現金預金+特定資産+有価証券)/要積立額(減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基金+第3号基金)	260.9%	220.5%	199.1%	178.0%	170.9%	138.4%	136.4%	減少	平成24年度の当該率の大学平均は、83.7%である。本学園は、平均を大きく上回っている。また、減価償却累計額はH26年からR02年度末で約17億8千万円増加しているが、それに見合う資金の蓄積ができている。

※総負債には、内部負債である「退職給与引当金」及び「前受金」を算入しないことを原則とした。

資料2 運用資産及び外部負債の金額

下記の表より、運用資産は増加しているものの、外部負債も増加している。しかし、積立額も大幅に増加しているため、運営が安定していることを示している。

(千円)										
項目	計算式	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	H26-R02間傾向	
運用資産	現金預金+特定資産+有価証券	2,550,453	2,776,746	3,074,206	3,276,985	3,677,004	3,433,369	3,843,075	1,292,622	増加
外部負債	総負債-(退職給与引当金+前受金)	2,089,104	1,777,560	1,835,586	1,638,392	3,529,211	3,424,348	3,163,240	1,074,136	増加
積立額	減価償却累計額+退職給与引当金+第2号基金+第3号基金	977,727	1,259,473	1,543,808	1,840,625	2,151,654	2,480,336	2,817,654	1,839,927	増加

資料3 総資産基本金組入前当年度収支差額比率関連指標

(百万円)	
総資産	17,380
事業活動収入	3,549
基本金組入前当年度収支差額	825
総資産基本金組入前当年度収支差額比	4.7%
基本金組入前当年度収支差額比	20.4%
総資産回転率	0.2 回転

今後の方針・対応方策

資料3では、1年間に本学園の資産が、売上高として何回転しているか、すなわち、投資した資産がどのくらい、学納金などの収入を生み出す効果をもたらしているかを表している。本学園は、0.2回転と低いため、当面は、山手資料館の利用(稼働率)の向上に関する計画を早急に図りたい。本学は、基本金組入れ前当年度収支差額は、学園創立以来、黒字を続けている。今後は、人、建物、設備の活用による学部学科の設置による数量や単価の増加策を検討したい。

監 査 報 告 書

2021 年 5 月 18 日

学校法人 湘南ふれあい学園
理事会 御中

学校法人 湘南ふれあい学園

監 事 金 井 清 吉

監 事 竹 俣 耕 一



私たちは、学校法人湘南ふれあい学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人湘南ふれあい学園寄附行為第 8 条に基づき、学校法人湘南ふれあい学園の 2020 年度（2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで）の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査しました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類すなわち資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）は、会計帳簿の記載と合致し、学校法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務もしくは財産の状況並びに理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上

監 査 報 告 書

2021 年 5 月 18 日

学校法人 湘南ふれあい学園
評議員会 御中

学校法人 湘南ふれあい学園
監 事 金 井 清 吉
監 事 竹 俣 耕 一



私たちは、学校法人湘南ふれあい学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項及び学校法人湘南ふれあい学園寄附行為第 8 条に基づき、学校法人湘南ふれあい学園の 2020 年度（2020 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日まで）の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査しました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録及び計算書類すなわち資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む）は、会計帳簿の記載と合致し、学校法人の収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務もしくは財産の状況並びに理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めました。

以上